

厚生労働科学研究費補助金
エイズ対策政策研究事業

都市部の若者男女における HIV 感染リスク行動に関する研究

令和元年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 日高 庸晴
宝塚大学看護学部
令和 2(2020)年 3 月

目 次

I. 総括研究報告

- 都市部の若者男女における HIV 感染リスク行動に関する研究…………… 1
研究代表者:日高 庸晴(宝塚大学看護学部)

II. 分担研究報告

1. Web による若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究…………… 9
研究代表者:日高 庸晴(宝塚大学看護学部)
2. 繁華街の若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究…………… 16
研究分担者:松高 由佳(比治山大学現代文化学部)
3. STI 感染不安のある若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究…………… 33
研究分担者:合田 友美(宝塚大学看護学部)
4. 性的指向と性自認の多様性に関する全国教員調査…………… 70
研究代表者:日高 庸晴(宝塚大学看護学部)

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

都市部の若者男女における HIV 感染リスク行動に関する研究

H29-エイズ一般-003

総括研究報告書

研究代表者：日高 庸晴（宝塚大学看護学部 教授）

研究要旨

国民一般に HIV 感染症の知識の普及と検査受検勧奨を推進するために、HIV/STI 感染リスクが高いと考えられる性的に活発な男女（10～30 代）や STI 感染不安・クリニック受診者を主たる対象に、インタビュー調査、知識・意識・行動に関する横断調査、それらに基づいた受検勧奨のための啓発プログラムを開発・実施・評価することを視野に、以下の研究課題に取り組むこととする。

研究 1：Web による若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究（日高庸晴）、研究 2：繁華街の若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究（松高由佳）、研究 3：STI 感染不安のある若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究（合田友美）、研究 3 年目は研究 4：性的指向と性自認の多様性に関する全国教員調査（日高庸晴）を追加実施した。

研究 1：若者を対象に予防啓発を進める上でインターネットモニターを対象に啓発動画の効果評価を Wait list control による前後比較試験によって行った。HIV/STI 予防啓発に関する 6 つのクイズと解説を主要コンテンツとし、動画視聴あり群においてのみ有意な効果が確認された。

研究 2：本研究では、大阪・札幌の繁華街の若者を対象に HIV/STI に関する知識・意識・性行動・検査行動の実態に関する横断調査を実施した（研究 1）。横断調査は昨年度と同地域・同店舗での 2 年連続での実施である。また、大阪の繁華街の若者をターゲットとし、セクシュアルヘルス向上を目的としたキャンペーンとして複数のクラブ店舗で同時多発的にコミュニティ介入を実施した（研究 2）。

研究 1 では、iPad を使用した無記名自記式オンライン質問票により 741 名の有効回答を得た。以下の点について昨年度調査と同様の傾向であることを確認した。①対象者の大半が HIV や検査の正しい知識を有しておらず、特に女性、若年層の知識が低いこと。②過去 6 か月間にセックスした者のうち約 6 割が複数のセックスパートナーを有し、コンドーム常用率が男性より女性において低いこと。研究 2 では、大阪繁華街のクラブ 4 店舗において、HIV/STI 予防啓発介入キャンペーンを 2 日間、同時に開催した（2019 年 12 月）。コンドーム親近感を持たせ予防意識を高めるためのゲーム（2 種）や HIV/STI 予防に関する知識向上を目的としたクイズ（2 種）を実施した。併せて、若者向けの予防啓発メッセージを含めた動画を介入店舗内で繰り返し提示した。のべ 527 名の参加があり、ゲーム後の反応測定などの結果から、これらの目的が概ね達成されたことを確認した。性的に活発な繁華街の若者男女をターゲットとするクラブコミュニティを巻き込んだ予防啓発介入の一モデルを提供した。

研究 3：エイズ予防啓発のための基礎資料を得ることを目的に、自治体による HIV/STI 検査の受検者を対象に質問調査を実施し 28,586 人の回答を得、背景要因を探索した。その結果、20 代の占める割合が高く、コンドームの使用率は特に女性に低率であり、10、20 代女性の半数以上は、性交相手とのコンドーム使用に関して話題にしている一方で、約 2 割の女性が、つけて（つけよう）って言えな

いから仕方ないと使用をあきらめており、20、30代女性のコンドーム所持率は顕著に低かった。これらの結果をふまえ、3年目は、代表的な性感染症の種類と性感染症の流行の現状、症状、感染予防策（コンドームの使用、受検）、正しい情報へアクセスするためのサイトを紹介した動画を作成し、視聴前後の知識・認識の変化について150人を対象に検証した。動画の内容について、20代、30代男女の5割以上が親しみやすい、安心できると回答し、役に立った、まあまあ役に立ったと回答した人は、全群で8割を超え、男女共にコンドームの常時所持の必要性について認知を高めた。さらに、性別を問わず梅毒感染者数の急増に関する知識の獲得とコンドームを使うように相手に働きかける（断る）セリフのイメージ化を認め、一定の成果が示唆された。

研究4：わが国のHIV感染拡大は主に男性同性間であることから学校でのHIV/STI啓発を実施する際に若者の性的指向や性自認の多様性を理解したうえで予防教育を行うことが求められる。36自治体の教員に性的指向と性自認の多様性に関する質問票調査を行った（有効回答数21,634件）。教育現場で教える必要性を感じる内容は、「男女の体の違い」「第二次性徴」「妊娠・出産」や「薬物乱用」「性感染症」「HIV/AIDS」は9割を超えていたが、「性別違和や性同一性障害」は8割台、「同性愛」は最も低率で6割台の必要性認識であった。一方、同性愛や性自認について授業で取り入れた割合は15%前後であり、必要性の認識割合との乖離が認められた。

研究分担者（分担掲載順）：

松高 由佳（比治山大学現代文化学部 准教授）

合田 友美（宝塚大学看護学部 准教授）

時多発的に介入を実施した（研究2）。

研究3：エイズ予防啓発のための基礎資料を得ることを目的に、HIV/STI検査の受検者を対象に質問調査を実施し実態と把握したうえで、質問紙調査の結果をふまえた介入動画を作成し、その効果を測定した。

A. 研究目的

研究1：スマートフォンやインターネットが生活に不可欠なツールとなっている現在、HIV/STI予防のみならず健康教育実施のツールとしてインターネットが役立つと考えられる。Webを用いることによって動画や複雑なプログラムの配信も可能となり、本研究はWebによるHIV/STI予防メッセージの効果評価を行う。

研究2：HIV/STIの効果的予防啓発介入に資する基礎的資料をより確かなものにするため、前年度に引き続き、大阪および札幌の繁華街の若者を対象にHIV/STIに関する知識・意識・性行動・検査行動の実態に関する横断調査を行った（研究1）。また、横断調査で明らかになった課題に介入するため、前年度にクラブ1店舗で実施・検証したHIV/STI予防啓発プログラムを改良・拡大し、クラブコミュニティを巻き込んだキャンペーンとして複数のクラブ店舗にて同

研究4：小・中・高の教員を対象にHIV/STI予防教育やその根底に必要となる性的指向と性自認の多様性に関する知識・意識についてWebによる質問票調査を追加実施した。過年度の評価委員からの指摘・助言の通り若者対象の予防啓発の促進のためには学校との連携や感染リスク行動の背景理解、疫学状況に基づいた予防教育の実施が求められる。そのためにはLGBTなど性の多様性への配慮が教育現場に不可欠であり、その実態を明らかにする必要があると捉え、2019年9月1日の研究成果発表会（於：東京医科大学）での追加実施の報告の通り、調査の実施を企画立案した。2011年に実施した教員調査の後続研究として位置付けられ、36自治体の教員を対象に行った。

B. 研究方法

研究 1: 予防介入コンテンツをインターネットモニターが視聴することにより、動画の効果評価を Wait list control による前後比較試験によって行った。対象は 18 歳～35 歳の男女、過去 6 ヶ月以内に配偶者・パートナー以外とコンドームを使わない性経験があり、都市部（札幌市・仙台市・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県・名古屋市・京都市・大阪市・堺市・神戸市・福岡市）在住であることとした。動画視聴あり群（男女各 150 人、計 300 人）、対照群（男女各 100 人、計 200 人）に二群化した。クイズ形式の動画の主たるコンテンツは、1) 2018 年は梅毒の年間患者数が 6,000 人を突破した。（正解○）、2) エイズにかかるとすぐに死ぬ（正解×）、3) HIV 抗体検査では、女性の場合は内診（膣の検査）がある（正解×）、4) HIV 抗体検査では、男性の場合ペニスの検査がある（正解×）、5) コンドームを持ち歩くには財布に入れておくのが最も良い（正解×）、6) 選び方次第でコンドームを使ったセックスはもっと楽しく出来る（正解○）とした。

研究 2: （研究 1） 昨年度と同店舗（大阪市内 2 店舗、札幌市内 1 店舗）のナイトクラブに入店した 18 歳以上の男女を対象に、タブレット端末を用いたオンライン行動疫学調査を実施した（2019 年 6 月～2019 年 9 月に 6 回、21 時～深夜 1 時まで実施）。調査員が店舗入口付近で入場客をリクルート、研究班の iPad で無記名自記式質問票サイトにアクセスし、約 3 分で回答する手順とした。回答終了者には謝品としてクラブのドリンクチケット（700 円相当）1 枚を手渡した。質問項目は、属性項目、HIV/STI に関する知識、検査の知識、HIV 検査受検経験（生涯）、過去 6 か月間のセックス経験の有無、セックスした相手の性別、人数、種別等、過去 6 か月間のセックス時コンドーム使用状況等で構成した。
（研究 2） 2019 年 12 月、世界エイズデーに合わせ大阪繁華街のクラブ 4 店舗において、

HIV/STI 予防啓発介入キャンペーンを 2 日間、同時に開催した。予防意識向上を目的としたゲーム（2 種）や HIV/STI 予防に関する知識向上を目的としたクイズ（2 種）を実施し、参加者には謝品としてクラブのドリンクチケット（700 円相当）またはグッズ（コンドーム等）を提供した。ゲーム参加者にはゲーム後の反応評定（ゲームを通じた予防意識の変化）を行った。昨年度までの研究成果や海外での HIV/STI 予防活動に携わる研究者へのヒアリング結果を基に、新たに作成した動画をキャンペーン実施店舗のスクリーンで繰り返し提示した。この動画には、HIV 検査・予防に関する知識、男性の性に関する規範意識向上のためのメッセージを盛り込んだ。

研究 3:

1. 調査方法

調査 1: 自治体質問紙調査

性交相手との出会いの経緯や予防に関する行動と認識等の背景要因を探索した。調査対象は、西日本の A 府または A 市自治体における HIV/STI 検査を 2017 年 10 月～2019 年 9 月に受検した人であり、回収数は 28,586 人であった。

調査 2: クリニック介入調査

代表的な性感染症の種類と性感染症の流行の現状、症状、感染予防策（コンドームの使用、受検）、正しい情報へアクセスするためのサイトを紹介した動画を作成し、視聴前後の知識・認識の変化を明らかにするとともに、動画視聴の感想を求めた。調査対象は、C、D クリニックにおける HIV/STI 検査を 2020 年 2 月～3 月に受検した人であり、回収数は 150 人であった。

2. 分析方法

調査 1: 自治体質問紙調査

「性交経験のある」者を限定して、自身の性別、性交相手の性別が「無回答」の者、性別で「その他」を選択した者を分析対象から除外。「生涯の性交相手が同性、または同性および異性の男

性」を MSM、「生涯の性交相手が同性、または同性および異性の女性」を WSW と操作的に定義して、MSM、WSW、MSM を除く男性（以下、男性）、WSW を除く女性（以下、女性）をそれぞれ抽出した。サンプル数の偏りを考慮して、MSM、WSW、男性、女性の 4 群を対象に年代毎の差異を確認し、10 代から 30 代の一般男女（男性および女性）を中心にその特徴を検討した。

調査 2：クリニック介入調査

対象者が回答した性別および性的指向を採用し、男性、女性、ゲイ・バイセクシュアル男性（前述男性、女性、レズビアン、バイセクシュアル女性、アセクシュアル、X ジェンダー以外）の 3 群を対象に年代毎の差異を確認しながら、動画視聴の感想をみた。さらに、HIV/STI の症状や治療に関する知識、感染予防行動に関する認識について視聴前後の変化を分析し、介入動画の効果と課題を明らかにした。

研究 4：36 自治体の教育委員会や校長会、校長協会、教員の研究団体などを通じて教員に研究参加を呼びかけた。アンケート協力をお願いの文書を配布し、校務パソコンあるいはスマートフォンやタブレット端末から回答する無記名自記式質問票調査を実施した。学校ごとに固有の URL を伏すことによって学校を単位にした回収率の算出が可能のように工夫した。

（倫理面への配慮）

研究者所属施設の研究倫理委員会による研究計画の審査・承認を得たうえで、研究を実施した。

C. 研究結果

研究 1:1) 2018 年は梅毒の年間患者数が 6,000 人を突破した。（正解○）では、動画視聴あり群の男性で 51.3%の、女性で 58.7%の上昇が確認された。一方、動画視聴なし群では男性で-1.0%、女性で 6.0%の変化があった。

2) エイズにかかるとすぐに死ぬ（正解×）

動画視聴あり群の男性で 15.3%、女性で 17.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性-2.0%、女性-1.0%の変化であった。

3) HIV 抗体検査では、女性の場合は内診（膣の検査）がある（正解×）

動画視聴あり群の男性で 54.7%、女性で 63.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性-2.0%、女性 2.0%の変化であった。

4) HIV 抗体検査では、男性の場合ペニスの検査がある（正解×）

動画視聴あり群の男性で 48.7%、女性で 65.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性では 0%、女性で 2.0%の上昇と大幅な変化がなかった。

5) コンドームを持ち歩くには財布に入れておくのが最も良い（正解×）

動画視聴あり群の男性で 22.7%、女性で 23.3%の上昇があった。動画視聴なし群では-4.0%、女性で 2.0%の上昇と大幅な変化がなかった。

6) 選び方次第でコンドームを使ったセックスはもっと楽しく出来る（正解○）

動画視聴あり群の男性で 34.0%、女性で 25.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性で-3.0%、女性で 3.0%の変化にとどまった。

研究 2：（研究 1）773 件の回答があり、有効回答数は 741 件であった（有効回答率 95.9%、大阪 364 件、札幌 377 件）。男性 418 名（56.4%）、女性 323 名（43.6%）、年齢は平均 22.3 歳で 10 代が 15.1%、20 代が 80.6%であった。

知識：「HIV 検査では膣／ペニスの診察がある」では正解率が 25%に届かず、全体の半数が「エイズにかかるとすぐに死ぬ」と誤解、76.9%が「迅速検査」の存在自体を知らず、これらの傾向は昨年度と同様であった。大阪では「エイズにかかるとすぐに死ぬ」のみ男女とも 5 ポイント以上低下していた。

性行動：過去 6 か月間にセックス（膣性交、アナルセックス、オーラルセックス、相互マス

ターベーション) 経験ありの割合は札幌 72.1% (男性 74.2%、女性 69.4%)、大阪 71.2% (男性 73.1%、女性 68.7%) であった。うち約 6 割が複数のセックスパートナーを有していた。過去 6 か月間のコンドーム使用状況(膣性交時)では、常用率は札幌 39.0%、(男性 44.7%、女性 29.9%)、大阪 46.2%、(男性 50.4%、女性 40.4%) であり、いずれの地方も女性が男性に比べ低かった。これらの特徴は昨年度とほぼ同傾向であった。

受検行動:生涯の HIV 検査受検率は札幌 6.6% (男性 6.5%、女性 6.9%)、大阪 6.3% (男性 4.0%、女性 9.2%) であった。札幌は昨年度から約 1% 低下したがほぼ同様であった。大阪は男性が約 5% も低下していた。

(研究 2) のべ 527 名 (男性 333 名、女性 194 名) の参加が得られた。平均年齢は 23.7 歳 (SD=4.6) で 8 割が 20 代であった。ゲーム参加後の評定 (5 件法) では「コンドームについて、避妊だけではなく性感染症予防という目的も意識しようと思った」の平均評定値がゲーム A で 4.5 (SD=0.8)、ゲーム B で 4.2 (SD=1.0) など、肯定的評価が得られた。

研究 3: 調査 1: 自治体質問紙調査

有効回答数は 25,701 件 (89.9%) で、このうち 10~30 代は 68.7% を占め、10~30 代の性別の内訳は、男性 47.0%、女性 29.7%、MSM 21.2%、WSW 2.1% であった。いずれかの性感染症に罹患したことのあるのは男女全年代で 4,335 人 (21.8%) おり、なかでも女性の罹患率 (29.5%) が突出しており、20 代の約 3 割に罹患歴があった。このようななか、「インターネット」によって性交相手と出会った人の割合は男女ともに 23.0% に上り、なかでも 10 代女性は 103 人 (34.7%) と高率であった ($p < 0.05$)。性交時に「毎回コンドームを使用している」人は、男性 28.3% に比して女性 20.7% と低率で、特に 30 代女性は 17.1% であった。10 代 (61.6%)、20 代 (60.4%) の女性の半数以上が「(過去 6 か月間の) 性交相手とのコンドーム使用に関する

話題にしている」一方で、16.2% の女性が「つけて (つけよう) って言えないから仕方ない」と使用をあきらめていた。また、一般男女全体の「コンドームを使用しない理由」で最も多いのは「コンドームを使わない方が一体感がある」であった ($p < 0.05$)。「(過去 6 か月間の) コンドーム所持率」をみると、約 3 割の男性が常時所持していた。一方、20~30 代の女性の所持率は顕著に低く、5 割以上の女性が持っていなかった ($p < 0.01$)。

調査 2: クリニック介入調査

回収数 150 件のうち、男性、女性、ゲイ・バイセクシュアル男性の計 141 件を分析対象とした。パラパラ漫画を用いた 2 分間の介入動画の長さや表示スピードについて、8 割以上は「適当」であると回答し、20 代、30 代男女の 5 割以上より「親しみやすい」「安心できる」などの感想があった。動画の内容が「役に立った」「まあまあ役に立った」と回答した人は男性、女性、ゲイ・バイセクシュアル男性の全ての群で 8 割を超え、30 代男性と女性の全年代において 5 割以上が「役に立った」と答えた。そして、男女共に「予防のために、コンドームの常時所持が必要である」と考える人が増加し、特に 30 代男女において顕著な増加を認めた ($p < 0.001$)。また、「この 5 年間で、20 代の女性の梅毒感染者数が急増した」「セックスの時、コンドームを使うように相手に働きかける (断る) セリフがイメージできる」の 2 項目は、性別を問わず知識の獲得がすすんだ ($p < 0.005$)。

研究 4: 配布数 67,960 件、回答数 22,392 件、有効回答数 21,634 件、有効回収率は 31.8% であった。

- ・「スカートをはきたがる男子児童生徒/スカートを嫌がる女子児童生徒がいた」32.3%、「同性愛と思われる男子児童生徒がいた」13.5%、「同性愛と思われる女子児童がいた」11.9% であった。
- ・教育現場で教える必要性は、「男女の体の違い」

「第二次性徴」「妊娠・出産」といったこれまで学校でも取り組まれてきた項目に加えて、「薬物乱用」「性感染症」「HIV/AIDS」は9割を超える教員がその認識を示したが、「性別違和や性同一性障害」はそれを少し下回り、「同性愛」は最も低率で地域によっては6割後半台の認識であった。

- ・「同性愛」について授業に取り入れた経験は全体で14.6%、「性同一性障害」は15.5%、教える必要性を感じている教員が少なくとも6割は存在するにも関わらず実際の教育現場の取組にはつながっていないことが示された。
- ・性的指向は選べるという認識を持つものは47%、わからない者は24.2%であり7割以上に誤解あるいは知識の不足があることがわかった。

D. 考察

研究1：介入指標である6項目すべてにおいて介入を行った動画視聴あり群においてのみ有意な変化が認められた。コンテンツは男女共通のものとして2分間におさめた。動画サイトの視聴に親和性が高いと考えられる若者にとって、2分間が長く感じられるのではないか後半の動画内容について十分な記憶が残らないのではないかと等杞憂したが、十分な効果が確認できた。強調したい必要な情報は大きな文字で太字のテロップ（字幕）や効果音を活用し、コンドームケースやコンドームの種類やサイズの多様性についても、実際の製品を紹介することで現実的な選択肢の多さを示すことが出来たといえる。

研究2：研究1では、クラブ利用の若者の多くが複数のセックスパートナーを有しながらコンドーム常用率が低いこと、また、HIV/STIの正しい知識や関心を有していないことが明らかとなった。特に、若年層・女性に対しHIV/STIの基本的知識を向上させる介入が必要である。女性のコンドーム常用率が低いことが懸念されるがこの点は女性のみならず男性に対する意

識・行動の変化を促す介入が併せて重要である。研究2では性的に活発な繁華街の若者男女をターゲットとするクラブコミュニティを巻き込んだ予防啓発介入手法の開発に成功した。予防意識の定着を図るため、一過性に終わらず今後も繰り返し、同ターゲットに啓発を届けることが必要である。

研究3：本研究は、HIV/STIの知識の普及および検査受検勧奨の推進を図るため、まず、その実態を探るべくA府またはA市自治体においてHIV/STI検査を受検した人を対象に質問調査を実施した。そして、今年度を含む過去3年間の調査結果より、性感染症の動向を正確に伝え注意喚起し、性感染症の正しい知識と予防としてのコンドーム使用を啓発する必要があると考え、若者に馴染みやすいパラパラ漫画を用いた介入動画を作成した。この結果、視聴の感想には、20代、30代の半数以上から「親しみやすい」「安心できる」との回答を得た。さらに、男女共に性感染症の動向として「梅毒感染者数の急増」に関する知識の獲得がすすみ、「HIVを含む性感染症の予防のためにはコンドームの常時所持が必要である」という認識の変化を認めた。ただし、2分間の視聴覚教材では伝えられる情報が限られる。そのため、動画の最後に『HIV検査・相談マップ』へアクセスできるような工夫を講じた。これによって、それぞれのニーズに合わせてより詳細な知識と受検方法、治療法、支援などの情報提供に繋がることを期待したい。

研究4：人口規模から言えば性別違和や性同一性障害かもしれない者の存在は0.5%、レズビア・ゲイ・バイセクシュアルはその10～11倍である5%強と国内研究によって示されているが、学校現場で教員の目につくセクシュアルマイノリティの存在は圧倒的に性別の違和感を持つ児童生徒であることが示された。また、授業で教える必要性について「男女の体の違い」「二次性徴」「薬物乱用」「性感染症」「HIV/AIDS」などは

回答者の 9 割がその必要性を認識していたが、「性別違和や性同一性障害」はそれらをやや下回り 85.7%、「同性愛」はさらに低く 74.7%であった。この傾向は 2011 年調査とほぼ同様であった。

授業で取り入れた経験は 2011 年調査では 13.7%であったが本研究では 14.6%とほぼ同程度であり、教える必要性の認識割合は微増であることがわかったが、実際に授業で取り入れた割合はほぼ変化がなかった。性的指向や性自認に関する知識や態度についてだが、性的指向は選択できるという捉えは以前とほとんど変化がなかった。

E. 結論

研究 1: 2 分間の予防啓発動画の効果評価で一定の効果が検証され、若者にとって印象に残る予防啓発の一手法であることが示された。

研究 2: 横断研究では同地域で 2~3 年間のデータをj得ることでデータの信頼性と今後必要な介入ポイントに関する確かな知見を得ることができた。介入研究では、個人レベルを超え集団レベルでセイファーセックスへの意識や行動を促進することができた。繁華街の若者の性的リスクは高く、予防啓発介入の継続が必要である。

研究 3: 近年、性交相手との出会いの方法は多様化し、新しい出会いの機会を容易に得ることができる仕組みが広がっている。このようななかにあつて、健康を守るための規範意識や性感染症に対する感染予防行動を高めるための啓蒙が急がれる。本研究では「病院(クリニック)」を情報発信の中核とし信頼感を得ながら知識を獲得、そこからインターネットを活用して、さらに個別のニーズに合わせた詳しい情報へアクセスできる仕組みを構築することができたと考ええる。

研究 4: 国内最大規模の性的指向と性自認の

多様性に関する教員調査を実施した。HIV/STI 予防啓発をはじめとして健康教育の実施にあたっては、性的指向と性自認の多様性に配慮した教育が求められその基礎資料の整備につながった。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

研究代表者

日高 庸晴

1. 論文発表

(和文)

1. 日高庸晴：ゲイ・バイセクシュアル男性の生きづらさと健康リスク行動, モダンフィジシャン, 新興医学出版社, 2019 年 5 月号 : 475-477, 2019.
2. 日高庸晴：性指向と性自認の多様性を知るー LGBTs の生徒の存在に配慮するために, 英語教育, 大修館書店, 68(1) : 76-77, 2019.
3. 日高庸晴：社会調査が示す LGBTs における DV と性暴力被害の現状, 地域保健, 東京法規出版, 2019 年 9 月号 : 28-31, 2019.
4. 日高庸晴監著：LGBTQ をはじめとするセクシュアルマイノリティ授業, 少年写真新聞社, 2019.
5. 日高庸晴：多様性が尊重される社会を, 手話通訳問題研究, 全国手話通訳問題研究所, 151 : 6-7, 2020.
6. 日高庸晴：LGTBs の学齢期におけるライフイベントとメンタルヘルス, ストレス科学, 日本ストレス学会, 印刷中, 2020.

2. 学会発表

(国内)

1. 日高庸晴：性的指向と性自認を視野に入れた教育が必要になる根拠：第 38 回日本思春期学会総会・学術集会 シンポジウム(2)「LGBT を人権の視点からどう教えるか」, 2019, 東京.

2. 合田友美, 日高庸晴: クリニックで性感染症検査を受検した男女の性感染症に関する認識—CSW と非 CSW の違いに着目して—: 第 38 回日本思春期学会学術集会, 2019, 東京.

(海外)

1. Tomomi Goda, Yasuharu Hikada: Reasons for condom use or nonuse among individuals undergoing sexually transmitted infection examination in Japan: The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020, Osaka.

研究分担者

松高 由佳

1. 論文発表

(和文)

1. 松高由佳・大塚泰正・飯田順子・藤 桂・津野香奈美他: 性的マイノリティへの適切な対応を促進する研修プログラムの留意点—産業保健スタッフ対象の研修に関する検討—総合保健科学, 36, 2020, 印刷中.

2. 学会発表

(国内)

1. 大塚泰正・松高由佳・津野香奈美・藤 桂・堀口康太他: セクシュアル・マイノリティへの理解と支援を促進させるための研修プログラムのパイロットスタディ、第 26 回日本産業精神保健学会, 2019 年, 東京.

2. 津野香奈美・大塚泰正・藤 桂・松高由佳・飯田順子他: LGBT 等の性的マイノリティ労働者における暴力の経験と精神的健康状態, 第 26 回日本行動医学会学術総会, 2019 年, 東京

(海外)

1. Tomomi Goda, Yuka Matsutaka, Yasuharu Hikada: Reasons for condom use or nonuse among individuals undergoing sexually transmitted infection examination in Japan. The 6th International Nursing

Research Conference of World Academy of Nursing Science. 2020, Osaka, Japan

合田 友美

1. 論文発表

本テーマに関する発表論文はありません。

2. 学会発表

(国内)

1. 合田友美, 日高庸晴: クリニックで性感染症検査を受検した男女の性感染症に関する認識—CSW と非 CSW の違いに着目して—: 第 38 回日本思春期学会学術集会, 2019, 東京.

(海外)

1. Tomomi Goda, Yasuharu Hikada: Reasons for condom use or nonuse among individuals undergoing sexually transmitted infection examination in Japan: The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020, Osaka.

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

Web による若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究

研究代表者：日高 庸晴（宝塚大学看護学部 教授）

研究協力者：松高 由佳（比治山大学現代文学部 准教授）

研究要旨

Web を用いた効果的な予防介入を実施するために約 2 分間の予防啓発動画の効果評価をインターネットモニターを対象に行った。動画視聴あり群（300 人）と動画視聴なし群（200 人）で比較したところ、1) 梅毒の流行、2) HIV 治療によってすぐに死ぬ病気ではなくなったこと、3) HIV 抗体検査で女性の場合内診はないこと、4) HIV 抗体検査で男性の場合ペニスの検査はないこと、5) コンドームを持ち歩く時に財布の中に保管することは適していないこと、6) 選び方次第でコンドームを使ったセックスはもっと楽しくなること、いずれの項目においても介入群において有意な効果が認められた。短時間でインパクトのある効果的なメッセージになったため、その活用方法などの検討も併せて必要である。

A. 研究目的

本研究の目的は、インターネット利用層を対象に Web による HIV/STI および検査勧奨のための短時間かつ印象に残る予防メッセージの効果評価を行うことである。

B. 研究方法

予防介入コンテンツをインターネットモニターに視聴させ、無記名自記式質問票による前後比較試験を行った。インターネットモニターの取り込み基準は 1) 18 歳～35 歳の男女、2) 過去 6 ヶ月以内に配偶者・パートナー以外とコンドームを使わない性経験がある、3) 全国の都市部（札幌市・仙台市・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県・名古屋市・京都市・大阪市・堺市・神戸市・福岡市）在住であることとした。動画視聴あり群（男女各 150 人、計 300 人）、対照群として動画視聴なし群（男女各 100 人、計 200 人）に二群化したうえで、動画の効果評価を行った。対照群は最後に動画を視聴するよう配慮した。

動画の内容は研究 2 年目にクラブ調査で用いたものを修正し、内容は男女共通とし、時間は約 2 分間とした。登場する語り手の男女 2 人が HIV/STI

予防についてクイズ形式で掛け合いをして、情報量を盛りだくさんにせず、若者にわかりやすく伝えるよう努め重要なメッセージは字幕で強調・目立たせる工夫をした。主なコンテンツは以下の通りである。

- 1) 2018 年は梅毒の年間患者数が 6,000 人を突破したこと（正解○）
- 2) エイズにかかるとすぐに死ぬ（正解×）
- 3) HIV 抗体検査では、女性の場合は内診（膣の検査）がある（正解×）
- 4) HIV 抗体検査では、男性の場合ペニスの検査がある（正解×）
- 5) コンドームを持ち歩くには財布に入れておくのが最も良い（正解×）
- 6) 選び方次第でコンドームを使ったセックスはもっと楽しく出来る（正解○）

（倫理面への配慮）

宝塚大学看護学部研究倫理委員会による研究計画の審査と承認に基づき研究を実施すると共に、質問票回答前に厚生労働科学研究の一環として実施する調査であることを記し、研究参加の同意を得られた場合のみ回答を求めた。

C. 研究結果

動画視聴あり群、視聴なし群ともにほぼ同様の基本属性であった。年齢構成は20代と30代が大半であり、最終学歴は大学卒以上が共に6割台であった。過去6ヶ月間の配偶者やパートナー以外の性交相手は9割方が友人、その他は1割程度であった。その際のコンドームの使用状況は7割が使用した時も使用しなかった時もあると回答した。

いずれの項目も動画視聴あり群のみに大幅な知識の上昇が確認され、男女ともにその上昇が確認できた ($p < .001$)。

- 1) 2018年は梅毒の年間患者数が6,000人を突破した。(正解○)では、動画視聴あり群の男性で51.3%、女性で58.7%の上昇が確認された。一方、動画視聴なし群では男性で-1.0%、女性で6.0%の変化があった。
- 2) エイズにかかるとすぐに死ぬ(正解×)
動画視聴あり群の男性で15.3%、女性で17.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性-2.0%、女性-1.0%の変化であった。
- 3) HIV抗体検査では、女性の場合は内診(膣の検査)がある(正解×)
動画視聴あり群の男性で54.7%、女性で63.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性-2.0%、女性2.0%の変化であった。
- 4) HIV抗体検査では、男性の場合ペニスの検査がある(正解×)
動画視聴あり群の男性で48.7%、女性で65.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性では0%、女性で2.0%の上昇と大幅な変化がなかった。
- 5) コンドームを持ち歩くには財布に入れておくのが最も良い(正解×)
動画視聴あり群の男性で22.7%、女性で23.3%の上昇があった。動画視聴なし群では-4.0%、女性で2.0%の上昇と大幅な変化がなかった。
- 6) 選び方次第でコンドームを使ったセックスはもっと楽しく出来る(正解○)
動画視聴あり群の男性で34.0%、女性で

25.3%の上昇があった。動画視聴なし群では男性で-3.0%、女性で3.0%の変化にとどまった。

D. 考察

すべての項目において介入を行った動画視聴あり群においてのみ有意な変化が認められた。対照群には有意な効果は認められなかった。研究2年目のクラブ調査で用いた動画をベースに一部修正し男女共通のものとして2分間におさめた。動画サイトの視聴に親和性が高いと考えられる若者にとって、2分間が長く感じられるのではないかと後半の動画内容について十分な記憶が残らないのではないかと杞憂したが、十分な効果が確認できた。強調したい必要な情報は大きな文字で太字のテロップ(字幕)を活用したこと、効果音を盛り込んだことの影響等であると考えられる。また、若年層での梅毒の流行拡大についてはバラ疹などの症状が発現すること、HIVのみならず性感感染症の検査の重要性についても言及した。行動変容を促す具体的提案として、コンドームを持ち歩く際にこういったケースがあるよ、といったアイデアやその実物を見せたことや、コンドームの種類はサイズや形、パッケージ等バラエティに富んでおりいくつかの製品の外箱を実際に紹介することで、選択肢が多くあることを具体的に示したことも功を奏したと思われる。

E. 結論

2分間の予防啓発動画の効果評価で一定の効果が検証され、若者にとって印象に残る予防啓発の一手法であることが示された。

F. 研究発表

1. 論文発表

(和文)

1. 日高庸晴：ゲイ・バイセクシュアル男性の生きづらさと健康リスク行動, モダンフィジシャン, 新興医学出版社, 2019年5月号:475-477, 2019.
2. 日高庸晴：性指向と性自認の多様性を知るーLGBTsの生徒の存在に配慮するために, 英語教育, 大修館書店, 68(1):76-77, 2019.

3. 日高庸晴：社会調査が示す LGBTs における DV と性暴力被害の現状, 地域保健, 東京法規出版, 2019 年 9 月号 : 28-31, 2019.
 4. 日高庸晴監著 : LGBTQ をはじめとするセクシュアルマイノリティ授業, 少年写真新聞社, 2019.
 5. 日高庸晴 : 多様性が尊重される社会を, 手話通訳問題研究, 全国手話通訳問題研究所, 151 : 6-7, 2020.
 6. 日高庸晴 : LGTBs の学齢期におけるライフイベントとメンタルヘルス, ストレス科学, 日本ストレス学会, 印刷中, 2020.
2. 学会発表
- (国内)
1. 日高庸晴 : 性的指向と性自認を視野に入れた教育が必要になる根拠 : 第 38 回日本思春期学会総会・学術集会 シンポジウム (2) 「LGBT を人権の視点からどう教えるか」, 2019, 東京.
 2. 合田友美, 日高庸晴 : クリニックで性感染症検査を受検した男女の性感染症に関する認識 - CSW と非 CSW の違いに着目して - : 第 38 回日本思春期学会学術集会, 2019, 東京.
- (海外)
1. Tomomi Goda, Yasuharu Hikada: Reasons for condom use or nonuse among individuals undergoing sexually transmitted infection examination in Japan: The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020, Osaka.

G. 引用

なし

表1. 基本属性

	動画視聴あり群	動画視聴なし群	全体
■年齢平均			
有効回答数	300	200	500
平均値	28.96	28.78	28.89
中央値	29.00	29.00	29.00
標準偏差	4.241	4.513	4.348
最小値	18	18	18
最大値	35	35	35

表1. 基本属性

	動画視聴あり群 n=300		動画視聴なし群 n=200		全体 n=500	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
■年代						
10代	5	(1.7)	2	(1.0)	7	(1.4)
20代	154	(51.3)	102	(51.0)	256	(51.2)
30代	141	(47.0)	96	(48.0)	237	(47.4)
■性別						
男性	150	(50.0)	100	(50.0)	250	(50.0)
女性	150	(50.0)	100	(50.0)	250	(50.0)
■性行為を行った相手(複数回答)						
友人	285	(95.0)	174	(87.0)	459	(91.8)
その他	24	(8.0)	32	(16.0)	56	(11.2)
■性行為の際、コンドームは使用しましたか。						
使用した時も、使用しなかった時もある	222	(74.0)	140	(70.0)	362	(72.4)
使用した時は1度もなかった	78	(26.0)	60	(30.0)	138	(27.6)
■最終学歴を教えてください。						
中学在学中・卒業	5	(1.7)	6	(3.0)	11	(2.2)
高校在学中・卒業	43	(14.3)	31	(15.5)	74	(14.8)
専門在学中・卒業	43	(14.3)	20	(10.0)	63	(12.6)
高専在学中・卒業	5	(1.7)	3	(1.5)	8	(1.6)
短大在学中・卒業	13	(4.3)	8	(4.0)	21	(4.2)
大学在学中・卒業	169	(56.3)	117	(58.5)	286	(57.2)
大学院在学中・卒業	19	(6.3)	15	(7.5)	34	(6.8)
その他	3	(1.0)	-	(0.0)	3	(0.6)
■居住地域						
札幌市	20	(6.7)	6	(3.0)	26	(5.2)
仙台市	10	(3.3)	6	(3.0)	16	(3.2)
埼玉県	29	(9.7)	25	(12.5)	54	(10.8)
千葉県	29	(9.7)	20	(10.0)	49	(9.8)
東京都	91	(30.3)	60	(30.0)	151	(30.2)
神奈川県	38	(12.7)	27	(13.5)	65	(13.0)
名古屋市	14	(4.7)	17	(8.5)	31	(6.2)
京都市	7	(2.3)	7	(3.5)	14	(2.8)
大阪市・堺市	32	(10.7)	17	(8.5)	49	(9.8)
神戸市	9	(3.0)	6	(3.0)	15	(3.0)
福岡市	21	(7.0)	9	(4.5)	30	(6.0)

表2. 知識

		回答1回目		回答2回目		p値 対応サンプル McNemar検定
		n	(%)	n	(%)	
■2018年は梅毒の年間患者数が6,000人を突破した。						
動画視聴あり	①男性	そう思う(正)	n=150 63 (42.0)	n=150 140 (93.3)	+51.3% ↑	0.000
		そう思わない	18 (12.0)	7 (4.7)		
		わからない	69 (46.0)	3 (2.0)		
	②女性	そう思う(正)	n=150 55 (36.7)	n=150 143 (95.3)	+58.7% ↑	0.000
		そう思わない	10 (6.7)	4 (2.7)		
		わからない	85 (56.7)	3 (2.0)		
	①+②全体	そう思う(正)	n=300 118 (39.3)	n=300 283 (94.3)	+55.0% ↑	0.000
		そう思わない	28 (9.3)	11 (3.7)		
		わからない	154 (51.3)	6 (2.0)		
動画視聴なし	①男性	そう思う(正)	n=100 44 (44.0)	n=100 43 (43.0)	-1.0% ↓	1.000
		そう思わない	12 (12.0)	16 (16.0)		
		わからない	44 (44.0)	41 (41.0)		
	②女性	そう思う(正)	n=100 29 (29.0)	n=100 35 (35.0)	+6.0% ↑	0.031
		そう思わない	6 (6.0)	6 (6.0)		
		わからない	65 (65.0)	59 (59.0)		
	①+②全体	そう思う(正)	n=200 73 (36.5)	n=200 78 (39.0)	+2.5% ↑	0.302
		そう思わない	18 (9.0)	22 (11.0)		
		わからない	109 (54.5)	100 (50.0)		
■エイズにかかるとすぐ死ぬと思う。						
動画視聴あり	①男性	そう思う	n=150 18 (12.0)	n=150 4 (2.7)		0.000
		そう思わない(正)	120 (80.0)	143 (95.3)	+15.3% ↑	
		わからない	12 (8.0)	3 (2.0)		
	②女性	そう思う	n=150 16 (10.7)	n=150 2 (1.3)		0.000
		そう思わない(正)	120 (80.0)	146 (97.3)	+17.3% ↑	
		わからない	14 (9.3)	2 (1.3)		
	①+②全体	そう思う	n=300 34 (11.3)	n=300 6 (2.0)		0.000
		そう思わない(正)	240 (80.0)	289 (96.3)	+16.3% ↑	
		わからない	26 (8.7)	5 (1.7)		
動画視聴なし	①男性	そう思う	n=100 5 (5.0)	n=100 7 (7.0)		0.727
		そう思わない(正)	87 (87.0)	85 (85.0)	-2.0% ↓	
		わからない	8 (8.0)	8 (8.0)		
	②女性	そう思う	n=100 8 (8.0)	n=100 7 (7.0)		1.000
		そう思わない(正)	82 (82.0)	81 (81.0)	-1.0% ↓	
		わからない	10 (10.0)	12 (12.0)		
	①+②全体	そう思う	n=200 13 (6.5)	n=200 14 (7.0)		0.581
		そう思わない(正)	169 (84.5)	166 (83.0)	-1.5% ↓	
		わからない	18 (9.0)	20 (10.0)		

表2. 知識

		回答1回目		回答2回目		p値
		n	(%)	n	(%)	対応サンプル McNemar検定
■ HIV(エイズ)の検査では、女性は内診(産婦人科での膣の診察)がある。						
動画 視聴 あり	①男性	そう思う	n=150 33 (22.0)	n=150 18 (12.0)		0.000
		そう思わない(正)	44 (29.3)	126 (84.0)	+54.7% ↑	
		わからない	73 (48.7)	6 (4.0)		
	②女性	そう思う	n=150 63 (42.0)	n=150 15 (10.0)		0.000
		そう思わない(正)	37 (24.7)	132 (88.0)	+63.3% ↑	
		わからない	50 (33.3)	3 (2.0)		
	①+② 全体	そう思う	n=300 96 (32.0)	n=300 33 (11.0)		0.000
		そう思わない(正)	81 (27.0)	258 (86.0)	+59.0% ↑	
		わからない	123 (41.0)	9 (3.0)		
動画 視聴 なし	①男性	そう思う	n=100 21 (21.0)	n=100 20 (20.0)		0.727
		そう思わない(正)	38 (38.0)	36 (36.0)	-2.0% ↓	
		わからない	41 (41.0)	44 (44.0)		
	②女性	そう思う	n=100 44 (44.0)	n=100 43 (43.0)		0.625
		そう思わない(正)	21 (21.0)	23 (23.0)	+2.0% ↑	
		わからない	35 (35.0)	34 (34.0)		
	①+② 全体	そう思う	n=200 65 (32.5)	n=200 63 (31.5)		1.000
		そう思わない(正)	59 (29.5)	59 (29.5)	±0.0% →	
		わからない	76 (38.0)	78 (39.0)		
■ HIV(エイズ)の検査では、男性はペニスの診察がある。						
動画 視聴 あり	①男性	そう思う	n=150 46 (30.7)	n=150 16 (10.7)		0.000
		そう思わない(正)	56 (37.3)	129 (86.0)	+48.7% ↑	
		わからない	48 (32.0)	5 (3.3)		
	②女性	そう思う	n=150 53 (35.3)	n=150 15 (10.0)		0.000
		そう思わない(正)	33 (22.0)	131 (87.3)	+65.3% ↑	
		わからない	64 (42.7)	4 (2.7)		
	①+② 全体	そう思う	n=300 99 (33.0)	n=300 31 (10.3)		0.000
		そう思わない(正)	89 (29.7)	260 (86.7)	+57.0% ↑	
		わからない	112 (37.3)	9 (3.0)		
動画 視聴 なし	①男性	そう思う	n=100 28 (28.0)	n=100 28 (28.0)		1.000
		そう思わない(正)	45 (45.0)	45 (45.0)	±0.0% →	
		わからない	27 (27.0)	27 (27.0)		
	②女性	そう思う	n=100 37 (37.0)	n=100 37 (37.0)		0.500
		そう思わない(正)	21 (21.0)	23 (23.0)	+2.0% ↑	
		わからない	42 (42.0)	40 (40.0)		
	①+② 全体	そう思う	n=200 65 (32.5)	n=200 65 (32.5)		0.625
		そう思わない(正)	66 (33.0)	68 (34.0)	+1.0% ↑	
		わからない	69 (34.5)	67 (33.5)		

表2. 知識

		回答1回目		回答2回目		p値 対応サンプル McNemar検定
		n	(%)	n	(%)	
■コンドームを持ち歩くには財布に入れておくのが最も良い。						
動画 視聴 あり	①男性	そう思う	n=150 33 (22.0)	n=150 14 (9.3)		0.000
		そう思わない(正)	99 (66.0)	133 (88.7)	+22.7% ↑	
		わからない	18 (12.0)	3 (2.0)		
	②女性	そう思う	n=150 23 (15.3)	n=150 6 (4.0)		0.000
		そう思わない(正)	105 (70.0)	140 (93.3)	+23.3% ↑	
		わからない	22 (14.7)	4 (2.7)		
	①+② 全体	そう思う	n=300 56 (18.7)	n=300 20 (6.7)		0.000
		そう思わない(正)	204 (68.0)	273 (91.0)	+23.0% ↑	
		わからない	40 (13.3)	7 (2.3)		
動画 視聴 なし	①男性	そう思う	n=100 18 (18.0)	n=100 22 (22.0)		0.219
		そう思わない(正)	70 (70.0)	66 (66.0)	-4.0% ↓	
		わからない	12 (12.0)	12 (12.0)		
	②女性	そう思う	n=100 13 (13.0)	n=100 14 (14.0)		0.625
		そう思わない(正)	69 (69.0)	71 (71.0)	+2.0% ↑	
		わからない	18 (18.0)	15 (15.0)		
	①+② 全体	そう思う	n=200 31 (15.5)	n=200 36 (18.0)		0.754
		そう思わない(正)	139 (69.5)	137 (68.5)	-1.0% ↓	
		わからない	30 (15.0)	27 (13.5)		
■選び方次第でコンドームを使ったセックスはもっと楽しくできる。						
動画 視聴 あり	①男性	そう思う(正)	n=150 86 (57.3)	n=150 137 (91.3)	+34.0% ↑	0.000
		そう思わない	34 (22.7)	9 (6.0)		
		わからない	30 (20.0)	4 (2.7)		
	②女性	そう思う(正)	n=150 103 (68.7)	n=150 141 (94.0)	+25.3% ↑	0.000
		そう思わない	11 (7.3)	6 (4.0)		
		わからない	36 (24.0)	3 (2.0)		
	①+② 全体	そう思う(正)	n=300 189 (63.0)	n=300 278 (92.7)	+29.7% ↑	0.000
		そう思わない	45 (15.0)	15 (5.0)		
		わからない	66 (22.0)	7 (2.3)		
動画 視聴 なし	①男性	そう思う(正)	n=100 74 (74.0)	n=100 71 (71.0)	-3.0% ↓	0.375
		そう思わない	16 (16.0)	17 (17.0)		
		わからない	10 (10.0)	12 (12.0)		
	②女性	そう思う(正)	n=100 66 (66.0)	n=100 69 (69.0)	+3.0% ↑	0.375
		そう思わない	14 (14.0)	10 (10.0)		
		わからない	20 (20.0)	21 (21.0)		
	①+② 全体	そう思う(正)	n=200 140 (70.0)	n=200 140 (70.0)	±0.0% →	1.000
		そう思わない	30 (15.0)	27 (13.5)		
		わからない	30 (15.0)	33 (16.5)		

繁華街の若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究

研究分担者：松高 由佳 (比治山大学現代文化学部)
研究協力者：草生 祐輔 (ヴァレンティノジャパン)
合田 友美 (宝塚大学看護学部)
三好 真人 (比治山大学現代文化学部)
杉本 悠貴恵 (広島大学病院)
佐藤 友哉 (比治山大学現代文化学部)
研究代表者：日高 庸晴 (宝塚大学看護学部)

研究要旨

本研究では前年度に引き続き、大阪および札幌の繁華街の若者を対象に HIV/STI に関する知識・意識・性行動・検査行動の実態に関する横断調査を実施した(研究 1)。また、同対象をターゲットとし、前年度にクラブ 1 店舗で実施・検証した HIV/STI 予防啓発プログラムを改良・拡大する形でセクシュアルヘルス向上を目的としたキャンペーンとして複数のクラブ店舗で同時多発的に介入を実施した(研究 2)。

研究 1 では、大阪市内(2 店舗)および札幌市内(1 店舗)のナイトクラブに入店した 18 歳以上の男女を対象にタブレット端末を用いたオンライン行動疫学調査を実施した(2019 年 6 月～2019 年 9 月に 6 回、21 時～深夜 1 時まで実施)。773 件の回答があり、有効回答数は 741 件であった(有効回答率 95.9%、大阪 364 件、札幌 377 件)。得られた主な知見は以下のとおりである。

- 1) 知識：「HIV 検査では膣／ペニスの診察がある」では正答率が 25%に届かず、全体の半数が「エイズにかかるとすぐに死ぬ」と誤解、76.9%が「迅速検査」の存在自体を知らず、これらの傾向は昨年度とほぼ同様であった。
- 2) 性行動：過去 6 か月間にセックス経験ありの割合は大阪、札幌とも約 7 割で、そのうち約 6 割が複数のセックスパートナーを有していた。過去 6 か月間のコンドーム使用状況(膣性交時)は、常時使用率は札幌 39.0%、(男性 44.7%、女性 22.9%)、大阪 46.2%、(男性 50.4%、女性 40.4%)であった。いずれの地方も女性の常時使用率が男性に比べ低く、これは昨年度と同様の傾向であった。
- 3) 受検行動：生涯の HIV 検査受検率は札幌 6.6% (男性 6.5%、女性 6.9%)、大阪 6.3% (男性 4.0%、女性 9.2%)であった。札幌は昨年度から約 1%低下したがほぼ同様であった。大阪は男性が約 5%も低下していた。

以上より、クラブ利用の若者の多くが HIV/STI の正しい知識を有していないことや、受検率が低いこと、HIV/STI 感染リスク行動の実態が改めて示された。

研究 2 では、大阪繁華街のクラブ 4 店舗において、HIV/STI 予防啓発介入キャンペーンを 2 日間、同時に開催した(2019 年 12 月)。コンドームに親近感を持たせるためのゲーム(2 種)や HIV/STI 予防に関する知識向上を目的としたクイズ(2 種)を実施した。昨年度の成果および、海外での HIV/STI 予防活動に携わる研究者等へのヒアリング結果を基に、新たに作成した動画をキャンペーン実施店舗のスクリーンで提示した。この動画には、HIV 検査・予防に関する知識、男性の性に関する規範意識向上のためのメッセージを盛り込んだ。のべ 527 名の参加があり、コンドームを模した輪投げゲームに参加した 103 名にゲーム後アンケートを実施したところ、86.4%が「コンドームについて、避妊だけではなく性感感染症予防という目的も意識しようと思った」、81.5%が「セックスの時にはコンドームを使おうという

気持ちが高まった」に「とてもそう思う・ややそう思う」と回答するなどの成果がみられた。性的に活発な若者をターゲットとするクラブコミュニティを巻き込んだ予防啓発介入の1つのモデルを提供したといえよう。

A. 研究目的

本分担研究では、繁華街の性的に活発な若者男女を主たる対象に、HIV/STIに関する知識・意識・性的リスク行動・検査行動の実態を明らかにする横断調査を初年次から継続して実施してきた。本研究ではこれまで明らかになった実態の継続性を検討し、若者男女へのHIV/STI予防啓発に資する基礎的データを拡充させることを目的に、昨年度と同地域（大阪と札幌）にて横断調査を実施した（研究1）。

また、昨年度実施、検証した個別型のHIV/STI予防啓発介入プログラムをさらに改良・拡大し、夜の繁華街に出入りする若者男女のための安全とセクシュアルヘルス向上を狙いとするキャンペーンとして複数のクラブ店舗で同時多発的に介入を実施し、その反応を検討した（研究2）。

B. 研究方法

【研究1】

1. 調査対象者および手続き

大阪市内（2店舗）および札幌市内（1店舗）のナイトクラブに入店した18歳以上の男女を対象に行動疫学調査を実施した。これらは全て昨年度と同店舗であった。調査時期は2019年6月～2019年9月に計6回、21時～深夜1時まで実施した。調査員がクラブの入口付近で入場客をリクルート、研究班のiPadで無記名自記式質問票サイトにアクセスし、約3分で回答する手順とした。iPad（8台）が全て使用中の場合は対象者のスマートフォンでQRコードから同サイトにアクセスし回答させた。回答終了者には謝品としてクラブのドリンクチケット（700円相当）1枚を手渡した。

外国人客および泥酔状態の客については、本調査票への回答は困難であるためリクルートの対象から除外した。

2. 質問票の構成

回答回数、属性項目（年齢、性別、恋愛対象となる性別、最終学歴、職業）、クラブ利用目的、HIV/STIや検査に関する知識、HIV検査受検経験（生涯）、過去6か月間の「セックス経験の有無、セックスした相手の性別・人数・種別・国籍、挿入行為の種類」、過去6か月間のセックス時のコンドーム使用状況等、STI既往歴（生涯）、薬物使用経験（生涯）で構成した。

3. 倫理的配慮

質問票サイトはSecure Socket Layer (SSL)によって保護され、回答者が回答データを暗号化してサーバーに送信することで情報漏洩を防止した。対象者リクルートの際にはポスター、口頭での説明に加え、質問票サイト上の説明にて研究目的や質問項目、データの取り扱い、プライバシー保護等について十分に説明し、同意を得た場合にのみ回答画面に進む手続きとした。回答途中でも回答を取りやめることができる旨を表示し、調査終了画面には苦情・問い合わせ先を明示した。本研究の実施にあたり、比治山大学研究倫理審査委員会の承認を得た。

【研究2】

1. 介入対象者および手続き

2019年12月、世界エイズデーに合わせ大阪市内の同地区に所在する繁華街のクラブ4店舗において、HIV/STI予防啓発介入キャンペーンを同時に開催した（22時～26時、2日間）。対象者はクラブに入店した18歳以上の男女であった。コンドームに親近感を持たせるためのゲーム（2種）やHIV/STI予防に関する知識向上を目的としたクイズ（2種）を実施し、最後まで参加した者には謝品としてクラブのドリンクチケット（700円相当）またはグッズ（有名メーカーの雑貨やコンドーム等）を提供した。謝品の種類は、はずれ無し

のクジによって選定した。いずれの店舗でも、クラブ内にキャンペーンブースを設置し、調査員 2 名が待機し、入店した客にポスターおよびタブレット端末を見せながらキャンペーンについて説明しリクルートを行った。同意が得られた客には、クイズ、またはゲームを進めた。クイズへの回答およびゲーム実施後の反応評定では全てオンラインのクイズフォームを使用し、回答には研究班のタブレット端末を用いた。タブレット端末が全て使用中の場合は対象者のスマートフォンで QR コードから同サイトにアクセスし回答させた。

キャンペーンブースは注目を引くようターポリンを配置し、楽しい雰囲気に見えるよう設営した。謝品としてのグッズは若者に人気のメーカーから協賛を受け提供した。さらに、昨年度の成果および、海外での HIV/STI 予防啓発活動に携わる研究者等へのヒアリング結果を基に、新たに作成した動画をキャンペーン実施店舗内の複数のスクリーンで提示した。この動画には、HIV 検査・予防に関する知識、男性の性に関する規範意識向上のためのメッセージを盛り込んだ。ゲームについても、海外での HIV/STI 予防啓発の研究者等へのヒアリング結果を参考に考案した。

2. 介入のためのクイズ、ゲームの構成

クイズ：昨年度クラブにて HIV/STI 予防啓発のために実施したクイズ（1 種）を基にいくつか項目を追加し、2 種（A、B 各 5 項目）を作成し、店舗によって実施クイズを変えた。フェイス項目（年齢、性別等）に続いて HIV/STI に関する基礎知識、予防、検査に関する項目で構成し、「○（そう思う）」「×（そう思わない）」「？（わからない）」の 3 件法で回答を求めた。クイズ A では一部男性用項目と女性用項目があり、フェイス項目で回答した性別に応じて分岐させた。回答終了後は、クイズの正答と短い解説のページ（解説画面）に進むように設定した。解説画面の閲覧中は対象者が飛ばさず読んでいるかどうか調査員が様子を確認しながら進めた。解説画面を最後まで確認すると謝辞画面が提示され、それを調査員に見せた回答者には、謝品を提供し終了とした。

ゲーム：「バナナゲーム」と「コンドーム風船

55 ゲーム」の 2 種を用意し、店舗によって実施ゲームを変えた。説明と同意→ゲーム実施→ゲーム後の反応評定（5 項目）→終了後に謝品提供、という手順で進めた。ゲームはいずれも、 Condom への親近感や使用意識を高める目的で実施していること、ゲーム終了後に反応評定があることを対象者に説明した。

「バナナゲーム」は、台に立てた 3 本のバナナ（フィギュア）に向けてカラフルな Condom 様のフィギュア 5 個を輪投げの要領で投げ、より多くを被せることを目指すものであった。「コンドーム風船ゲーム」は調査員が Condom の実物にポンプで空気を入れていく様を対象者に見せ、対象者には 55cm の長さまで膨らんだと思った時点でストップをかけてもらい、より 55cm に近づけることを目指すものであった。いずれも、個人でも友人同士で競う形でも実施可能とした。

ゲーム後の反応評定ではフェイス項目（年齢、性別）に続いて、ゲームを通じて Condom への親近感や使用意図等が高まったかどうかを 4 項目 5 件法で尋ね、最後にゲームの感想を選択させる 1 項目（複数回答可）で終了とした。

3. 倫理的配慮

サイトおよびゲーム後の反応評定サイトは Secure Socket Layer (SSL) によって保護されており、回答データの送信の際は内容を暗号化し、情報漏洩を防止した。参加者リクルートの際にはポスター、口頭での説明に加え、サイト上の説明にて研究目的や質問項目、データの取り扱い、プライバシー保護、苦情・問い合わせ先等について十分に説明し、同意を得た場合にのみその後の手順に進む手続きとした。また、回答途中でも回答を取りやめることができる旨を表示した。本研究の実施にあたり、比治山大学研究倫理審査委員会の承認を得た。

C. 研究結果

【研究 1】

1. 回答者

773 件の回答があり、2 回目以上の回答、回答傾向から不正回答が予見されるケース、性別で

「その他」を選択したケースを分析から除外した。その結果、有効回答数 741 件であった（有効回答率 95.9%、大阪 364 件、札幌 377 件）。男性 418 名（56.4%）、女性 323 名（43.6%）、年齢は平均 22.3 歳（SD=4.3）で 10 代が 15.1%、20 代が 80.6%を占めた（range 18~55）（表 1）。

男性の 94.3%、女性の 86.7%が恋愛対象として異性のみを選択した（表 2）。その他、クラブ利用目的、職業、最終学歴については表 2 に示した。なお、以下クロス集計の有意水準は 5%以下とした。

2. HIV/STI に関する知識、検査の知識

正答割合が最も低かったのは「HIV（エイズ）の検査には、内診（婦人科や産婦人科での膣の診察）がある／ペニスの診察がある」で正答率女性 13.6%、男性 22.0%であった（男女別項目）。つまり HIV 検査に性器の診察があるかどうかについて約 8 割前後の男女が誤解していた。ついで正答率が低かったのは、「その日のうちに結果がわかる HIV（エイズ）検査がある」で、正答率 23.1%（男性 26.1%、女性 19.2%）であった。そのほかにも「HIV（エイズ）にかかると、すぐ死ぬと思う」は正答率 5 割前後であるなど、HIV/STI に関する知識、検査の知識は昨年度同様、全体的に低いことが明らかになった。男性は全ての項目、女性は 5 項目中 4 項目で札幌より大阪における正答率が低い傾向にあった（表 3）。

年齢層別にみると、「STI 罹患で HIV に感染しやすくなる」「その日のうちに結果がわかる HIV 検査がある」以外の項目で、年齢層による正答率の割合に有意差がみられ、若年層ほど正答率が低い傾向がみられた。特に、HIV 検査で性器の診察がないことを理解している割合は 10 代で 10%に満たず非常に低かった（表 8）。

3. HIV 検査受検行動

生涯の HIV 検査受検率は札幌 6.6%、大阪 6.3%であった。札幌では男女でほとんど差がない（男性 6.5%、女性 6.9%）のに対し、大阪では男性が女性の半分以下にとどまった（男性 4.0%、女性 9.2%）。

受検経験ありの回答者に受検場所を尋ねたと

ころ、全体で最も割合が高かったのは病院・診療所等で 47.9%、次いで保健所等の 43.8%であった。地方別にみると保健所等は札幌 56.0%、（男性 57.1%、女性 54.5%）、大阪 30.4%（男性 37.5%、女性 26.7%）、病院・診療所等は札幌 40.0%、（男性 35.7%、女性 45.5%）、大阪 56.5%（男性 12.5%、女性 80.0%）、郵送検査は札幌 8.0%（男性 14.3%、女性 0%）、大阪 0%であった。大阪では病院・診療所等での受検割合について男女間に有意差がみられた（表 4）。

年齢層別にみると受検経験割合は年齢層による有意差がみられ、20 代以下において割合が一桁と特に低い値であった（10 代 4.5%、20 代 6.0%）。（表 9）。

4. 性行動

過去 6 か月間にセックス（膣性交、アナルセックス、オーラルセックス、相互マスターベーション）経験ありの割合は札幌 72.1%（男性 74.2%、女性 69.4%）、大阪 71.2%（男性 73.1%、女性 68.7%）で、そのうち約 6 割が複数のセックスパートナーありと回答した（表 5-1、5-2）。

過去 6 か月間の相手種別等の詳細は表 5-2 に示した。外国籍の相手とのセックス経験ありは札幌で 5.5%（男性 5.0%、女性 6.3%）、大阪で 3.5%（男性 3.4%、女性 3.6%）であった。過去 6 か月間のセックスの相手種別（複数回答）では、「恋人など特定の相手」が札幌 57.0%、（男性 56.5%、女性 57.7%）、大阪 57.9%（男性 53.7%、女性 63.4%）と、いずれの地方においても最も割合が高く、次いで「友達・セフレと」が札幌 46.0%、（男性 47.8%、女性 43.2%）、大阪 45.9%（男性 46.3%、女性 45.5%）、「街やクラブでナンパされた相手と」札幌 12.1%（男性 11.8%、女性 12.6%）、大阪 7.7%（男性 7.5%、女性 8.0%）の順に割合が高かった。金銭授受を介したセックスについては「お金を払った相手と」では女性は 0%で、男性のみ札幌 5.0%、大阪 6.8%となった。「お金をくれた相手と」と回答したのは札幌 0.7%（男性 1.2%、女性 0%）、大阪 0.8%（男性 0%、女性 1.8%）であった。

年齢層別にみると、30 代が最も過去 6 か月間のセックス経験率が高く 80.0%、次いで 40 代以上が

75.0%、20代73.7%、最も低かったのは10代58.9%であり、年齢層で有意差がみられた(表10)。

過去6か月間にセックスありと回答した人に、経験した性交の種類(複数回答)を尋ねたところ、膣性交が札幌91.5%、(男性94.4%、女性87.4%)、大阪85.3% (男性86.4%、女性83.9%)で、札幌のみ男性が女性より経験割合が有意に高かった。アナルセックス(挿入側)は札幌男性5.0%、大阪男性6.8%、アナルセックス(被挿入側)は、札幌4.8%、(男性1.9%、女性9.0%)、大阪5.8%、(男性1.4%、女性11.6%)であった。過去6か月間に膣性交があったと回答した人にコンドーム使用状況(膣性交時)を尋ねたところ、常時使用率は札幌39.0%、(男性44.7%、女性29.9%)、大阪46.2%、(男性50.4%、女性40.4%)であり、いずれの地域も女性の常時使用率が男性に比べ低かった(表5-3)。

年齢層別にみたコンドーム使用状況(膣性交)では40代が常用率62.5%で最も高く、次いで10代57.6%、20代40.5%、最も低かったのが30代で15.4%であった(表10-2)。

5. 既往歴(生涯・複数回答)

既往なしの割合は、札幌で85.1%(男性84.3%、女性86.3%)、大阪で85.7%(男性88.1%、女性82.8%)であった。既往歴ありについては、最も割合が高かったのはクラミジアで、札幌8.2%(男性8.8%、女性7.5%)、大阪7.7%(男性4.5%、女性11.7%)であり、大阪では女性が有意に高い割合となった。梅毒は札幌1.9%(男性1.8%、女性1.9%)、大阪5.8%(男性5.5%、女性6.1%)と札幌より大阪で高い傾向にあった。淋菌感染症は札幌2.9%(男性4.1%、女性1.3%)、大阪3.3%(男性3.0%、女性3.7%)であった。B型肝炎は札幌男性が2.8%に対し女性は0%、大阪では男性が0%に対し女性が4.3%と地方により逆の傾向がみられた(表6)。これらの結果を概観すると、札幌では若干既往ありの割合が昨年に比して減少しているが、大阪では増加していた。

年齢層別にみると(表11)、高い年齢層ほど既往なしの割合が低くなる傾向がみられたが、生涯既往を聞いていることも要因であろう。

6. アルコール関連・薬物使用経験(生涯・複数回答)

最も経験率の高かったアルコールでの「酔いつぶれ(お酒で記憶をなくした)」は、札幌26.0%(男性27.2%、女性24.4%)、大阪20.3%(男性17.9%、女性23.3%)であった。次に経験率が高かったのは札幌では大麻で3.7%(男性5.5%、女性1.3%)、大阪では睡眠薬・睡眠導入剤で3.0%(男性3.0%、女性3.1%)と続いた(表7)。違法、脱法ドラッグのいずれかを生涯に経験した割合は札幌5.6%(男性8.3%、女性1.9%)、大阪3.3%(男性5.0%、女性1.2%)で、女性より男性が高く、特に札幌の男性が最も高い割合を示した。

年齢層別にみると、MDMA・コカイン・危険ドラッグの使用経験者が20代にのみ認められた。大麻使用経験者はどの年齢層でも認められた(10代2.7%、20代2.8%、30代5.0%、40代以上8.3%)。10代(未成年)にも関わらず「酔いつぶれ(お酒で記憶をなくした)」と回答した者が17.0%という問題が明らかとなった(表12)。

【研究2】

1. 参加者

のべ527名(男性333名、女性194名)の参加が得られた。平均年齢は23.7歳(SD=4.6)で10代が8.2%、20代が80.1%、30代が10.6%、40代が1.1%であった。

2. ゲーム参加による反応

バナナゲーム 103名(男性64名、女性39名)の参加者を対象に、以下の項目について5件法でゲーム後の反応評定を行った。得点が高いほど項目で示した反応が強いことを意味する。「今までよりコンドームが身近なものに感じられた」では平均得点4.2(SD=1.0)、男性平均4.3(SD=.95)、女性平均4.0(SD=1.2)であった。「セックスの時にはコンドームを使おうという気持ちが高まった」では平均得点4.3(SD=1.1)、男性平均4.3(SD=1.1)、女性平均4.3(SD=1.2)であった。「今までよりコンドームに対する羞恥心(恥ずかしさ)が減った」では平均得点4.3(SD=1.0)、男性

平均 4.3 (SD=1.0)、女性平均 4.3 (SD=1.1) であった。「コンドームについて、避妊だけではなく性感染症予防という目的も意識しようと思った」では平均得点 4.5 (SD=0.8)、男性平均 4.6 (SD=0.9)、女性平均 4.5 (SD=0.8) であった。性別による得点の有意差はみられなかった。

ゲームの感想を複数回答で尋ねたところ、「楽しかった」が 72.8% (男性 71.9%、女性 74.4%)、「おもしろかった」が 14.6% (男性 10.9%、女性 20.5%)、「難しかった」が 9.7% (男性 12.5%、女性 5.1%)、「新鮮だった」が 23.3% (男性 23.4%、女性 23.1%)、「友達にも勧めたい」が 2.9% (男性 4.7%、女性 0%)、「恥ずかしかった」が 1.9% (男性 3.1%、女性 0%) であった。

コンドーム風船ゲーム 53名 (男性 39名、女性 14名) の参加者を対象に、以下の項目について 5 件法でゲーム後の反応評定を行った。得点が高いほど項目で示した反応が強いことを意味する。「今までよりコンドームが身近なものに感じられた」では 3.7 (SD=1.2)、男性平均 3.8 (SD=1.2)、女性平均 3.6 (SD=1.3) であった。「セックスの時にはコンドームを使おうという気持ちが高まった」では平均得点 3.8 (SD=1.2)、男性平均 3.8 (SD=1.2)、女性平均 3.9 (SD=1.0) であった。「今までよりコンドームに対する羞恥心 (恥ずかしさ) が減った」では平均得点 3.7 (SD=1.3)、男性平均 3.7 (SD=1.3)、女性平均 3.6 (SD=1.2) であった。「コンドームについて、避妊だけではなく性感染症予防という目的も意識しようと思った」では平均得点 4.2 (SD=1.0)、男性平均 4.1 (SD=1.1)、女性平均 4.3 (SD=0.6) であった。性別による得点の有意差はみられなかった。

ゲームの感想を複数回答で尋ねたところ、「楽しかった」が 52.8% (男性 51.3%、女性 57.1%)、「おもしろかった」が 17.0% (男性 20.5%、女性 7.1%)、「難しかった」が 17.0% (男性 15.4%、女性 21.4%)、「新鮮だった」が 24.5% (男性 23.1%、女性 28.6%)、「友達にも勧めたい」が 1.9% (男性 0%、女性 7.1%)、「恥ずかしかった」が 1.9% (男性 0%、女性 7.1%) であった。「コンドームの強度がわかった」が 1.9% (男性 2.6%、女性 0%) であった。「コンドームの伸びの良さがわかった」が

7.5% (男性 7.7%、女性 7.1%) であった。

3. クイズ結果 (表 13)

クイズ A 参加者は 168 名であった (男性 94 名、女性 74 名)。女性梅毒流行に関する項目 (「2018 年は、戦後初めて梅毒の年間患者数が 6000 人を突破した (男性用項目)」「この 5 年間で、20 代女性の梅毒感染者数が急増した (女性用項目)」)、では男性の正答率が 56.4%、女性の正答率が 41.9% であった。「エイズにかかるとすぐに死ぬと思う」では、正答率 57.7% (男性 61.7%、女性 52.7%) であった。「HIV/エイズの検査では内診/ペニスの診察がある (前者が女性用項目、後者が男性用項目)」では男性の正答率 35.1%、女性の正答率が 18.9% であった。「コンドームを忘れずに持ち歩くには、財布に入れておくのが最も良い」では正答率 36.9% (男性 43.6%、女性 28.4%) であった。「HIV (エイズ) に感染しても、服薬治療を受けることで安全に妊娠、出産ができる」では正答率 33.9% (男性 39.4%、女性 27.0%) であった。男性より女性の正答率がいずれも低い傾向にあったが、男性においても正答率が 6 割を超える項目はなく、低い水準であった。

クイズ B 参加者は 203 名 (男性 136 名、女性 67 名) であった。「タダ (無料) で HIV 検査を受けられる場所がある」では正答率 58.1% (男性 61.8%、女性 50.7%) であった。「タダ (無料) で梅毒検査を受けられる場所がある」では正答率 50.2% (男性 57.4%、女性 35.8%) であった。「性感染症 (性病) にかかっても症状が出ないことがある」では正答率 54.2% (男性 55.9%、女性 50.7%) であった。「性感染症 (性病) にかかっていると HIV に感染しやすくなる」では正答率 50.7% (男性 56.6%、女性 38.8%) であった。「その日のうちに結果がわかる HIV 検査がある」では正答率 38.9% (男性 44.9%、女性 26.9%) であった。クイズ B でも全ての項目で女性が男性より正答率が低い傾向にあり、特に梅毒検査や HIV の迅速検査に関する正答率が低かった。

D. 考察

研究 1 では、昨年度と同様に大阪、札幌の 2 地

点、同店舗にて横断調査を行った。知識の結果から、クラブの若者に HIV/STI の基本的知識が浸透していないこと、特に女性や年代が若いほど知識が低いことが昨年度同様に示された。特に、10代では HIV 検査に性器の診察があるかどうかについて低い水準だった昨年度からさらに正答率が低下するなど（10代女性正答率が昨年度 10.9%→今年度 6.0%、10代男性正答率が同じく 18.8%→9.7%）、深刻な状況が加速していると考えられた。受検率については特に大阪の男性で低下がみとめられた。また、年齢層の特徴では 10代、20代の若い年代で受検率が低かった。受検推奨のための介入は引き続き重要な課題であることが改めて示された。今年度の特徴として、大阪の女性受検者では保健所等より病院・診療所等での受検割合が非常に高かった。この背景については本研究のデータからは不明だが、今後も注視していく必要がある。

性行動については、過去6か月間のセックス経験率は昨年度より若干割合が低下したが、回答者の多くが過去6か月間に複数のセックスパートナーを有し、コンドーム常用率が男性より女性において低いという傾向は昨年度と同様であった。女性への啓発とともに、男性も含めた性規範改善への働きかけが今後も必要である。年齢層別にみると 10代、20代より 30代でコンドーム常用率が低いことが示された。30代は知識としては若年層より高い傾向にあるものの、年齢を重ねていく中で予防意識が低下することが考えられ、注意が必要である。

アルコール・薬物使用経験については 10代（未成年）にも関わらず「酔いつぶれ（お酒で記憶をなくした）」経験をもつ割合が 17%と、昨年度とほぼ同様の結果が明らかとなった。このような実態は性的リスクとも関連するため、夜の街に出る若者へのアルコール問題への介入はセクシュアルヘルスの視点からも重要であると捉える必要がある。違法・脱法薬物に関しては大阪より札幌の経験割合が高く、これも昨年度から継続して認められた傾向である。背景についての解明、介入が急務である。

研究2では、わが国における初の試みとしてク

ラブコミュニティを巻き込んだ同時多発的 HIV/STI 予防啓発キャンペーンを実施した。昨年度実施したクラブでの動画による個別的介入では前後比較試験により効果は確認できたものの、介入数を伸ばすことに時間がかかり、ヘッドホンを使用しても音声聞き取れないなどの方法的限界があった。そこで、より広範囲に介入でき、クラブなど若者の娯楽空間にもなじみ、楽しく印象に残る形で HIV/STI 予防意識やコンドームへの親近感を向上させるという狙いを基に本年度のキャンペーンを実施した。全体の参加者数や反応評定から、これらの狙いは概ね達成できたと考えられた。調査員に話しかけてくる対象者も一定数みられ、参加者からは、「HIV のことに興味を持った」「若者への啓発はすごく大切だと思う」といった声も寄せられた。コンドーム風船ゲームよりバナナゲームのほう反応評定値が肯定的であったことから、バナナゲームの方がより有効と考えられた。

キャンペーン中に店舗内で繰り返し提示した動画（HIV/STI の知識や性規範意識を向上させるメッセージで構成）については、今回具体的な効果評価を行うことはできなかったが、横断調査（研究1）と同じクイズ項目で比較すると、クイズ参加者の正答率が横断調査の正答率よりも高かったことから、動画を目にしたことで知識が高まった可能性が考えられる。

E. 結論

本研究では、性的に活発な若者の性行動の実態、HIV/STI や検査に関する知識の実態等について、基礎的データを得ることができた。大阪、札幌の同じ店舗において、2年連続で横断調査を実施し、データをより確かなものにすることができたと考えられる。その結果、特に女性や若者に対する知識の普及や性的健康への意識を高めていく必要性が確認された。

また、昨年度実施した繁華街の若者を対象とした HIV/STI 予防啓発介入を改良し、ラブコミュニティを巻き込んだ新たな予防啓発介入（キャンペーン）を開発、実施した。これにより、個人レベルを超え集団レベルでセーフセックスへ

の意識や行動を促進することができた。しかし、今回は2回の介入のみであったことから、介入が届いていない層も多くいること、時間の経過に伴って予防意識が薄れることが考えられ、今後も繰り返し同様のキャンペーンを実施し、啓発メッセージを送り続けることで、若者のHIV/STI予防への意識、性の安全への意識を定着させていくことが必要である。

F. 研究発表

(和文)

1. 松高由佳・大塚泰正・飯田順子・藤 桂・津野香奈美 他：性的マイノリティへの適切な対応を促進する研修プログラムの留意点－産業保健スタッフ対象の研修に関する検討－ 総合保健科学, 36, 2020, 印刷中.

(口頭発表)

1. Tomomi Goda, Yuka Matsutaka, Yasuharu Hikada: Reasons for condom use or nonuse among individuals undergoing sexually transmitted infection examination in Japan. The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science. 2020, Osaka, Japan
2. 大塚泰正・松高由佳・津野香奈美・藤 桂・堀口康太他：セクシュアル・マイノリティへの理解と支援を促進させるための研修プログラムのパイロットスタディ, 第26回日本産業精神保健学会, 2019年, 東京.
3. 津野香奈美・大塚泰正・藤 桂・松高由佳・飯田順子他：LGBT等の性的マイノリティ労働者における暴力の経験と精神的健康状態, 第26回日本行動医学会学術総会, 2019年, 東京

G. 引用

なし

表1.【横断調査】回答者の属性(年齢階級)・地域男女別

	10代		20代		30代		40代以上		全体		p
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■年齢階級											
【札幌】											
男性	27	(12.4%)	177	(81.6%)	9	(4.1%)	4	(1.8%)	217	(100.0%)	n. s.
女性	28	(17.5%)	120	(75.0%)	6	(3.8%)	6	(3.8%)	160	(100.0%)	
合計	55	(14.6%)	297	(78.8%)	15	(4.0%)	10	(2.7%)	377	(100.0%)	
【大阪】											
男性	35	(17.4%)	163	(81.1%)	1	(0.5%)	2	(1.0%)	201	(100.0%)	n. s.
女性	22	(13.5%)	137	(84.0%)	4	(2.5%)	0	(0.0%)	163	(100.0%)	
合計	57	(15.7%)	300	(82.4%)	5	(1.4%)	2	(0.5%)	364	(100.0%)	
【全体】											
男性	62	(14.8%)	340	(81.3%)	10	(2.4%)	6	(1.4%)	418	(100.0%)	n. s.
女性	50	(15.5%)	257	(79.6%)	10	(3.1%)	6	(1.9%)	323	(100.0%)	
合計	112	(15.1%)	597	(80.6%)	20	(2.7%)	12	(1.6%)	741	(100.0%)	

表2. 回答者の属性(恋愛対象、職業、学歴、クラブ利用目的) 地域・男女別

■恋愛対象の性別

	札幌			大阪			全体		
	男性(n=217)	女性(n=160)	p	男性(n=201)	女性(n=163)	p	男性(n=418)	女性(n=323)	p
男性	10 (4.6%)	144 (90.0%)	0.000	9 (4.5%)	136 (83.4%)	0.000	19 (4.5%)	280 (86.7%)	0.000
女性	204 (94.0%)	10 (6.3%)		190 (94.5%)	13 (8.0%)		394 (94.3%)	23 (7.1%)	
男女両方	2 (0.9%)	4 (2.5%)		0 (0.0%)	9 (5.5%)		2 (0.5%)	13 (4.0%)	
どの性別に対しても感じない	0 (0.0%)	1 (0.6%)		0 (0.0%)	5 (3.1%)		0 (0.0%)	6 (1.9%)	
その他	1 (0.5%)	1 (0.6%)		1 (0.5%)	0 (0.0%)		2 (0.5%)	1 (0.3%)	
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)		1 (0.5%)	0 (0.0%)		1 (0.2%)	0 (0.0%)	

■最終学歴

中学卒業	2 (0.9%)	2 (1.3%)	0.000	2 (1.0%)	4 (2.5%)	0.000	4 (1.0%)	6 (1.9%)	0.000
高校在学中・卒業	37 (17.1%)	21 (13.1%)		29 (14.4%)	27 (16.6%)		66 (15.8%)	48 (14.9%)	
専門学校在学中・卒業	16 (7.4%)	38 (23.8%)		7 (3.5%)	16 (9.8%)		23 (5.5%)	54 (16.7%)	
高専在学中・卒業	5 (2.3%)	5 (3.1%)		5 (2.5%)	7 (4.3%)		10 (2.4%)	12 (3.7%)	
短大在学中・卒業	3 (1.4%)	19 (11.9%)		1 (0.5%)	12 (7.4%)		4 (1.0%)	31 (9.6%)	
大学在学中・卒業	64 (29.5%)	21 (13.1%)		65 (32.3%)	29 (17.8%)		129 (30.9%)	50 (15.5%)	
大学院在学中・卒業	10 (4.6%)	5 (3.1%)		5 (2.5%)	1 (0.6%)		15 (3.6%)	6 (1.9%)	
その他	2 (0.9%)	4 (2.5%)		3 (1.5%)	1 (0.6%)		5 (1.2%)	5 (1.5%)	
無回答	78 (35.9%)	45 (28.1%)		84 (41.8%)	66 (40.5%)		162 (38.8%)	111 (34.4%)	

■職業

学生	87 (40.1%)	50 (31.3%)	n. s.	91 (45.3%)	55 (33.7%)	0.007	178 (42.6%)	105 (32.5%)	0.000
パート・アルバイト	6 (2.8%)	12 (7.5%)		10 (5.0%)	27 (16.6%)		16 (3.8%)	39 (12.1%)	
常勤(正規雇用)	88 (40.6%)	70 (43.8%)		56 (27.9%)	57 (35.0%)		144 (34.4%)	127 (39.3%)	
常勤(非正規雇用)	5 (2.3%)	5 (3.1%)		5 (2.5%)	2 (1.2%)		10 (2.4%)	7 (2.2%)	
自営業	12 (5.5%)	4 (2.5%)		7 (3.5%)	2 (1.2%)		19 (4.5%)	6 (1.9%)	
主婦・主夫	2 (0.9%)	0 (0.0%)		1 (0.5%)	1 (0.6%)		3 (0.7%)	1 (0.3%)	
無職	3 (1.4%)	3 (1.9%)		4 (2.0%)	2 (1.2%)		7 (1.7%)	5 (1.5%)	
その他	14 (6.5%)	15 (9.4%)		25 (12.4%)	14 (8.6%)		39 (9.3%)	29 (9.0%)	
無回答	0 (0.0%)	1 (0.6%)		2 (1.0%)	3 (1.8%)		2 (0.5%)	4 (1.2%)	

表2つづき. 回答者の属性（恋愛対象、職業、学歴、クラブ利用目的）（地域・性別）

■クラブ利用目的（複数回答）

	男性 n=217	女性 n=160	全体 n=377	p
札幌				
音楽を楽しむため	148 (68.2%)	122 (76.3%)	270 (71.6%)	n. s
ダンスを楽しむため	81 (37.3%)	63 (39.4%)	144 (38.2%)	n. s
友達や仲間と会うため	68 (31.3%)	58 (36.3%)	126 (33.4%)	n. s
ナンパするため	57 (26.3%)	0 (0.0%)	57 (15.1%)	0.000
ナンパされるため	13 (6.0%)	6 (3.8%)	19 (5.0%)	n. s
お酒を楽しみたいから	48 (22.1%)	44 (27.5%)	92 (24.4%)	n. s
ストレス解消のため	56 (25.8%)	41 (25.6%)	97 (25.7%)	n. s
人恋しいから	22 (10.1%)	6 (3.8%)	28 (7.4%)	0.019
その他	9 (4.1%)	6 (3.8%)	15 (4.0%)	n. s
大阪				
音楽を楽しむため	129 (64.2%)	130 (79.8%)	259 (71.2%)	0.003
ダンスを楽しむため	59 (29.4%)	67 (41.1%)	126 (34.6%)	n. s
友達や仲間と会うため	41 (20.4%)	39 (23.9%)	80 (22.0%)	n. s
ナンパするため	54 (26.9%)	1 (0.6%)	55 (15.1%)	0.000
ナンパされるため	4 (2.0%)	3 (1.8%)	7 (1.9%)	n. s
お酒を楽しみたいから	29 (14.4%)	51 (31.3%)	80 (22.0%)	0.000
ストレス解消のため	30 (14.9%)	47 (28.8%)	77 (21.2%)	0.003
人恋しいから	13 (6.5%)	8 (4.9%)	21 (5.8%)	n. s
その他	8 (4.0%)	7 (4.3%)	15 (4.1%)	n. s
全体				
音楽を楽しむため	277 (66.3%)	252 (78.0%)	529 (71.4%)	0.001
ダンスを楽しむため	140 (33.5%)	130 (40.2%)	270 (36.4%)	n. s
友達や仲間と会うため	109 (26.1%)	97 (30.0%)	206 (27.8%)	n. s
ナンパするため	111 (26.6%)	1 (0.3%)	112 (15.1%)	0.000
ナンパされるため	17 (4.1%)	9 (2.8%)	26 (3.5%)	n. s
お酒を楽しみたいから	77 (18.4%)	95 (29.4%)	172 (23.2%)	0.001
ストレス解消のため	86 (20.6%)	88 (27.2%)	174 (23.5%)	n. s
人恋しいから	35 (8.4%)	14 (4.3%)	49 (6.6%)	0.040
その他	17 (4.1%)	13 (4.0%)	30 (4.0%)	n. s

表3. HIV/STIの知識正答率（地域・性別）

	男性	女性	全体	p
■性感染症にかかっているとHIV（エイズ）に感染しやすい（正答：「そう思う」）				
札幌	76 (35.0%)	49 (30.6%)	125 (33.2%)	n. s
大阪	62 (30.8%)	41 (25.2%)	103 (28.3%)	n. s
全体	138 (33.0%)	90 (27.9%)	228 (30.8%)	n. s
■性感染症に感染しても症状が出ないことがある（正答：「そう思う」）				
札幌	94 (43.3%)	59 (36.9%)	153 (40.6%)	n. s
大阪	64 (31.8%)	44 (27.0%)	108 (29.7%)	n. s
全体	158 (37.8%)	103 (31.9%)	261 (35.2%)	n. s
■その日のうちに結果がわかるHIV（エイズ）検査がある（正答：「そう思う」）				
札幌	58 (26.7%)	39 (24.4%)	97 (25.7%)	0.044
大阪	51 (25.4%)	23 (14.1%)	74 (20.3%)	0.008
全体	109 (26.1%)	62 (19.2%)	171 (23.1%)	0.027
■HIV（エイズ）にかかると、すぐ死ぬんじゃないかと思う（正答：「そう思わない」）				
札幌	133 (61.3%)	85 (53.1%)	218 (57.8%)	n. s
大阪	83 (41.3%)	67 (41.1%)	150 (41.2%)	n. s
全体	216 (51.7%)	152 (47.1%)	368 (49.7%)	n. s
■HIV（エイズ）の検査では、内診（婦人科や産婦人科での膣の診察）がある（正答：「そう思わない」）				
札幌		20 (12.5%)		
大阪		24 (14.7%)		
全体		44 (13.6%)		
■HIV（エイズ）の検査では、ペニスの診察がある（正答：「そう思わない」）				
札幌	51 (23.5%)			
大阪	41 (20.4%)			
全体	92 (22.0%)			

※札幌:n=377(男性n=217, 女性n=160), 大阪:n=364(男性n=201, 女性n=163), 全体:n=741(男性n=418, 女性n=323)

表4. HIV抗体検査受検経験（生涯）（地域・性別）

		男性	女性	全体	p
■これまでにHIV検査を受けたことがありますか					
		n=217	n=160	n=377	
札幌	ある	14 (6.5%)	11 (6.9%)	25 (6.6%)	n. s.
	ない	203 (93.5%)	149 (93.1%)	352 (93.4%)	
		n=201	n=163	n=364	
大阪	ある	8 (4.0%)	15 (9.2%)	23 (6.3%)	0.042
	ない	193 (96.0%)	148 (90.8%)	341 (93.7%)	
		n=418	n=323	n=741	
全体	ある	22 (5.3%)	26 (8.0%)	48 (6.5%)	n. s.
	ない	396 (94.7%)	297 (92.0%)	693 (93.5%)	

■受検場所（複数回答）

※これまでにHIV抗体検査を受けたことのある者を分母とする。

		男性	女性	全体	p
		n=14	n=11	n=25	
札幌	保健所・保健センター	8 (57.1%)	6 (54.5%)	14 (56.0%)	n. s.
	病院・診療所・クリニック	5 (35.7%)	5 (45.5%)	10 (40.0%)	n. s.
	郵送検査	2 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (8.0%)	n. s.
	その他	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (4.0%)	n. s.
		n=8	n=15	n=23	
大阪	保健所・保健センター	3 (37.5%)	4 (26.7%)	7 (30.4%)	n. s.
	病院・診療所・クリニック	1 (12.5%)	12 (80.0%)	13 (56.5%)	0.002
	郵送検査	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	n. s.
	その他	4 (50.0%)	0 (0.0%)	4 (17.4%)	0.008
		n=22	n=26	n=48	
全体	保健所・保健センター	11 (50.0%)	10 (38.5%)	21 (43.8%)	n. s.
	病院・診療所・クリニック	6 (27.3%)	17 (65.4%)	23 (47.9%)	0.008
	郵送検査	2 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (4.2%)	n. s.
	その他	4 (18.2%)	1 (3.8%)	5 (10.4%)	n. s.

表5-1. 性交経験有無・相手性別（地域・性別）

		男性	女性	全体	p
■過去6か月間にセックスしましたか					
		n=217	n=160	n=377	
札幌	した	161 (74.2%)	111 (69.4%)	272 (72.1%)	n. s.
	していない	56 (25.8%)	49 (30.6%)	105 (27.9%)	
		n=201	n=163	n=364	
大阪	した	147 (73.1%)	112 (68.7%)	259 (71.2%)	n. s.
	していない	54 (26.9%)	51 (31.3%)	105 (28.8%)	
		n=418	n=323	n=741	
全体	した	308 (73.7%)	223 (69.0%)	531 (71.7%)	n. s.
	していない	110 (26.3%)	100 (31.0%)	210 (28.3%)	

■過去6か月間のセックス相手の性別

※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする

		男性	女性	全体	p
		n=161	n=111	n=272	
札幌	男性	7 (4.3%)	108 (97.3%)	115 (42.3%)	0.000
	女性	152 (94.4%)	2 (1.8%)	154 (56.6%)	
	男女両方	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.4%)	
	その他	2 (1.2%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	
		n=147	n=112	n=259	
大阪	男性	5 (3.4%)	109 (97.3%)	114 (44.0%)	0.000
	女性	141 (95.9%)	2 (1.8%)	143 (55.2%)	
	男女両方	1 (0.7%)	1 (0.9%)	2 (0.8%)	
	その他	147 (100.0%)	112 (100.0%)	259 (100.0%)	
		n=308	n=223	n=531	
全体	男性	12 (3.9%)	217 (97.3%)	229 (43.1%)	0.000
	女性	293 (95.1%)	4 (1.8%)	297 (55.9%)	
	男女両方	0 (0.0%)	1 (0.4%)	1 (0.2%)	
	その他	3 (1.0%)	1 (0.4%)	4 (0.8%)	

表5-2. 性交経験 相手人数・種別・国籍（地域・性別）

		男 性	女 性	全 体	p
■過去6か月間のセックス相手人数					
※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする					
		n=161	n=111	n=272	
札幌	1人	55 (34.2%)	47 (42.3%)	102 (37.5%)	n. s
	2人～3人	54 (33.5%)	39 (35.1%)	93 (34.2%)	
	4人～9人	25 (15.5%)	15 (13.5%)	40 (14.7%)	
	10人以上	20 (12.4%)	5 (4.5%)	25 (9.2%)	
	答えたくない	7 (4.3%)	5 (4.5%)	12 (4.4%)	
		n=147	n=112	n=259	
大阪	1人	53 (36.1%)	48 (42.9%)	101 (39.0%)	n. s
	2人～3人	53 (36.1%)	35 (31.3%)	88 (34.0%)	
	4人～9人	21 (14.3%)	18 (16.1%)	39 (15.1%)	
	10人以上	17 (11.6%)	6 (5.4%)	23 (8.9%)	
	答えたくない	3 (2.0%)	5 (4.5%)	8 (3.1%)	
		n=308	n=223	n=531	
全体	1人	108 (35.1%)	95 (42.6%)	203 (38.2%)	0.046
	2人～3人	107 (34.7%)	74 (33.2%)	181 (34.1%)	
	4人～9人	46 (14.9%)	33 (14.8%)	79 (14.9%)	
	10人以上	37 (12.0%)	11 (4.9%)	48 (9.0%)	
	答えたくない	10 (3.2%)	10 (4.5%)	20 (3.8%)	

■過去6か月間のセックス相手の国籍（複数回答）

※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする

		男 性	女 性	全 体	p
		n=161	n=111	n=272	
札幌	日本人	154 (95.7%)	109 (98.2%)	263 (96.7%)	n. s
	その他	8 (5.0%)	7 (6.3%)	15 (5.5%)	n. s
		n=147	n=112	n=259	
大阪	日本人	142 (96.6%)	107 (95.5%)	249 (96.1%)	n. s
	その他	5 (3.4%)	4 (3.6%)	9 (3.5%)	n. s
		n=308	n=223	n=531	
全体	日本人	296 (96.1%)	216 (96.9%)	512 (96.4%)	n. s
	その他	13 (4.2%)	11 (4.9%)	24 (4.5%)	n. s

■過去6か月間にセックスした相手の種別（複数回答）

※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする

		男 性	女 性	全 体	p
		n=161	n=111	n=272	
札幌	恋人や配偶者など特定の相手と	91 (56.5%)	64 (57.7%)	155 (57.0%)	n. s
	友達やセフレと	77 (47.8%)	48 (43.2%)	125 (46.0%)	n. s
	お金を払った相手と	8 (5.0%)	0 (0.0%)	8 (2.9%)	0.023
	お金をくれた相手と	2 (1.2%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	n. s
	SNSや出会い系アプリで知り合った相手と	6 (3.7%)	5 (4.5%)	11 (4.0%)	n. s
	街やクラブでナンパした（された）相手と	19 (11.8%)	14 (12.6%)	33 (12.1%)	n. s
	その他	7 (4.3%)	5 (4.5%)	12 (4.4%)	0.065
			n=147	n=112	n=259
大阪	恋人や配偶者など特定の相手と	79 (53.7%)	71 (63.4%)	150 (57.9%)	n. s
	友達やセフレと	68 (46.3%)	51 (45.5%)	119 (45.9%)	n. s
	お金を払った相手と	10 (6.8%)	0 (0.0%)	10 (3.9%)	0.013
	お金をくれた相手と	0 (0.0%)	2 (1.8%)	2 (0.8%)	n. s
	SNSや出会い系アプリで知り合った相手と	6 (4.1%)	3 (2.7%)	9 (3.5%)	n. s
	街やクラブでナンパした（された）相手と	11 (7.5%)	9 (8.0%)	20 (7.7%)	n. s
	その他	4 (2.7%)	5 (4.5%)	9 (3.5%)	n. s
			n=308	n=223	n=531
全体	恋人や配偶者など特定の相手と	170 (55.2%)	135 (60.5%)	305 (57.4%)	n. s
	友達やセフレと	145 (47.1%)	99 (44.4%)	244 (46.0%)	n. s
	お金を払った相手と	18 (5.8%)	0 (0.0%)	18 (3.4%)	0.001
	お金をくれた相手と	2 (0.6%)	2 (0.9%)	4 (0.8%)	n. s
	SNSや出会い系アプリで知り合った相手と	12 (3.9%)	8 (3.6%)	20 (3.8%)	n. s
	街やクラブでナンパした（された）相手と	30 (9.7%)	23 (10.3%)	53 (10.0%)	n. s
	その他	11 (3.6%)	10 (4.5%)	21 (4.0%)	n. s

表5-3. 性行為の種類とコンドーム使用状況（地域・性別）

		男性	女性	全体	p
■過去6か月間に経験した性行為（複数回答）					
※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする					
札幌		n=161	n=111	n=272	
	膣性交	152 (94.4%)	97 (87.4%)	249 (91.5%)	0.041
	アナルセックス（挿入側）	8 (5.0%)	—	—	—
	アナルセックス（被挿入側）	3 (1.9%)	10 (9.0%)	13 (4.8%)	0.009
	その他	6 (3.7%)	13 (11.7%)	19 (7.0%)	0.011
大阪		n=147	n=112	n=259	
	膣性交	127 (86.4%)	94 (83.9%)	221 (85.3%)	n. s.
	アナルセックス（挿入側）	10 (6.8%)	—	—	—
	アナルセックス（被挿入側）	2 (1.4%)	13 (11.6%)	15 (5.8%)	0.001
	その他	13 (8.8%)	12 (10.7%)	25 (9.7%)	n. s.
全体		n=308	n=223	n=531	
	膣性交	279 (90.6%)	191 (85.7%)	470 (88.5%)	n. s.
	アナルセックス（挿入側）	18 (5.8%)	—	—	—
	アナルセックス（被挿入側）	5 (1.6%)	23 (10.3%)	28 (5.3%)	0.000
	その他	19 (6.2%)	25 (11.2%)	44 (8.3%)	0.038
■過去6か月間に経験した性行為とコンドーム使用状況					
※過去6か月間にそれぞれの行為があった者を分母とする					
◇膣性交					
札幌		n=152	n=97	n=249	
	必ず使用した	68 (44.7%)	29 (29.9%)	97 (39.0%)	n. s.
	使用多かった	21 (13.8%)	19 (19.6%)	40 (16.1%)	
	五分五分	19 (12.5%)	14 (14.4%)	33 (13.3%)	
	不使用多かった	17 (11.2%)	17 (17.5%)	34 (13.7%)	
	不使用	22 (14.5%)	17 (17.5%)	39 (15.7%)	
	無回答	5 (3.3%)	1 (1.0%)	6 (2.4%)	
大阪		n=127	n=94	n=221	
	必ず使用した	64 (50.4%)	38 (40.4%)	102 (46.2%)	n. s.
	使用多かった	32 (25.2%)	24 (25.5%)	56 (25.3%)	
	五分五分	14 (11.0%)	10 (10.6%)	24 (10.9%)	
	不使用多かった	4 (3.1%)	9 (9.6%)	13 (5.9%)	
	不使用	11 (8.7%)	10 (10.6%)	21 (9.5%)	
	無回答	2 (1.6%)	3 (3.2%)	5 (2.3%)	
全体		n=279	n=191	n=470	
	必ず使用した	132 (47.3%)	67 (35.1%)	199 (42.3%)	n. s.
	使用多かった	53 (19.0%)	43 (22.5%)	96 (20.4%)	
	五分五分	33 (11.8%)	24 (12.6%)	57 (12.1%)	
	不使用多かった	21 (7.5%)	26 (13.6%)	47 (10.0%)	
	不使用	33 (11.8%)	27 (14.1%)	60 (12.8%)	
	無回答	7 (2.5%)	4 (2.1%)	11 (2.3%)	
◇アナルセックス（挿入側）					
札幌		n=8			
	必ず使用した	4 (50.0%)			—
	使用多かった	0 (0.0%)			
	五分五分	0 (0.0%)			
	不使用多かった	4 (50.0%)			
	不使用	0 (0.0%)			
	無回答	0 (0.0%)			
大阪		n=10			
	必ず使用した	6 (60.0%)			—
	使用多かった	0 (0.0%)			
	五分五分	3 (30.0%)			
	不使用多かった	0 (0.0%)			
	不使用	0 (0.0%)			
	無回答	1 (10.0%)			
全体		n=18			
	必ず使用した	10 (55.6%)			—
	使用多かった	0 (0.0%)			
	五分五分	3 (16.7%)			
	不使用多かった	4 (22.2%)			
	不使用	0 (0.0%)			
	無回答	1 (5.6%)			

表5-3つづき. 性行為の種別とコンドーム使用状況 (地域・性別)

		男性	女性	全体	p
◇アナルセックス (被挿入側)		n=3	n=10	n=13	
札幌	必ず使用した	0 (0.0%)	1 (10.0%)	1 (7.7%)	n. s.
	使用多かった	0 (0.0%)	2 (20.0%)	2 (15.4%)	
	五分五分	0 (0.0%)	4 (40.0%)	4 (30.8%)	
	不使用多かった	2 (66.7%)	1 (10.0%)	3 (23.1%)	
	不使用	1 (33.3%)	2 (20.0%)	3 (23.1%)	
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
大阪	必ず使用した	0 (0.0%)	4 (30.8%)	4 (26.7%)	n. s.
	使用多かった	1 (50.0%)	2 (15.4%)	3 (20.0%)	
	五分五分	1 (50.0%)	2 (15.4%)	3 (20.0%)	
	不使用多かった	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (6.7%)	
	不使用	0 (0.0%)	3 (23.1%)	3 (20.0%)	
	無回答	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (6.7%)	
全体	必ず使用した	0 (0.0%)	5 (21.7%)	5 (17.9%)	n. s.
	使用多かった	1 (20.0%)	4 (17.4%)	5 (17.9%)	
	五分五分	1 (20.0%)	6 (26.1%)	7 (25.0%)	
	不使用多かった	2 (40.0%)	2 (8.7%)	4 (14.3%)	
	不使用	1 (20.0%)	5 (21.7%)	6 (21.4%)	
	無回答	0 (0.0%)	1 (4.3%)	1 (3.6%)	

表6. 既往歴 (生涯・複数回答)

		男性	女性	全体	p
		n=217	n=160	n=377	
札幌	梅毒	4 (1.8%)	3 (1.9%)	7 (1.9%)	n. s.
	B型肝炎	6 (2.8%)	0 (0.0%)	6 (1.6%)	n. s.
	クラミジア	19 (8.8%)	12 (7.5%)	31 (8.2%)	n. s.
	淋菌感染症	9 (4.1%)	2 (1.3%)	11 (2.9%)	n. s.
	HIV感染症 (エイズ)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	n. s.
	上記いずれも診断を受けた経験はない	183 (84.3%)	138 (86.3%)	321 (85.1%)	n. s.
大阪	梅毒	11 (5.5%)	10 (6.1%)	21 (5.8%)	n. s.
	B型肝炎	0 (0.0%)	7 (4.3%)	7 (1.9%)	0.009
	クラミジア	9 (4.5%)	19 (11.7%)	28 (7.7%)	0.028
	淋菌感染症	6 (3.0%)	6 (3.7%)	12 (3.3%)	n. s.
	HIV感染症 (エイズ)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	n. s.
	上記いずれも診断を受けた経験はない	177 (88.1%)	135 (82.8%)	312 (85.7%)	n. s.
全体	梅毒	15 (3.6%)	13 (4.0%)	28 (3.8%)	n. s.
	B型肝炎	6 (1.4%)	7 (2.2%)	13 (1.8%)	n. s.
	クラミジア	28 (6.7%)	31 (9.6%)	59 (8.0%)	n. s.
	淋菌感染症	15 (3.6%)	8 (2.5%)	23 (3.1%)	n. s.
	HIV感染症 (エイズ)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	n. s.
	上記いずれも診断を受けた経験はない	360 (86.1%)	273 (84.5%)	633 (85.4%)	n. s.

表7. アルコール・薬物等関連 (生涯) (地域・性別)

		男性	女性	全体	p
		n=217	n=160	n=377	
札幌	浮気した・された	69 (31.8%)	56 (35.0%)	125 (33.2%)	n. s.
	酔いつぶれ (酒で記憶をなくした)	59 (27.2%)	39 (24.4%)	98 (26.0%)	n. s.
	睡眠薬・睡眠導入剤	3 (1.4%)	5 (3.1%)	8 (2.1%)	n. s.
	覚せい剤	4 (1.8%)	0 (0.0%)	4 (1.1%)	n. s.
	大麻	12 (5.5%)	2 (1.3%)	14 (3.7%)	n. s.
	MDMA (エクスタシー)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.3%)	n. s.
	コカイン	2 (0.9%)	1 (0.6%)	3 (0.8%)	n. s.
	危険ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ)	3 (1.4%)	1 (0.6%)	4 (1.1%)	n. s.
	その他の薬物の使用	2 (0.9%)	2 (1.3%)	4 (1.1%)	n. s.
	上記いずれもない	108 (49.8%)	81 (50.6%)	189 (50.1%)	n. s.
大阪	浮気した・された	47 (23.4%)	41 (25.2%)	88 (24.2%)	n. s.
	酔いつぶれ (酒で記憶をなくした)	36 (17.9%)	38 (23.3%)	74 (20.3%)	n. s.
	睡眠薬・睡眠導入剤	6 (3.0%)	5 (3.1%)	11 (3.0%)	n. s.
	覚せい剤	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.3%)	n. s.
	大麻	6 (3.0%)	2 (1.2%)	8 (2.2%)	n. s.
	MDMA (エクスタシー)	2 (1.0%)	1 (0.6%)	3 (0.8%)	n. s.
	コカイン	2 (1.0%)	1 (0.6%)	3 (0.8%)	n. s.
	危険ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ)	2 (1.0%)	1 (0.6%)	3 (0.8%)	n. s.
	その他の薬物の使用	4 (2.0%)	1 (0.6%)	5 (1.4%)	n. s.
	上記いずれもない	127 (63.2%)	101 (62.0%)	228 (62.6%)	n. s.
全体	浮気した・された	116 (27.8%)	97 (30.0%)	213 (28.7%)	n. s.
	酔いつぶれ (酒で記憶をなくした)	95 (22.7%)	77 (23.8%)	172 (23.2%)	n. s.
	睡眠薬・睡眠導入剤	9 (2.2%)	10 (3.1%)	19 (2.6%)	n. s.
	覚せい剤	4 (1.0%)	1 (0.3%)	5 (0.7%)	n. s.
	大麻	18 (4.3%)	4 (1.2%)	22 (3.0%)	0.030
	MDMA (エクスタシー)	2 (0.5%)	2 (0.6%)	4 (0.5%)	n. s.
	コカイン	4 (1.0%)	2 (0.6%)	6 (0.8%)	n. s.
	危険ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ)	5 (1.2%)	2 (0.6%)	7 (0.9%)	n. s.
	その他の薬物の使用	6 (1.4%)	3 (0.9%)	9 (1.2%)	n. s.
	上記いずれもない	235 (56.2%)	182 (56.3%)	417 (56.3%)	n. s.

表8. HIV/STIの知識正答率（年代別）

	10代 (n=112)	20代 (n=597)	30代 (n=20)	40代以上 (n=12)	全体 (n=741)	p
■性感染症にかかっているとHIV（エイズ）に感染しやすい（正答：「そう思う」）	31 (27.7%)	186 (31.2%)	8 (40.0%)	3 (25.0%)	228 (30.8%)	n. s
■性感染症に感染しても症状が出ないことがある（正答：「そう思う」）	33 (29.5%)	210 (35.2%)	10 (50.0%)	8 (66.7%)	261 (35.2%)	0.033
■その日のうちに結果がわかるHIV（エイズ）検査がある（正答：「そう思う」）	26 (23.2%)	137 (22.9%)	4 (20.0%)	4 (33.3%)	171 (23.1%)	n. s
■HIV（エイズ）にかかると、すぐ死ぬんじゃないかと思う（正答：「そう思わない」）	44 (39.3%)	298 (49.9%)	18 (90.0%)	8 (66.7%)	368 (49.7%)	0.000
※下記は女性のための項目	n=50	n=257	n=10	n=6	n=323	
■HIV（エイズ）の検査では、内診（婦人科や産婦人科での膣の診察）がある（正答：「そう思わない」）	3 (6.0%)	32 (12.5%)	5 (50.0%)	4 (66.7%)	44 (13.6%)	0.000
※下記は男性のための項目	n=62	n=340	n=10	n=6	n=418	
■HIV（エイズ）の検査では、ペニスの診察がある（正答：「そう思わない」）	6 (9.7%)	80 (23.5%)	5 (50.0%)	1 (16.7%)	92 (22.0%)	0.014

表9. HIV抗体検査受検経験（生涯）（年代別）

	10代 (n=112)	20代 (n=597)	30代 (n=20)	40代以上 (n=12)	全体 (n=741)	p
■これまでにHIV検査を受けたことがありますか						
ある	5 (4.5%)	36 (6.0%)	4 (20.0%)	3 (25.0%)	48 (6.5%)	0.003
ない	107 (95.5%)	561 (94.0%)	16 (80.0%)	9 (75.0%)	693 (93.5%)	

■受検場所（複数回答）

※これまでにHIV抗体検査を受けたことのある者を分母とする。

	n=5	n=36	n=4	n=3	n=48	
保健所・保健センター	3 (60.0%)	15 (41.7%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	21 (43.8%)	n. s.
病院・診療所・クリニック	2 (40.0%)	19 (52.8%)	1 (25.0%)	1 (33.3%)	23 (47.9%)	n. s.
郵送検査	0 (0.0%)	2 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.2%)	n. s.
その他	0 (0.0%)	3 (8.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	5 (10.4%)	0.010

表10-1. 性交経験有無・人数（年代別）

	10代 (n=112)	20代 (n=597)	30代 (n=20)	40代以上 (n=12)	全体 (n=741)	p
■過去6か月間にセックスあり	66 (58.9%)	440 (73.7%)	16 (80.0%)	9 (75.0%)	531 (71.7%)	0.012

	10代 (n=66)	20代 (n=440)	30代 (n=16)	40代以上 (n=9)	全体 (n=531)	
■過去6か月間のセックス相手人数 ※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする						
1人	28 (42.4%)	164 (37.3%)	5 (31.3%)	6 (66.7%)	203 (38.2%)	n. s.
2人～3人	19 (28.8%)	155 (35.2%)	6 (37.5%)	1 (11.1%)	181 (34.1%)	
4人～9人	6 (9.1%)	67 (15.2%)	5 (31.3%)	1 (11.1%)	79 (14.9%)	
10人以上	8 (12.1%)	39 (8.9%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	48 (9.0%)	
答えたくない	5 (7.6%)	15 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (3.8%)	

表10-2. 性交相手種別・国籍，行為，コンドーム使用状況（年代別）

■過去6か月間にセックスした相手の種別（複数回答）

※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする

	10代 (n=66)	20代 (n=440)	30代 (n=16)	40代以上 (n=9)	全体 (n=531)	p
恋人や配偶者など特定の相手と	39 (59.1%)	249 (56.6%)	9 (56.3%)	8 (88.9%)	305 (57.4%)	n. s.
友達やセフレと	33 (50.0%)	200 (45.5%)	10 (62.5%)	1 (11.1%)	244 (46.0%)	n. s.
お金を払った相手と	3 (4.5%)	13 (3.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	18 (3.4%)	n. s.
お金をくれた相手と	0 (0.0%)	4 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.8%)	n. s.
SNSや出会い系アプリで知り合った相手と	1 (1.5%)	18 (4.1%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	20 (3.8%)	n. s.
街やクラブでナンパした（された）相手と	9 (13.6%)	43 (9.8%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	53 (10.0%)	n. s.
その他	3 (4.5%)	18 (4.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (4.0%)	n. s.

■過去6か月間にセックスした相手の国籍（複数回答）

※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする

日本人	65 (98.5%)	423 (96.1%)	15 (93.8%)	9 (100.0%)	512 (96.4%)	n. s.
その他	2 (3.0%)	20 (4.5%)	1 (6.3%)	1 (11.1%)	24 (4.5%)	n. s.

■過去6か月間に経験した性行為（複数回答）

※過去6か月間にセックスしたことがある者を分母とする

膣性交	59 (89.4%)	390 (88.6%)	13 (81.3%)	8 (88.9%)	470 (88.5%)	n. s.
アナルセックス（挿入側）	0 (0.0%)	16 (3.6%)	1 (6.3%)	1 (11.1%)	18 (3.4%)	n. s.
アナルセックス（被挿入側）	5 (7.6%)	23 (5.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28 (5.3%)	n. s.
その他	5 (7.6%)	35 (8.0%)	3 (18.8%)	1 (11.1%)	44 (8.3%)	n. s.

■膣性交時のコンドーム使用状況

※過去6か月間にそれぞれの行為があった者を分母とする

	n=59	n=390	n=13	n=8	n=470	
必ず使用した	34 (57.6%)	158 (40.5%)	2 (15.4%)	5 (62.5%)	199 (42.3%)	n. s.
使用多かった	6 (10.2%)	87 (22.3%)	2 (15.4%)	1 (12.5%)	96 (20.4%)	
五分五分	7 (11.9%)	48 (12.3%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	57 (12.1%)	
不使用多かった	4 (6.8%)	39 (10.0%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	47 (10.0%)	
不使用	7 (11.9%)	48 (12.3%)	3 (23.1%)	2 (25.0%)	60 (12.8%)	
無回答	1 (1.7%)	10 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (2.3%)	

■アナルセックス時（挿入する側）のコンドーム使用状況

※過去6か月間にそれぞれの行為があった者を分母とする

	n=0	n=16	n=1	n=1	n=18	
必ず使用した	—	9 (56.3%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	10 (55.6%)	n. s.
使用多かった	—	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
五分五分	—	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	
不使用多かった	—	3 (18.8%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (22.2%)	
不使用	—	3 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	4 (11.1%)	
無回答	—	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	

■アナルセックス時（挿入される側）のコンドーム使用状況

※過去6か月間にそれぞれの行為があった者を分母とする

	n=5	n=23	n=0	n=0	n=28	
必ず使用した	0 (0.0%)	5 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (17.9%)	n. s.
使用多かった	0 (0.0%)	5 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (17.9%)	
五分五分	1 (20.0%)	6 (26.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (25.0%)	
不使用多かった	2 (40.0%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (14.3%)	
不使用	2 (40.0%)	4 (17.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (21.4%)	
無回答	0 (0.0%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	

表11. 既往歴（年代別）

	10代 (n=112)	20代 (n=597)	30代 (n=20)	40代以上 (n=12)	全体 (n=741)	p
梅毒	1 (0.9%)	26 (4.4%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	28 (3.8%)	n. s
B型肝炎	0 (0.0%)	13 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (1.8%)	n. s
クラミジア	5 (4.5%)	49 (8.2%)	3 (15.0%)	2 (16.7%)	59 (8.0%)	n. s
淋菌感染症	2 (1.8%)	18 (3.0%)	1 (5.0%)	2 (16.7%)	23 (3.1%)	n. s
HIV感染症（エイズ）	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	n. s
上記いずれも診断を受けた経験はない	100 (89.3%)	511 (85.6%)	16 (80.0%)	6 (50.0%)	633 (85.4%)	0.007

表12. アルコール・薬物等関連（年代別）

	10代 (n=112)	20代 (n=597)	30代 (n=20)	40代以上 (n=12)	全体 (n=741)	p
浮気した・された	25 (22.3%)	170 (28.5%)	11 (55.0%)	7 (58.3%)	213 (28.7%)	0.025
酔いつぶれ（酒で記憶をなくした）	19 (17.0%)	142 (23.8%)	7 (35.0%)	4 (33.3%)	172 (23.2%)	n. s
睡眠薬・睡眠導入剤	2 (1.8%)	15 (2.5%)	1 (5.0%)	1 (8.3%)	19 (2.6%)	n. s
覚せい剤	0 (0.0%)	4 (0.7%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	5 (0.7%)	n. s
大麻	3 (2.7%)	17 (2.8%)	1 (5.0%)	1 (8.3%)	22 (3.0%)	n. s
MDMA（エクスタシー）	0 (0.0%)	4 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.5%)	n. s
コカイン	0 (0.0%)	6 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.8%)	n. s
危険ドラッグ（いわゆる脱法ドラッグ）	0 (0.0%)	7 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.9%)	n. s
その他の薬物の使用	1 (0.9%)	8 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (1.2%)	n. s
上記いずれもない	74 (66.1%)	332 (55.6%)	7 (35.0%)	4 (33.3%)	417 (56.3%)	0.005

表13. 【研究2】クイズ正答率

■クイズA	男性(n=94)		女性(n=74)		全体(n=168)		p
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年は、戦後初めて梅毒の年間患者数が6000人を突破した（男性用項目）	53	(56.4%)	—	—	—	—	—
この5年間で、20代女性の梅毒感染者数が急増した（女性用項目）	—	—	31	(41.9%)	—	—	—
エイズにかかるとすぐ死ぬと思う※	58	(61.7%)	39	(52.7%)	97	(57.7%)	n. s.
HIV/エイズの検査ではペニスの診察がある（男性用項目）※	33	(35.1%)	—	—	18	(0.0%)	—
HIV/エイズの検査では内診がある（女性用項目）※	—	—	14	(18.9%)	1	(2.7%)	—
コンドームを持ち歩くには、財布に入れておくのが最も良い	41	(43.6%)	21	(28.4%)	62	(36.9%)	0.042
HIV（エイズ）に感染しても、服薬治療を受けることで安全に妊娠、出産ができる	37	(39.4%)	20	(27.0%)	57	(33.9%)	n. s.
■クイズB	男性(n=136)		女性(n=67)		全体(n=203)		p
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
タダ（無料）でHIV検査を受けられる場所がある	84	(61.8%)	34	(50.7%)	118	(58.1%)	0.032
タダ（無料）で梅毒検査を受けられる場所がある	78	(57.4%)	24	(35.8%)	102	(50.2%)	0.004
性感染症（性病）にかかっても症状が出ないことがある※	76	(55.9%)	34	(50.7%)	110	(54.2%)	n. s.
性感染症（性病）にかかっているとHIVに感染しやすくなる※	77	(56.6%)	26	(38.8%)	103	(50.7%)	0.017
その日のうちに結果がわかるHIV検査がある※	61	(44.9%)	18	(26.9%)	79	(38.9%)	0.013

※は研究1（横断調査）と同じ項目

STI 感染不安のある若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する行動疫学研究

研究分担者：合田 友美 (宝塚大学看護学部 准教授)
研究協力者：松高 由佳 (比治山大学現代文化学部 准教授)
田邊 雅章 (大阪府健康医療部保健医療室医療対策課)
新海 のり子 (大阪府健康医療部保健医療室医療対策課)
吉田 英樹 (大阪市保健所)
小向 潤 (大阪市保健所)
櫻井 理恵 (大阪市保健所 感染症対策課)
古林 敬一 (そねざき古林診療所)
研究代表者：日高 庸晴 (宝塚大学看護学部 教授)

研究要旨

エイズ予防啓発のための基礎資料を得ることを目的に、HIV/STI 検査の受検者を対象に質問調査を継続実施するとともに、質問紙調査の結果をふまえた介入動画を作成し、その効果を測定した。

2017 度～2019 年度に実施した西日本の A 府または A 市自治体における HIV/STI 検査受検者 28,586 人を対象とした質問紙調査では、性交相手との出会いの経緯や HIV/STI に関する知識・認知、予防に関する行動と認識等の背景要因を探索した。2019 年度に実施した介入調査では、代表的な性感染症の種類と性感染症の流行の現状、症状、感染予防策（コンドームの使用、受検）、正しい情報へアクセスするためのサイトを紹介した動画を作成し、視聴前後の知識・認知の変化を明らかにするとともに、動画視聴の感想を求めた。調査対象は、C、D クリニックにおける HIV/STI 検査を 2020 年 2 月～3 月に受検した 150 人であった。

質問紙調査より、明らかになった HIV/STI の感染不安を抱く若者男女の特徴は 1)～7) で、これに基づいて作成した介入動画の視聴効果は 8)～11) のとおりである。

- 1) HIV/STI 検査の受検者は、20 代が占める割合が特に高率であった。
- 2) 男女が性交相手と出会う経緯（6 ヶ月以内）で多いものに「インターネット」があり、「クラブ」は 20 代に多く他年代と比べ明らかな差を認めた ($p < 0.01$)。
- 3) 「（過去 6 か月間に）相手からお金をもらってセックスをしたことがある」人は 10 代～30 代の女性に多く、「（過去 6 か月間に）相手へお金を払ってセックスをしたことがある」人は男性に多く年齢が上がるほど高率であった。
- 4) 「毎回コンドームを使用している」人は特に女性において低率で、コンドームを使用しない理由を男女全体で見ると「コンドームを使わない方が一体感がある」が最も多かった ($p < 0.05$)。
- 5) 10 代、20 代において、半数以上の女性が「（過去 6 か月間の）性交相手とのコンドーム使用に関して話題にしている」一方で、約 2 割の女性が「つけて（つけよう）って言えないから仕方ない」と使用をあきらめていた。

- 7) 「(過去6か月間の)コンドーム所持率」をみると「すぐに使えるようにいつも身近に持っていた」人は20代の男性で最も高率で、約4割が常時携帯していた。一方、20代、30代女性の約6割の女性が「持っていなかった」と回答しており、男性に比して女性の所持率は顕著に低かった($p < 0.01$)。
- 8) パラパラ漫画を用いた2分間の介入動画の長さや表示スピードについて、8割以上は「適当」であると回答し、20代、30代男女の5割以上より「親しみやすい」「安心できる」などの感想があった。
- 9) 動画の内容が「役に立った」「まあまあ役に立った」と回答した人は、男性、女性、ゲイ・バイセクシュアル男性の全ての群において8割を超え、30代男性と全年代の女性の5割以上が「役に立った」と答えた。
- 10) 男女共に「予防のために、コンドームの常時所持が必要である」において認識が変化し、特に30代男女において顕著な増加を認めた($p < 0.001$)。
- 11) 「この5年間で、20代の女性の梅毒感染者数が急増した」「セックスの時、コンドームを使うように相手に働きかける(断る)セリフがイメージできる」の2項目は、性別を問わず知識の獲得がすすんだ($p < 0.005$)。

A. 研究目的

わが国では、2015年以降、若者層女性における梅毒の流行が確認されており、HIV/STIの知識の普及および検査受検勧奨の推進が喫緊の課題となっている。このような中、HIV/STIの感染不安のある若者男女の特徴を捉えることは、性感染症の流行拡大防止に大いに寄与できると考えた。そこで、エイズ予防啓発のための基礎資料を得ることを目的に、HIV/STI検査の受検者を対象に質問調査を実施し実態を把握したうえで、質問紙調査の結果をふまえた介入動画を作成し、その効果を測定した。

B. 研究方法

1. 調査時期、対象および調査項目調査方法

調査1:自治体質問紙調査

調査期間は、2017年10月～2019年9月。調査対象は、西日本のA府またはA市自治体におけるHIV/STI検査を受検した28,586人である。調査項目は、属性(年齢、性別、性交経験の有無、HIV/STI検査の受検歴、HIV/STI感染既往の有無)、金銭授受による性交の有無、性交相手と出会った経緯、コンドームの使用状況、コンドームを使わない理由などである。調査は無記名の自記式質問紙調査とした。

調査2:クリニック介入調査

調査期間は、2020年2月～3月。調査対象は、C、DクリニックにおけるHIV/STI検査受検者150人である。過去3年間の研究成果に基づき、代表的な性感染症の種類と性感染症の流行の現状、症状、感染予防策(コンドームの使用、受検)、正しい情報へアクセスするためのサイトを紹介した2分間のパラパラ漫画を用いた動画を作成。対象者自身のスマートフォンを用いて、質問に回答、動画の視聴を求めた。視聴前後には性感染症に関する知識・認識を問い、動画視聴後には動画の感想を問うた。

[動画内容選定の根拠]

10～20代の一般男女のうち、(過去に)HIV/STI検査の受検歴がある人は約半数であった。これより、性感染症の予防のためには、コンドームの使用と、適切な受検を推奨し続ける必要がある。また、「今後、(自分が)HIV以外の性感染症にかかると思う」と回答した非CSWの男女の割合が25.5%に留まっていることを鑑み、性感染症をより身近に感じられるよう啓蒙することが不可欠である。

「いずれかの性感染症に罹患したことがある」と回答した女性が35%を超えていたことや30代女性の4割に「クラミジア」罹患歴があったこと等、具体的なデータを示して、感染リスクの高さをよりリアルに伝え、自覚を促すことが先決である。また、20代女性の「コンドームの所持率」の低さや「(コンドームを)つけて(つけよう)って言

えないから仕方ない」という思いを抱いている女性の存在に注目し、女性がコンドームを持つことやコンドームの使用を提案することへの障壁を取り除くことを目指した啓蒙が必要である。そのため、感染症の動向を正確に伝え、性感染症の予防としてのコンドーム使用を強く認識できるようなメッセージを発信し、(性交相手と)性を話題にすることを後押しできるような内容とした。

[動画の内容]

主な性感染症の種類、梅毒感染者数の急増、性感染症の症状、症状が出にくい性感染症があること、性感染症にかかると HIV に感染しやすくなること、コンドーム使用の重要性を示し、HIV/性感染症検査の受検方法、受検場所についての情報を提供するとともに、パートナーがコンドームを使わない場合の対応についてストーリー性をもたせて紹介する。

2. 分析方法

調査1：自治体質問紙調査

「性交経験のある」者を限定して、自身の性別、性交相手の性別が「無回答」の者、性別で「その他」を選択した者を分析対象から除外。「生涯の性交相手が同性、または同性および異性の男性」を MSM、「生涯の性交相手が同性、または同性および異性の女性」を WSW と操作的に定義して、MSM、WSW、MSM を除く男性 (以下、男性)、WSW を除く女性 (以下、女性) をそれぞれ抽出した。MSM、WSW、男性、女性の 4 群を対象に年代毎の差異を確認し、10 代から 30 代の男女 (男性および女性) を中心にその特徴を検討した。分析には、IBM SPSS ver25.0 (Windows) を用い、 χ^2 検定をおこなった。有意水準は 5%未満とした。

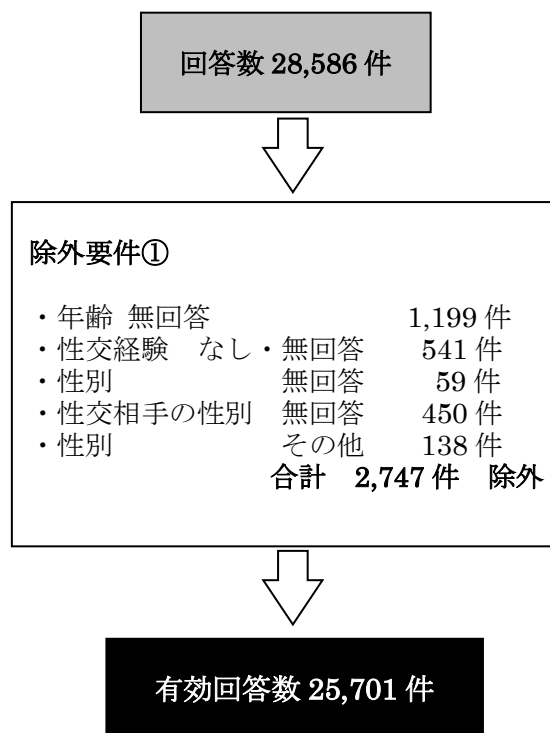


図 1. 自治体質問紙調査における分析対象者抽出の過程

調査2：クリニック介入調査

「性交経験のある者」を限定して、自身の「性別」と「性的指向」から、男性 (自身の性別が男性で、性的指向が異性の男性)、女性 (自身の性別が女性で、性的指向が異性の女性)、ゲイ・バイセクシュアル男性 (前述男性、女性、レズビアン、バイセクシュアル女性、アセクシュアル、X ジェンダー以外) と操作的に定義して 3 群を対象に年代毎の差異を確認した。サンプル数の偏りに配慮しながら、性別 (3 群)、年代毎の動画視聴の感想の特徴をみた。さらに、HIV/STI の症状や治療に関する知識、感染予防行動に関する認識について視聴前後の変化を分析し、介入動画の効果と課題を明らかにした。

分析には、IBM SPSS ver25.0 (Windows) を用い、 χ^2 検定、Mc Nemar 検定をおこなった。有意水準は 5%未満とした。

3. 倫理的配慮

宝塚大学看護学部研究倫理委員会の承認を得て実施した。

C. 研究結果

調査1：自治体質問紙調査

1. 回答者の分布 (表1)

本研究の回収数は 28,586 件で、有効回答数は 25,701 件 (89.9%) であった。回答者の年齢分布をみると、最低年齢 14 歳、最高年齢 87 歳 (平均年齢 35.0 歳) で、内訳は 10 代 2.2%、20 代 38.6%、30 代 27.9%、40 歳以上 31.3% であり、10 代～30 代で全体の約 7 割を占めた。性別では男性 13,283 人 (51.7%) 女性 6,573 人 (25.6%) MSM 5,360 人 (20.9%) WSW 485 人 (1.9%)。女性の受検者の 51.3% を 20 代が占めており、若者女性の受検率の高さが明白となった。一方、男性においても 20 代 (32.4%)、30 代 (28.9%) がそれぞれ約 3 割を占めており、若者男性の受検率が高率であった。

2. 性交相手との出会いの経緯 (表2)

「性交相手との出会いの経緯」は年代により有意な差 ($p < 0.05$) を認め、10 代～30 代男女の「性交相手と出会いの経緯 (6 ヶ月以内)」で最も多いのは「友人・知人の紹介」であり、「インターネット」と続いた。「友人・知人の紹介」で出会う男女の割合は、10 代～20 代において約 3 割であり、40 歳以上が 2 割以下であるのに比して高率であった。他方、10 代の男女の「学校」での出会いは 30.2% と高く、「インターネット」利用 (31.5%) は 40 歳以上 (19.9%) の約 1.5 倍を占めた。なお、MSM の 10～30 代は「インターネット」での出会いが 7 割以上を占め、10 代では 82.8% と著しく高く、特に異なる傾向を示した。さらに、「クラブ」は 20 代男女の約 1 割の出会いの場となっており、他年代と比べ明らかな差を認めた ($p < 0.01$)。そして、WSW では、20 代の約 4 割が「インターネット」を出会いの場としていた。

「(過去 6 か月間に) 相手からお金をもらってセックスをしたことがある」男女は 1,167 人 (5.9%) で、このうち女性は 981 人と 8 割以上を占めた。「(過去 6 か月間に) 相手へお金を払ってセックスをしたことがある」男女は 7,105 人 (35.8%) で、このうち男性が大半を占め、年代が上がるほど有意に高率であった ($p < 0.01$)。そして、男性は「(過去 6 か月間に) 相手からお金を

もらってセックスをしたことがある」186 人に対し、「相手へお金を払ってセックスをしたことがある」7,024 人と圧倒的に多く約 40 倍にのぼった。MSM/WSW では、「相手へお金を払ってセックスをしたことがある」人が 968 人で、「相手からお金をもらってセックスをしたことがある」人 (468 人) の 2 倍を占めた。

3. HIV 検査または HIV 以外の性感染症検査の受検と罹患 (表3, 4)

「いずれかの性感染症に(過去に)罹患したことがある」男女は全年代で 4,335 人 (21.8%) を占め、なかでも女性の罹患率は 29.5% で男性 18.1% に比して高率であった。さらに、女性を年代別にみると 40 歳以上の 32.0% が「罹患経験がある」と回答し最も高率であり、10 代は 20.9% と最も低率であった。

「(過去に) HIV 検査を受検したことがある」男女は全年代で 9,585 人 (48.3%) であり 10 代 85 人 (18.4%)、20 代 2,754 人 (35.9%)、30 代 2,807 人 (51.9%) で年齢を重ねるほど受検経験のある人の割合が高くなる傾向にあった。そして、20 代までは経験者の割合が未経験者の割合を下回っている一方で、40 歳以上は経験者が 6 割を超えており、年齢を重ねるほど再受検率が高くなる傾向にあった ($p < 0.01$)。また、過去の受検時期をみると、「過去 6 ヶ月以内」が有意に高率であり ($p < 0.01$)、中でも 10 代男女の割合が高く、短期間で受検を繰り返す傾向にあることが示唆された。

今回の受検理由として「性風俗店の利用による感染」を心配している男女の割合は、男性 43.1%、女性 6.7%、MSM/WSW 12.6% で男性は有意に高率であった ($p < 0.01$)。

4. 感染予防と背景要因 (表5)

「毎回コンドームをつけている」男性は 28.3%、女性は 20.7%、MSM/WSW は 25.8% で、男性に比べ女性が低率であった。年代別にみると、男性では 10 代 (37.3%) が最も使用率が高く、女性においても同様に 10 代 (25.6%) の使用率が高率であった。

男性がコンドームを使用しない理由で最も多いのは「コンドームを使わない方が一体感がある」(30.8%)で、10~30代に比して40歳以上の選択率が高率 ($p < 0.05$)。次いで「妊娠を希望するから使わない」15.5%、「今まで大丈夫だったから、今回もきっと大丈夫」13.7%と続いた。一方、女性では、「妊娠を希望するから使わない」と回答した人が20.0%で最も多く、30代において27.9%と有意に高率であった ($p < 0.01$)。この他「コンドームを使わない方が一体感がある」17.9%は年代による差はなく、「今まで大丈夫だったから、今回もきっと大丈夫」15.4%は10代が21.5%と特に高かった ($p < 0.01$)。また、10代61.6%、20代60.4%と6割以上の女性が「(過去6か月間の)性交相手とのコンドーム使用に関する話題にしている」一方で、「つけて(つけよう)って言えないから仕方ない」と回答した女性は16.2%で、男性2.1%に比して有意な差があり、使用をうまく提案できずあきらめている若者女性の存在が明らかとなった。一方、「話題にしない」のは男性(53.0%)に多く、女性(33.8%)、MSM/WSW(36.9%)の約1.5倍を占めた。さらに、「過去6か月間において性交相手とHIV/STI感染症の予防について話題にしたか」を問うた結果、「話題にした」と回答した人は男性(20.5%)に比して女性(36.5%)に多く、話題にしない20代男性の割合は7割を超え特に高率であった。

「(過去6か月間の)コンドーム所持率」をみると「すぐに使えるようにいつも身近に持っていた人」の割合が最も高いのは20代男性(37.6%)で、次いで10代男性(34.9%)が高率であった。一方、「持っていなかった人」の割合が最も高いのは、20代女性(57.3%)、30代女性(57.1%)であり、男性に比べ女性の所持率は顕著に低かった ($p < 0.01$)。

調査2：クリニック介入調査

1. 回答者の分布 (表6)

本研究の回収数は150件で、このうち、レズビアン、バイセクシュアル女性、アセクシュアル、Xジェンダーを除く141件を分析対象とした。年齢分布をみると、最低年齢20歳、最高年齢66歳

(平均年齢38.4歳)であり、その内訳は20代34人(24.1%)、30代43人(30.5%)で、40歳以上が64人(45.4%)を占め、20、30代が全体の約半数であった。

性別の内訳は、男性39人(27.7%)、女性78人(55.3%)、ゲイ・バイセクシュアル男性24人(17.0%)で、女性の23.1%を20代、25.6%を30代が占めており、男性においても同様に、20代(23.1%)、30代(30.8%)が全年齢の約半数を占めていた。

職業の内訳として、男性の約7割が会社員で30代では9割を超えるのに比して、女性では性風俗店勤務が7割を超え、20代女性の約4割を学生が占めていた。

2. HIV検査またはHIV以外の性感染症検査の受検と罹患 (表7)

HIV検査の受検歴をみると、男女共に7割を超えており、なかでも30代女性が9割と高率で、男性の1割に罹患歴があった。

他方、HIVを除くSTI検査受検歴は男性76.9%、女性91.0%と女性が高く、男女共に30代が特に高率で男性91.7%、女性100%であった。そこで罹患歴をみると、男女共に「クラミジア」が最も多く、女性の罹患率(81.7%)が突出しており、20代(60.0%)、30代(90.0%)が多数を占めた。また、「梅毒」では男性(10.0%)に対し女性(19.7%)の罹患率が2倍を占めた。

3. 感染予防行動と背景要因 (表8)

(過去6か月の)コンドームの使用状況をみると、男性、女性共に21.1%が「必ず使った」と回答しており、特に女性では年齢による差が大きく、30代(33.3%)では「必ず使った」人の割合が有意に高かった ($p < 0.05$)。これに対し、20代男性の33.3%は「使わないことが多かった」、30代女性の22.2%は「全く使用しなかった」と回答していた。なお、コンドームを使用した目的について「性感染症予防のため」「避妊と感染症予防のため」のいずれかに回答した人は、男女共に8割以上にのぼり、コンドームの使用による感染予防行動は2極化していた。

4. 動画視聴の感想 (表9)

動画の表示速度および長さについて「適当」と回答した人は、男女共に8割を超えた。動画の印象は性別、年代による有意差がなく、男性では20代の55.6%が「安心できる」、30代の58.3%が「親しみやすい」と回答し、20代(55.6%)、30代(41.7%)が「若者向け」と感じていた。一方、女性では20代、30代において6割以上が「親しみやすい」と感じ、30代の45.0%が「安心できる」と回答しており、20代の33.3%が「興味深い」「若者向け」と答えた。また、ゲイ・バイセクシュアル男性では30代において、5割以上が「親しみやすい」「安心できる」「信頼できる」「若者向け」と回答していた。

動画の内容が「役に立った」「まあまあ役に立った」と回答した人は、男性、女性、ゲイ・バイセクシュアル男性の全ての群で8割を超え、30代男性と女性の全年代において5割以上が「役に立った」「まあまあ役に立った」と答えた。また、30代の男性、全年代の女性、10代、40歳以上のゲイ・バイセクシュアル男性において約5割が、動画を「もう一度見たい」と「思う」「多少思う」と回答していた。

5. 動画視聴による認識/知識の変化 (表10)

HIVを含む性感染症の予防についての考えを問うた結果、男女共に「予防のために、コンドームの常時所持が必要である」において、有意に認識が変化した($p < 0.01$)。なかでも、20代男性(33.3%→44.4%)、20代女性(38.9%→50.0%)に対し、30代男性(8.3%→66.7%)、30代女性(40.0%→80.0%)と、30代男女においてコンドームの常時所持の必要性を認識した人が顕著に増加した。

「この5年間で、20代の女性の梅毒感染者数が急増した」「セックスの時、コンドームを使うように相手に働きかける(断る)セリフがイメージできる」の2つの項目は性別を問わず、知識の獲得が有意に進んだ($p < 0.005$)。そして、「性感染症にかかっているとHIVに感染しやすい」「HIVの検査は、採血のみでできる」の2項目は、女性において有意に正答者が増えた($p < 0.05$)。さらに、

「性感染症には、感染すると不妊症になりやすくなるものがある」はゲイ・バイセクシュアル男性のみ「分からない」と回答する人が有意に減少した($p < 0.001$)。

D. 考察

本研究は、HIV/STIの知識の普及および検査受検勧奨の推進を図るため、まず、その実態を探るべくA府またはA市自治体においてHIV/STI検査を受検した人を対象に質問調査を実施した。そして、今年度を含む過去3年間の調査結果より、性感染症の動向を正確に伝え注意喚起し、性感染症の正しい知識と予防としてのコンドーム使用を啓発する必要があると考えた。これまで、わが国のHIV/STI予防として、コンドームを使用しないパートナーへコンドーム使用を提案する際の言葉を紹介するパンフレットは存在する。しかし、ストーリー性のあるパラパラ漫画による動画を活用した性感染症予防の啓発は見当たらず、独自性と新規性がある。また、パラパラ漫画による動画は、言葉で伝えるよりも分かりやすく温かみがある、話題性があるなどの特徴から、若者に馴染みやすいと考え、パラパラ漫画を用いた。この結果、視聴の感想には、20代、30代の半数以上から「親しみやすい」「安心できる」との回答を得た。さらに、男女共に性感染症の動向として「梅毒感染者数の急増」に関する知識の獲得がすすみ、「HIVを含む性感染症の予防のためにはコンドームの常時所持が必要である」という認識の変化を認めた。

ただし、「時間がない」「経済的な負担がある」「診断されるのが怖い」などの受検を妨げる理由は多様であり、これらを和らげることも不可欠である。そのためには、受検方法、治療に関する情報をニーズ毎に提供することが重要であるものの、動画に集中できる時間には限界がある。そこで、今回は動画の最後に『HIV検査・相談マップ』へアクセスできるような工夫を講じた。これによって、それぞれのニーズに合わせてより詳細な情報提供に繋がることを期待したい。

E. 結論

性交相手との出会いの方法は多様化し、新しい出会いの機会を容易に得ることができる仕組みが広がる現代において、健康を守るための規範意識や性感染症に対する感染予防行動を高めるための啓蒙が急がれる。

本研究では「病院（クリニック）」を情報発信の中核とし、パラパラ漫画を用いた動画とインターネットを活用して正しい情報へアクセスする仕組みを構築することができたと考える。

F. 研究発表

学会発表

1. 合田友美, 松高由佳, 萬田和志, 中村圭奈子, 日高庸晴 : HIV/STI 郵送検査を受検する若者男女の性感染症に対する認識と予防行動の特徴 : 第 37 回日本思春期学会総会・学術集会 シンポジウム (2) 「性教育の未来を語る」, 2018, 東京.
2. 合田友美, 日高庸晴 : クリニックで性感染症検査を受検した男女の性感染症に関する認識 - CSW と非 CSW の違いに着目して - : 第 38 回日本思春期学会学術集会, 2019, 東京.
3. Tomomi Goda, Yasuharu Hikada: Reasons for condom use or nonuse among individuals undergoing sexually transmitted infection examination in Japan : The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020, Osaka.

G. 引用

なし

表1. 自治体検査受検者調査 基本属性

	◆年齢階級(度数分布)	◆年代		◆性別(度数分布)	
		n	(%)	n	(%)
有効回答数	25,701	10代	576 (2.2)	男性	13,283 (51.7)
平均値	34.97	20代	9,929 (38.6)	女性	6,573 (25.6)
中央値	32.00	30代	7,164 (27.9)	MSM	5,360 (20.9)
標準偏差	11.745	40歳以上	8,032 (31.3)	WSW	485 (1.9)
最小値	14	全体	25,701 (100.0)	全体	25,701 100.000
最大値	87				

表2. 自治体検査受検者調査 性交経路および金銭授受

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月にどのような経路でセックス相手と知り合いましたか(複数回答)											
①男性	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283		
	学校	56 (33.7)	480 (11.1)	51 (1.3)	15 (0.3)	602 (4.5)	0.000				
	職場	10 (6.0)	509 (11.8)	375 (9.8)	313 (6.3)	1,207 (9.1)	0.000				
	友人・知人の紹介	39 (23.5)	1,245 (28.9)	914 (23.8)	852 (17.1)	3,050 (23.0)	0.000				
	クラブ	13 (7.8)	523 (12.1)	186 (4.8)	243 (4.9)	965 (7.3)	0.000				
	インターネット	43 (25.9)	1,133 (26.3)	814 (21.2)	1,059 (21.3)	3,049 (23.0)	0.000				
	その他	20 (12.0)	781 (18.1)	999 (26.0)	1,380 (27.7)	3,180 (23.9)	0.000				
	過去6か月間はセックスをしていない	8 (4.8)	219 (5.1)	300 (7.8)	487 (9.8)	1,014 (7.6)	0.000				
②女性	n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		
	学校	84 (28.3)	367 (10.9)	23 (1.5)	5 (0.4)	479 (7.3)	0.000				
	職場	49 (16.5)	734 (21.8)	334 (21.2)	303 (22.7)	1,420 (21.6)	0.000				
	友人・知人の紹介	86 (29.0)	1,116 (33.1)	391 (24.9)	229 (17.2)	1,822 (27.7)	0.000				
	クラブ	25 (8.4)	346 (10.3)	42 (2.7)	16 (1.2)	429 (6.5)	0.000				
	インターネット	103 (34.7)	889 (26.4)	376 (23.9)	198 (14.9)	1,566 (23.8)	0.000				
	その他	28 (9.4)	483 (14.3)	325 (20.7)	319 (23.9)	1,155 (17.6)	0.000				
	過去6か月間はセックスをしていない	8 (2.7)	121 (3.6)	102 (6.5)	121 (9.1)	352 (5.4)	0.000				
①+②全体	n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856		
	学校	140 (30.2)	847 (11.0)	74 (1.4)	20 (0.3)	1,081 (5.4)	0.000				
	職場	59 (12.7)	1,243 (16.2)	709 (13.1)	616 (9.8)	2,627 (13.2)	0.000				
	友人・知人の紹介	125 (27.0)	2,361 (30.8)	1,305 (24.1)	1,081 (17.1)	4,872 (24.5)	0.000				
	クラブ	38 (8.2)	869 (11.3)	228 (4.2)	259 (4.1)	1,394 (7.0)	0.000				
	インターネット	146 (31.5)	2,022 (26.3)	1,190 (22.0)	1,257 (19.9)	4,615 (23.2)	0.000				
	その他	48 (10.4)	1,264 (16.5)	1,324 (24.5)	1,699 (26.9)	4,335 (21.8)	0.000				
	過去6か月間はセックスをしていない	16 (3.5)	340 (4.4)	402 (7.4)	608 (9.6)	1,366 (6.9)	0.000				
③MSM	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		
	学校	11 (11.1)	91 (4.4)	8 (0.5)	7 (0.4)	117 (2.2)	0.000				
	職場	6 (6.1)	132 (6.5)	60 (3.7)	39 (2.4)	237 (4.4)	0.000				
	友人・知人の紹介	18 (18.2)	365 (17.8)	225 (14.0)	180 (11.2)	788 (14.7)	0.000				
	クラブ	4 (4.0)	159 (7.8)	102 (6.4)	74 (4.6)	339 (6.3)	0.000				
	インターネット	82 (82.8)	1,549 (75.7)	1,158 (72.2)	1,000 (62.0)	3,789 (70.7)	0.000				
	その他	2 (2.0)	195 (9.5)	237 (14.8)	379 (23.5)	813 (15.2)	0.000				
	過去6か月間はセックスをしていない	1 (1.0)	27 (1.3)	35 (2.2)	47 (2.9)	110 (2.1)	0.000				
④WSW	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		
	学校	4 (28.6)	10 (4.8)	1 (0.7)	2 (1.8)	17 (3.5)	0.000				
	職場	6 (42.9)	51 (24.6)	35 (23.0)	30 (26.8)	122 (25.2)	0.623				
	友人・知人の紹介	5 (35.7)	62 (30.0)	28 (18.4)	19 (17.0)	114 (23.5)	0.067				
	クラブ	1 (7.1)	20 (9.7)	10 (6.6)	5 (4.5)	36 (7.4)	0.678				
	インターネット	3 (21.4)	79 (38.2)	42 (27.6)	18 (16.1)	142 (29.3)	0.004				
	その他	- (0.0)	36 (17.4)	39 (25.7)	38 (33.9)	113 (23.3)	0.008				
	過去6か月間はセックスをしていない	1 (7.1)	8 (3.9)	10 (6.6)	3 (2.7)	22 (4.5)	0.673				
③+④全体	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		
	学校	15 (13.3)	101 (4.5)	9 (0.5)	9 (0.5)	134 (2.3)	0.000				
	職場	12 (10.6)	183 (8.1)	95 (5.4)	69 (4.0)	359 (6.1)	0.000				
	友人・知人の紹介	23 (20.4)	427 (19.0)	253 (14.4)	199 (11.5)	902 (15.4)	0.000				
	クラブ	5 (4.4)	179 (7.9)	112 (6.4)	79 (4.6)	375 (6.4)	0.000				
	インターネット	85 (75.2)	1,628 (72.3)	1,200 (68.3)	1,018 (59.0)	3,931 (67.3)	0.000				
	その他	2 (1.8)	231 (10.3)	276 (15.7)	417 (24.2)	926 (15.8)	0.000				
	過去6か月間はセックスをしていない	2 (1.8)	35 (1.6)	45 (2.6)	50 (2.9)	132 (2.3)	0.001				
①~④全体	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		
	学校	155 (26.9)	948 (9.5)	83 (1.2)	29 (0.4)	1,215 (4.7)	0.000				
	職場	71 (12.3)	1,426 (14.4)	804 (11.2)	685 (8.5)	2,986 (11.6)	0.000				
	友人・知人の紹介	148 (25.7)	2,788 (28.1)	1,558 (21.7)	1,280 (15.9)	5,774 (22.5)	0.000				
	クラブ	43 (7.5)	1,048 (10.6)	340 (4.7)	338 (4.2)	1,769 (6.9)	0.000				
	インターネット	231 (40.1)	3,650 (36.8)	2,390 (33.4)	2,275 (28.3)	8,546 (33.3)	0.000				
	その他	50 (8.7)	1,495 (15.1)	1,600 (22.3)	2,116 (26.3)	5,261 (20.5)	0.000				
	過去6か月間はセックスをしていない	18 (3.1)	375 (3.8)	447 (6.2)	658 (8.2)	1,498 (5.8)	0.000				

表2. 自治体検査受検者調査 性交経験および金銭授受

		10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？												
		n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283		
①男性	ある	61	(36.7)	2,086	(48.4)	2,009	(52.4)	2,868	(57.6)	7,024	(52.9)	0.000
	ない	105	(63.3)	2,192	(50.9)	1,803	(47.0)	2,080	(41.8)	6,180	(46.5)	
	無回答/無効回答	-	(0.0)	28	(0.7)	24	(0.6)	27	(0.5)	79	(0.6)	
		n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		
②女性	ある	-	(0.0)	26	(0.8)	18	(1.1)	37	(2.8)	81	(1.2)	0.000
	ない	293	(98.7)	3,325	(98.6)	1,545	(98.3)	1,265	(94.9)	6,428	(97.8)	
	無回答/無効回答	4	(1.3)	20	(0.6)	9	(0.6)	31	(2.3)	64	(1.0)	
		n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856		
①+② 全体	ある	61	(13.2)	2,112	(27.5)	2,027	(37.5)	2,905	(46.1)	7,105	(35.8)	0.000
	ない	398	(86.0)	5,517	(71.9)	3,348	(61.9)	3,345	(53.0)	12,608	(63.5)	
	無回答/無効回答	4	(0.9)	48	(0.6)	33	(0.6)	58	(0.9)	143	(0.7)	
		n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		
③MSM	ある	7	(7.1)	295	(14.4)	291	(18.1)	340	(21.1)	933	(17.4)	0.000
	ない	91	(91.9)	1,737	(84.9)	1,306	(81.4)	1,269	(78.7)	4,403	(82.1)	
	無回答/無効回答	1	(1.0)	13	(0.6)	7	(0.4)	3	(0.2)	24	(0.4)	
		n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		
④WSW	ある	2	(14.3)	14	(6.8)	8	(5.3)	11	(9.8)	35	(7.2)	0.187
	ない	11	(78.6)	191	(92.3)	143	(94.1)	98	(87.5)	443	(91.3)	
	無回答/無効回答	1	(7.1)	2	(1.0)	1	(0.7)	3	(2.7)	7	(1.4)	
		n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		
③+④ 全体	ある	9	(8.0)	309	(13.7)	299	(17.0)	351	(20.4)	968	(16.6)	0.000
	ない	102	(90.3)	1,928	(85.6)	1,449	(82.5)	1,367	(79.3)	4,846	(82.9)	
	無回答/無効回答	2	(1.8)	15	(0.7)	8	(0.5)	6	(0.3)	31	(0.5)	
		n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		
①~④ 全体	ある	70	(12.2)	2,421	(24.4)	2,326	(32.5)	3,256	(40.5)	8,073	(31.4)	0.000
	ない	500	(86.8)	7,445	(75.0)	4,797	(67.0)	4,712	(58.7)	17,454	(67.9)	
	無回答/無効回答	6	(1.0)	63	(0.6)	41	(0.6)	64	(0.8)	174	(0.7)	
◆過去6か月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？												
		n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283		
①男性	ある	2	(1.2)	63	(1.5)	41	(1.1)	80	(1.6)	186	(1.4)	0.000
	ない	158	(95.2)	4,059	(94.3)	3,565	(92.9)	4,445	(89.3)	12,227	(92.0)	
	無回答/無効回答	6	(3.6)	184	(4.3)	230	(6.0)	450	(9.0)	870	(6.5)	
		n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		
②女性	ある	60	(20.2)	502	(14.9)	176	(11.2)	243	(18.2)	981	(14.9)	0.000
	ない	234	(78.8)	2,828	(83.9)	1,359	(86.5)	1,032	(77.4)	5,453	(83.0)	
	無回答/無効回答	3	(1.0)	41	(1.2)	37	(2.4)	58	(4.4)	139	(2.1)	
		n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856		
①+② 全体	ある	62	(13.4)	565	(7.4)	217	(4.0)	323	(5.1)	1,167	(5.9)	0.000
	ない	392	(84.7)	6,887	(89.7)	4,924	(91.1)	5,477	(86.8)	17,680	(89.0)	
	無回答/無効回答	9	(1.9)	225	(2.9)	267	(4.9)	508	(8.1)	1,009	(5.1)	
		n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		
③MSM	ある	18	(18.2)	209	(10.2)	59	(3.7)	37	(2.3)	323	(6.0)	0.000
	ない	79	(79.8)	1,800	(88.0)	1,507	(94.0)	1,525	(94.6)	4,911	(91.6)	
	無回答/無効回答	2	(2.0)	36	(1.8)	38	(2.4)	50	(3.1)	126	(2.4)	
		n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		
④WSW	ある	7	(50.0)	53	(25.6)	40	(26.3)	45	(40.2)	145	(29.9)	0.011
	ない	7	(50.0)	153	(73.9)	109	(71.7)	63	(56.3)	332	(68.5)	
	無回答/無効回答	-	(0.0)	1	(0.5)	3	(2.0)	4	(3.6)	8	(1.6)	
		n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		
③+④ 全体	ある	25	(22.1)	262	(11.6)	99	(5.6)	82	(4.8)	468	(8.0)	0.000
	ない	86	(76.1)	1,953	(86.7)	1,616	(92.0)	1,588	(92.1)	5,243	(89.7)	
	無回答/無効回答	2	(1.8)	37	(1.6)	41	(2.3)	54	(3.1)	134	(2.3)	
		n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		
①~④ 全体	ある	87	(15.1)	827	(8.3)	316	(4.4)	405	(5.0)	1,635	(6.4)	0.000
	ない	478	(83.0)	8,840	(89.0)	6,540	(91.3)	7,065	(88.0)	22,923	(89.2)	
	無回答/無効回答	11	(1.9)	262	(2.6)	308	(4.3)	562	(7.0)	1,143	(4.4)	

表3. 自治体検査受検者調査 HIV/STI感染既往の有無

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
◆これまでに梅毒・クラミジアなどの性感染症にかかったことはありますか？													
	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283				
①男性	ある	10 (6.0)	579 (13.4)	795 (20.7)	1,014 (20.4)	2,398 (18.1)	0.000	ない	156 (94.0)	3,704 (86.0)	3,026 (78.9)	3,928 (79.0)	10,814 (81.4)
	無回答/無効回答	- (0.0)	23 (0.5)	15 (0.4)	33 (0.7)	71 (0.5)							
	n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573				
②女性	ある	62 (20.9)	968 (28.7)	481 (30.6)	426 (32.0)	1,937 (29.5)	0.003	ない	231 (77.8)	2,387 (70.8)	1,083 (68.9)	898 (67.4)	4,599 (70.0)
	無回答/無効回答	4 (1.3)	16 (0.5)	8 (0.5)	9 (0.7)	37 (0.6)							
	n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856				
①+② 全体	ある	72 (15.6)	1,547 (20.2)	1,276 (23.6)	1,440 (22.8)	4,335 (21.8)	0.000	ない	387 (83.6)	6,091 (79.3)	4,109 (76.0)	4,826 (76.5)	15,413 (77.6)
	無回答/無効回答	4 (0.9)	39 (0.5)	23 (0.4)	42 (0.7)	108 (0.5)							
	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360				
③MSM	ある	4 (4.0)	333 (16.3)	448 (27.9)	566 (35.1)	1,351 (25.2)	0.000	ない	94 (94.9)	1,699 (83.1)	1,147 (71.5)	1,038 (64.4)	3,978 (74.2)
	無回答/無効回答	1 (1.0)	13 (0.6)	9 (0.6)	8 (0.5)	31 (0.6)							
	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485				
④WSW	ある	3 (21.4)	66 (31.9)	66 (43.4)	47 (42.0)	182 (37.5)	0.189	ない	11 (78.6)	140 (67.6)	86 (56.6)	65 (58.0)	302 (62.3)
	無回答/無効回答	- (0.0)	1 (0.5)	- (0.0)	- (0.0)	1 (0.2)							
	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845				
③+④ 全体	ある	7 (6.2)	399 (17.7)	514 (29.3)	613 (35.6)	1,533 (26.2)	0.000	ない	105 (92.9)	1,839 (81.7)	1,233 (70.2)	1,103 (64.0)	4,280 (73.2)
	無回答/無効回答	1 (0.9)	14 (0.6)	9 (0.5)	8 (0.5)	32 (0.5)							
	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701				
①~④ 全体	ある	79 (13.7)	1,946 (19.6)	1,790 (25.0)	2,053 (25.6)	5,868 (22.8)	0.000	ない	492 (85.4)	7,930 (79.9)	5,342 (74.6)	5,929 (73.8)	19,693 (76.6)
	無回答/無効回答	5 (0.9)	53 (0.5)	32 (0.4)	50 (0.6)	140 (0.5)							

表4. 自治体検査受検者調査 HIV/STI検査の受検歴

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
◆今回を除いて、これまでにHIV検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？													
	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283				
①男性	ある	22 (13.3)	1,516 (35.2)	1,947 (50.8)	3,043 (61.2)	6,528 (49.1)	0.000	ない(今回が初めて)	142 (85.5)	2,784 (64.7)	1,882 (49.1)	1,925 (38.7)	6,733 (50.7)
	無回答/無効回答	2 (1.2)	6 (0.1)	7 (0.2)	7 (0.1)	22 (0.2)							
	n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573				
②女性	ある	63 (21.2)	1,238 (36.7)	860 (54.7)	896 (67.2)	3,057 (46.5)	0.000	ない(今回が初めて)	234 (78.8)	2,130 (63.2)	708 (45.0)	433 (32.5)	3,505 (53.3)
	無回答/無効回答	- (0.0)	3 (0.1)	4 (0.3)	4 (0.3)	11 (0.2)							
	n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856				
①+② 全体	ある	85 (18.4)	2,754 (35.9)	2,807 (51.9)	3,939 (62.4)	9,585 (48.3)	0.000	ない(今回が初めて)	376 (81.2)	4,914 (64.0)	2,590 (47.9)	2,358 (37.4)	10,238 (51.6)
	無回答/無効回答	2 (0.4)	9 (0.1)	11 (0.2)	11 (0.2)	33 (0.2)							
	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360				
③MSM	ある	40 (40.4)	1,388 (67.9)	1,369 (85.3)	1,391 (86.3)	4,188 (78.1)	0.000	ない(今回が初めて)	59 (59.6)	656 (32.1)	234 (14.6)	219 (13.6)	1,168 (21.8)
	無回答/無効回答	- (0.0)	1 (0.0)	1 (0.1)	2 (0.1)	4 (0.1)							
	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485				
④WSW	ある	2 (14.3)	103 (49.8)	106 (69.7)	89 (79.5)	300 (61.9)	0.000	ない(今回が初めて)	12 (85.7)	104 (50.2)	46 (30.3)	23 (20.5)	185 (38.1)
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)							
	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845				
③+④ 全体	ある	42 (37.2)	1,491 (66.2)	1,475 (84.0)	1,480 (85.8)	4,488 (76.8)	0.000	ない(今回が初めて)	71 (62.8)	760 (33.7)	280 (15.9)	242 (14.0)	1,353 (23.1)
	無回答/無効回答	- (0.0)	1 (0.0)	1 (0.1)	2 (0.1)	4 (0.1)							
	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701				
①~④ 全体	ある	127 (22.0)	4,245 (42.8)	4,282 (59.8)	5,419 (67.5)	14,073 (54.8)	0.000	ない(今回が初めて)	447 (77.6)	5,674 (57.1)	2,870 (40.1)	2,600 (32.4)	11,591 (45.1)
	無回答/無効回答	2 (0.3)	10 (0.1)	12 (0.2)	13 (0.2)	37 (0.1)							

表4. 自治体検査受検者調査 HIV/STI検査の受検歴

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆一番最近に、HIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?※1											
	n=22		n=1,516		n=1,947		n=3,043		n=6,528		
	過去6か月の間	13 (59.1)	623 (41.1)	551 (28.3)	873 (28.7)	2,060 (31.6)	0.000				
	過去6か月以上前～過去1年の間	4 (18.2)	284 (18.7)	290 (14.9)	473 (15.5)	1,051 (16.1)					
①男性	過去1年以上前～過去3年の間	4 (18.2)	381 (25.1)	523 (26.9)	767 (25.2)	1,675 (25.7)					
	過去3年以上前	- (0.0)	170 (11.2)	503 (25.8)	812 (26.7)	1,485 (22.7)					
	無回答/無効回答	1 (4.5)	58 (3.8)	80 (4.1)	118 (3.9)	257 (3.9)					
	n=63		n=1,238		n=860		n=896		n=3,057		
	過去6か月の間	42 (66.7)	435 (35.1)	228 (26.5)	452 (50.4)	1,157 (37.8)	0.000				
	過去6か月以上前～過去1年の間	10 (15.9)	236 (19.1)	121 (14.1)	105 (11.7)	472 (15.4)					
②女性	過去1年以上前～過去3年の間	8 (12.7)	337 (27.2)	208 (24.2)	104 (11.6)	657 (21.5)					
	過去3年以上前	1 (1.6)	176 (14.2)	279 (32.4)	194 (21.7)	650 (21.3)					
	無回答/無効回答	2 (3.2)	54 (4.4)	24 (2.8)	41 (4.6)	121 (4.0)					
	n=85		n=2,754		n=2,807		n=3,939		n=9,585		
	過去6か月の間	55 (64.7)	1,058 (38.4)	779 (27.8)	1,325 (33.6)	3,217 (33.6)	0.000				
	過去6か月以上前～過去1年の間	14 (16.5)	520 (18.9)	411 (14.6)	578 (14.7)	1,523 (15.9)					
①+② 全体	過去1年以上前～過去3年の間	12 (14.1)	718 (26.1)	731 (26.0)	871 (22.1)	2,332 (24.3)					
	過去3年以上前	1 (1.2)	346 (12.6)	782 (27.9)	1,006 (25.5)	2,135 (22.3)					
	無回答/無効回答	3 (3.5)	112 (4.1)	104 (3.7)	159 (4.0)	378 (3.9)					
	n=40		n=1,388		n=1,369		n=1,391		n=4,188		
	過去6か月の間	25 (62.5)	537 (38.7)	476 (34.8)	489 (35.2)	1,527 (36.5)	0.000				
	過去6か月以上前～過去1年の間	6 (15.0)	347 (25.0)	317 (23.2)	267 (19.2)	937 (22.4)					
③MSM	過去1年以上前～過去3年の間	3 (7.5)	352 (25.4)	354 (25.9)	358 (25.7)	1,067 (25.5)					
	過去3年以上前	- (0.0)	101 (7.3)	185 (13.5)	235 (16.9)	521 (12.4)					
	無回答/無効回答	6 (15.0)	51 (3.7)	37 (2.7)	42 (3.0)	136 (3.2)					
	n=2		n=103		n=106		n=89		n=300		
	過去6か月の間	- (0.0)	40 (38.8)	42 (39.6)	54 (60.7)	136 (45.3)	0.110				
	過去6か月以上前～過去1年の間	- (0.0)	15 (14.6)	11 (10.4)	9 (10.1)	35 (11.7)					
④WSW	過去1年以上前～過去3年の間	1 (50.0)	23 (22.3)	25 (23.6)	9 (10.1)	58 (19.3)					
	過去3年以上前	1 (50.0)	21 (20.4)	23 (21.7)	16 (18.0)	61 (20.3)					
	無回答/無効回答	- (0.0)	4 (3.9)	5 (4.7)	1 (1.1)	10 (3.3)					
	n=42		n=1,491		n=1,475		n=1,480		n=4,488		
	過去6か月の間	25 (59.5)	577 (38.7)	518 (35.1)	543 (36.7)	1,663 (37.1)	0.000				
	過去6か月以上前～過去1年の間	6 (14.3)	362 (24.3)	328 (22.2)	276 (18.6)	972 (21.7)					
③+④ 全体	過去1年以上前～過去3年の間	4 (9.5)	375 (25.2)	379 (25.7)	367 (24.8)	1,125 (25.1)					
	過去3年以上前	1 (2.4)	122 (8.2)	208 (14.1)	251 (17.0)	582 (13.0)					
	無回答/無効回答	6 (14.3)	55 (3.7)	42 (2.8)	43 (2.9)	146 (3.3)					
	n=127		n=4,245		n=4,282		n=5,419		n=14,073		
	過去6か月の間	80 (63.0)	1,635 (38.5)	1,297 (30.3)	1,868 (34.5)	4,880 (34.7)	0.000				
	過去6か月以上前～過去1年の間	20 (15.7)	882 (20.8)	739 (17.3)	854 (15.8)	2,495 (17.7)					
①～④ 全体	過去1年以上前～過去3年の間	16 (12.6)	1,093 (25.7)	1,110 (25.9)	1,238 (22.8)	3,457 (24.6)					
	過去3年以上前	2 (1.6)	468 (11.0)	990 (23.1)	1,257 (23.2)	2,717 (19.3)					
	無回答/無効回答	9 (7.1)	167 (3.9)	146 (3.4)	202 (3.7)	524 (3.7)					

※1 HIV検査(エイズ検査)を受けたことがあるものを分母とする。

表4. 自治体検査受検者調査 HIV/STI検査の受検歴

		10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆これまでに、HIV(エイズ検査)の郵送検査を受けたことがありますか?※1												
		n=22		n=1,516		n=1,947		n=3,043		n=6,528		
①男性	ある	-	(0.0)	84	(5.5)	113	(5.8)	88	(2.9)	285	(4.4)	0.000
	ない	20	(90.9)	1,383	(91.2)	1,769	(90.9)	2,831	(93.0)	6,003	(92.0)	
	無回答/無効回答	2	(9.1)	49	(3.2)	65	(3.3)	124	(4.1)	240	(3.7)	
		n=63		n=1,238		n=860		n=896		n=3,057		
②女性	ある	2	(3.2)	68	(5.5)	45	(5.2)	47	(5.2)	162	(5.3)	0.202
	ない	59	(93.7)	1,127	(91.0)	793	(92.2)	804	(89.7)	2,783	(91.0)	
	無回答/無効回答	2	(3.2)	43	(3.5)	22	(2.6)	45	(5.0)	112	(3.7)	
		n=85		n=2,754		n=2,807		n=3,939		n=9,585		
①+② 全体	ある	2	(2.4)	152	(5.5)	158	(5.6)	135	(3.4)	447	(4.7)	0.000
	ない	79	(92.9)	2,510	(91.1)	2,562	(91.3)	3,635	(92.3)	8,786	(91.7)	
	無回答/無効回答	4	(4.7)	92	(3.3)	87	(3.1)	169	(4.3)	352	(3.7)	
		n=40		n=1,388		n=1,369		n=1,391		n=4,188		
③MSM	ある	-	(0.0)	69	(5.0)	83	(6.1)	45	(3.2)	197	(4.7)	0.017
	ない	39	(97.5)	1,280	(92.2)	1,256	(91.7)	1,310	(94.2)	3,885	(92.8)	
	無回答/無効回答	1	(2.5)	39	(2.8)	30	(2.2)	36	(2.6)	106	(2.5)	
		n=2		n=103		n=106		n=89		n=300		
④WSW	ある	-	(0.0)	8	(7.8)	1	(0.9)	4	(4.5)	13	(4.3)	0.181
	ない	2	(100.0)	90	(87.4)	99	(93.4)	84	(94.4)	275	(91.7)	
	無回答/無効回答	-	(0.0)	5	(4.9)	6	(5.7)	1	(1.1)	12	(4.0)	
		n=42		n=1,491		n=1,475		n=1,480		n=4,488		
③+④ 全体	ある	-	(0.0)	77	(5.2)	84	(5.7)	49	(3.3)	210	(4.7)	0.036
	ない	41	(97.6)	1,370	(91.9)	1,355	(91.9)	1,394	(94.2)	4,160	(92.7)	
	無回答/無効回答	1	(2.4)	44	(3.0)	36	(2.4)	37	(2.5)	118	(2.6)	
		n=127		n=4,245		n=4,282		n=5,419		n=14,073		
①~④ 全体	ある	2	(1.6)	229	(5.4)	242	(5.7)	184	(3.4)	657	(4.7)	0.000
	ない	120	(94.5)	3,880	(91.4)	3,917	(91.5)	5,029	(92.8)	12,946	(92.0)	
	無回答/無効回答	5	(3.9)	136	(3.2)	123	(2.9)	206	(3.8)	470	(3.3)	

※1 HIV検査(エイズ検査)を受けたことがあるものを分母とする。

表4. 自治体検査受検者調査 HIV/STI検査の受検歴

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆あなたは今後どのくらいの頻度でHIV検査を受けようと思いますか? ^{※1}											
	n=22		n=1,516		n=1,947		n=3,043		n=6,528		
6か月に1回くらい	5	(22.7)	347	(22.9)	342	(17.6)	670	(22.0)	1,364	(20.9)	0.000
1年に1回くらい	5	(22.7)	294	(19.4)	383	(19.7)	543	(17.8)	1,225	(18.8)	
特に決めていない	7	(31.8)	505	(33.3)	784	(40.3)	1,268	(41.7)	2,564	(39.3)	
①男性 新しいパートナーができたり、できそうときに受ける	n=22		n=1,516		n=1,947		n=3,043		n=6,528		
	3	(13.6)	294	(19.4)	345	(17.7)	398	(13.1)	1,040	(15.9)	
受けるつもりはない	2	(9.1)	35	(2.3)	36	(1.8)	70	(2.3)	143	(2.2)	
無回答/無効回答	-	(0.0)	41	(2.7)	57	(2.9)	94	(3.1)	192	(2.9)	

	n=63		n=1,238		n=860		n=896		n=3,057		
6か月に1回くらい	23	(36.5)	312	(25.2)	144	(16.7)	395	(44.1)	874	(28.6)	0.000
1年に1回くらい	5	(7.9)	192	(15.5)	124	(14.4)	79	(8.8)	400	(13.1)	
特に決めていない	21	(33.3)	286	(23.1)	246	(28.6)	250	(27.9)	803	(26.3)	
②女性 新しいパートナーができたり、できそうときに受ける	n=63		n=1,238		n=860		n=896		n=3,057		
	12	(19.0)	398	(32.1)	302	(35.1)	131	(14.6)	843	(27.6)	
受けるつもりはない	1	(1.6)	15	(1.2)	26	(3.0)	13	(1.5)	55	(1.8)	
無回答/無効回答	1	(1.6)	35	(2.8)	18	(2.1)	28	(3.1)	82	(2.7)	

	n=85		n=2,754		n=2,807		n=3,939		n=9,585		
6か月に1回くらい	28	(32.9)	659	(23.9)	486	(17.3)	1,065	(27.0)	2,238	(23.3)	0.000
1年に1回くらい	10	(11.8)	486	(17.6)	507	(18.1)	622	(15.8)	1,625	(17.0)	
特に決めていない	28	(32.9)	791	(28.7)	1,030	(36.7)	1,518	(38.5)	3,367	(35.1)	
①+② 全体 新しいパートナーができたり、できそうときに受ける	n=85		n=2,754		n=2,807		n=3,939		n=9,585		
	15	(17.6)	692	(25.1)	647	(23.0)	529	(13.4)	1,883	(19.6)	
受けるつもりはない	3	(3.5)	50	(1.8)	62	(2.2)	83	(2.1)	198	(2.1)	
無回答/無効回答	1	(1.2)	76	(2.8)	75	(2.7)	122	(3.1)	274	(2.9)	

	n=40		n=1,388		n=1,369		n=1,391		n=4,188		
6か月に1回くらい	19	(47.5)	677	(48.8)	607	(44.3)	542	(39.0)	1,845	(44.1)	0.000
1年に1回くらい	5	(12.5)	254	(18.3)	333	(24.3)	362	(26.0)	954	(22.8)	
特に決めていない	14	(35.0)	270	(19.5)	262	(19.1)	375	(27.0)	921	(22.0)	
③MSM 新しいパートナーができたり、できそうときに受ける	n=40		n=1,388		n=1,369		n=1,391		n=4,188		
	1	(2.5)	155	(11.2)	138	(10.1)	73	(5.2)	367	(8.8)	
受けるつもりはない	-	(0.0)	3	(0.2)	2	(0.1)	6	(0.4)	11	(0.3)	
無回答/無効回答	1	(2.5)	29	(2.1)	27	(2.0)	33	(2.4)	90	(2.1)	

	n=2		n=103		n=106		n=89		n=300		
6か月に1回くらい	1	(50.0)	30	(29.1)	18	(17.0)	31	(34.8)	80	(26.7)	0.000
1年に1回くらい	-	(0.0)	11	(10.7)	19	(17.9)	6	(6.7)	36	(12.0)	
特に決めていない	-	(0.0)	26	(25.2)	25	(23.6)	15	(16.9)	66	(22.0)	
④WSW 新しいパートナーができたり、できそうときに受ける	n=2		n=103		n=106		n=89		n=300		
	1	(50.0)	34	(33.0)	41	(38.7)	15	(16.9)	91	(30.3)	
受けるつもりはない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.9)	-	(0.0)	1	(0.3)	
無回答/無効回答	-	(0.0)	2	(1.9)	2	(1.9)	22	(24.7)	26	(8.7)	

	n=42		n=1,491		n=1,475		n=1,480		n=4,488		
6か月に1回くらい	20	(47.6)	707	(47.4)	625	(42.4)	573	(38.7)	1,925	(42.9)	0.000
1年に1回くらい	5	(11.9)	265	(17.8)	352	(23.9)	368	(24.9)	990	(22.1)	
特に決めていない	14	(33.3)	296	(19.9)	287	(19.5)	390	(26.4)	987	(22.0)	
③+④ 全体 新しいパートナーができたり、できそうときに受ける	n=42		n=1,491		n=1,475		n=1,480		n=4,488		
	2	(4.8)	189	(12.7)	179	(12.1)	88	(5.9)	458	(10.2)	
受けるつもりはない	-	(0.0)	3	(0.2)	3	(0.2)	6	(0.4)	12	(0.3)	
無回答/無効回答	1	(2.4)	31	(2.1)	29	(2.0)	55	(3.7)	116	(2.6)	

	n=127		n=4,245		n=4,282		n=5,419		n=14,073		
6か月に1回くらい	48	(37.8)	1,366	(32.2)	1,111	(25.9)	1,638	(30.2)	4,163	(29.6)	0.000
1年に1回くらい	15	(11.8)	751	(17.7)	859	(20.1)	990	(18.3)	2,615	(18.6)	
特に決めていない	42	(33.1)	1,087	(25.6)	1,317	(30.8)	1,908	(35.2)	4,354	(30.9)	
①~④ 全体 新しいパートナーができたり、できそうときに受ける	n=127		n=4,245		n=4,282		n=5,419		n=14,073		
	17	(13.4)	881	(20.8)	826	(19.3)	617	(11.4)	2,341	(16.6)	
受けるつもりはない	3	(2.4)	53	(1.2)	65	(1.5)	89	(1.6)	210	(1.5)	
無回答/無効回答	2	(1.6)	107	(2.5)	104	(2.4)	177	(3.3)	390	(2.8)	

※1 HIV検査(エイズ検査)を受けたことがあるものを分母とする。

表4. 自治体検査受検者調査 HIV/STI検査の受検歴

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆今回の検査であなたが心配に思っていること(複数回答)												
	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283			
①男性	男性との性的接触による感染	2	(1.2)	43	(1.0)	23	(0.6)	38	(0.8)	106	(0.8)	0.036
	女性との性的接触による感染	150	(90.4)	3,562	(82.7)	2,969	(77.4)	3,643	(73.2)	10,324	(77.7)	0.000
	注射針などの共用による感染	1	(0.6)	95	(2.2)	82	(2.1)	97	(1.9)	275	(2.1)	0.083
	医療従事者としての針刺しなどによる感染	1	(0.6)	95	(2.2)	103	(2.7)	89	(1.8)	288	(2.2)	0.004
	性風俗店の利用による感染	40	(24.1)	1,741	(40.4)	1,757	(45.8)	2,190	(44.0)	5,728	(43.1)	0.000
	その他	1	(0.6)	133	(3.1)	119	(3.1)	175	(3.5)	428	(3.2)	0.028
		n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		
②女性	男性との性的接触による感染	284	(95.6)	3,134	(93.0)	1,411	(89.8)	1,114	(83.6)	5,943	(90.4)	0.000
	女性との性的接触による感染	2	(0.7)	19	(0.6)	7	(0.4)	15	(1.1)	43	(0.7)	0.066
	注射針などの共用による感染	6	(2.0)	116	(3.4)	52	(3.3)	41	(3.1)	215	(3.3)	0.262
	医療従事者としての針刺しなどによる感染	5	(1.7)	235	(7.0)	99	(6.3)	72	(5.4)	411	(6.3)	0.002
	性風俗店の利用による感染	21	(7.1)	185	(5.5)	89	(5.7)	143	(10.7)	438	(6.7)	0.000
	その他	2	(0.7)	108	(3.2)	79	(5.0)	86	(6.5)	275	(4.2)	0.000
		n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856		
①+② 全体	男性との性的接触による感染	286	(61.8)	3,177	(41.4)	1,434	(26.5)	1,152	(18.3)	6,049	(30.5)	0.000
	女性との性的接触による感染	152	(32.8)	3,581	(46.6)	2,976	(55.0)	3,658	(58.0)	10,367	(52.2)	0.000
	注射針などの共用による感染	7	(1.5)	211	(2.7)	134	(2.5)	138	(2.2)	490	(2.5)	0.010
	医療従事者としての針刺しなどによる感染	6	(1.3)	330	(4.3)	202	(3.7)	161	(2.6)	699	(3.5)	0.000
	性風俗店の利用による感染	61	(13.2)	1,926	(25.1)	1,846	(34.1)	2,333	(37.0)	6,166	(31.1)	0.000
	その他	3	(0.6)	241	(3.1)	198	(3.7)	261	(4.1)	703	(3.5)	0.000

表4. 自治体検査受検者調査 HIV/STI検査の受検歴

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		
③MSM											
男性との性的接触による感染	91	(91.9)	1,752	(85.7)	1,360	(84.8)	1,312	(81.4)	4,515	(84.2)	0.000
女性との性的接触による感染	17	(17.2)	410	(20.0)	299	(18.6)	307	(19.0)	1,033	(19.3)	0.548
注射針などの共用による感染	-	(0.0)	26	(1.3)	17	(1.1)	17	(1.1)	60	(1.1)	0.543
医療従事者としての針刺しなどによる感染	-	(0.0)	43	(2.1)	37	(2.3)	26	(1.6)	106	(2.0)	0.274
性風俗店の利用による感染	4	(4.0)	264	(12.9)	196	(12.2)	222	(13.8)	686	(12.8)	0.070
その他	1	(1.0)	26	(1.3)	20	(1.2)	19	(1.2)	66	(1.2)	0.779
	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		
④WSW											
男性との性的接触による感染	12	(85.7)	159	(76.8)	114	(75.0)	85	(75.9)	370	(76.3)	0.826
女性との性的接触による感染	4	(28.6)	49	(23.7)	14	(9.2)	23	(20.5)	90	(18.6)	0.014
注射針などの共用による感染	-	(0.0)	7	(3.4)	4	(2.6)	1	(0.9)	12	(2.5)	0.652
医療従事者としての針刺しなどによる感染	-	(0.0)	14	(6.8)	10	(6.6)	3	(2.7)	27	(5.6)	0.498
性風俗店の利用による感染	2	(14.3)	24	(11.6)	10	(6.6)	17	(15.2)	53	(10.9)	0.268
その他	-	(0.0)	9	(4.3)	23	(15.1)	11	(9.8)	43	(8.9)	0.013
	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		
③+④全体											
男性との性的接触による感染	103	(91.2)	1,911	(84.9)	1,474	(83.9)	1,397	(81.0)	4,885	(83.6)	0.001
女性との性的接触による感染	21	(18.6)	459	(20.4)	313	(17.8)	330	(19.1)	1,123	(19.2)	0.396
注射針などの共用による感染	-	(0.0)	33	(1.5)	21	(1.2)	18	(1.0)	72	(1.2)	0.568
医療従事者としての針刺しなどによる感染	-	(0.0)	57	(2.5)	47	(2.7)	29	(1.7)	133	(2.3)	0.163
性風俗店の利用による感染	6	(5.3)	288	(12.8)	206	(11.7)	239	(13.9)	739	(12.6)	0.095
その他	1	(0.9)	35	(1.6)	43	(2.4)	30	(1.7)	109	(1.9)	0.340
	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		
①~④全体											
男性との性的接触による感染	389	(67.5)	5,088	(51.2)	2,908	(40.6)	2,549	(31.7)	10,934	(42.5)	0.000
女性との性的接触による感染	173	(30.0)	4,040	(40.7)	3,289	(45.9)	3,988	(49.7)	11,490	(44.7)	0.000
注射針などの共用による感染	7	(1.2)	244	(2.5)	155	(2.2)	156	(1.9)	562	(2.2)	0.026
医療従事者としての針刺しなどによる感染	6	(1.0)	387	(3.9)	249	(3.5)	190	(2.4)	832	(3.2)	0.000
性風俗店の利用による感染	67	(11.6)	2,214	(22.3)	2,052	(28.6)	2,572	(32.0)	6,905	(26.9)	0.000
その他	4	(0.7)	276	(2.8)	241	(3.4)	291	(3.6)	812	(3.2)	0.000

表5. 自治体検査受検者調査 予防行動

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆コンドームを使わない理由として思い浮かぶ言葉(複数回答)												
	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283			
①男性	妊娠を希望するから使わない	15	(9.0)	745	(17.3)	825	(21.5)	470	(9.4)	2,055	(15.5)	0.000
	コンドームをつかわない方が一体感がある	43	(25.9)	1,136	(26.4)	1,183	(30.8)	1,732	(34.8)	4,094	(30.8)	0.000
	この人はあまり遊んでなさそうだから大丈夫	10	(6.0)	324	(7.5)	333	(8.7)	392	(7.9)	1,059	(8.0)	0.000
	この人とできるならコンドームをつけなくてもいい	10	(6.0)	401	(9.3)	408	(10.6)	564	(11.3)	1,383	(10.4)	0.000
	今まで大丈夫だったから今回もきつと大丈夫	19	(11.4)	590	(13.7)	559	(14.6)	654	(13.1)	1,822	(13.7)	0.000
	つけてって言えないから仕方がない	4	(2.4)	109	(2.5)	76	(2.0)	89	(1.8)	278	(2.1)	0.000
	その他	14	(8.4)	277	(6.4)	251	(6.5)	391	(7.9)	933	(7.0)	0.000
	毎回コンドームを使っているのであてはまるものはない	62	(37.3)	1,464	(34.0)	964	(25.1)	1,268	(25.5)	3,758	(28.3)	0.000
		n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		
	②女性	妊娠を希望するから使わない	32	(10.8)	654	(19.4)	439	(27.9)	191	(14.3)	1,316	(20.0)
コンドームをつかわない方が一体感がある		63	(21.2)	623	(18.5)	281	(17.9)	212	(15.9)	1,179	(17.9)	0.000
この人はあまり遊んでなさそうだから大丈夫		19	(6.4)	269	(8.0)	141	(9.0)	94	(7.1)	523	(8.0)	0.000
この人とできるならコンドームをつけなくてもいい		52	(17.5)	413	(12.3)	205	(13.0)	138	(10.4)	808	(12.3)	0.000
今まで大丈夫だったから今回もきつと大丈夫		64	(21.5)	595	(17.7)	215	(13.7)	135	(10.1)	1,009	(15.4)	0.000
つけてって言えないから仕方がない		64	(21.5)	557	(16.5)	252	(16.0)	193	(14.5)	1,066	(16.2)	0.000
その他		38	(12.8)	393	(11.7)	233	(14.8)	224	(16.8)	888	(13.5)	0.000
毎回コンドームを使っているのであてはまるものはない		76	(25.6)	751	(22.3)	269	(17.1)	263	(19.7)	1,359	(20.7)	0.000
	n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856			
①+② 全体	妊娠を希望するから使わない	47	(10.2)	1,399	(18.2)	1,264	(23.4)	661	(10.5)	3,371	(17.0)	0.000
	コンドームをつかわない方が一体感がある	106	(22.9)	1,759	(22.9)	1,464	(27.1)	1,944	(30.8)	5,273	(26.6)	0.000
	この人はあまり遊んでなさそうだから大丈夫	29	(6.3)	593	(7.7)	474	(8.8)	486	(7.7)	1,582	(8.0)	0.000
	この人とできるならコンドームをつけなくてもいい	62	(13.4)	814	(10.6)	613	(11.3)	702	(11.1)	2,191	(11.0)	0.000
	今まで大丈夫だったから今回もきつと大丈夫	83	(17.9)	1,185	(15.4)	774	(14.3)	789	(12.5)	2,831	(14.3)	0.000
	つけてって言えないから仕方がない	68	(14.7)	666	(8.7)	328	(6.1)	282	(4.5)	1,344	(6.8)	0.000
	その他	52	(11.2)	670	(8.7)	484	(8.9)	615	(9.7)	1,821	(9.2)	0.000
	毎回コンドームを使っているのであてはまるものはない	138	(29.8)	2,215	(28.9)	1,233	(22.8)	1,531	(24.3)	5,117	(25.8)	0.000

表5. 自治体検査受検者調査 予防行動

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		
③MSM	-----										
妊娠を希望するから使わない	4	(4.0)	145	(7.1)	143	(8.9)	68	(4.2)	360	(6.7)	0.000
コンドームをつかわない方が一体感がある	21	(21.2)	621	(30.4)	529	(33.0)	558	(34.6)	1,729	(32.3)	0.003
この人はあまり遊んでなさそうだから大丈夫	11	(11.1)	371	(18.1)	301	(18.8)	319	(19.8)	1,002	(18.7)	0.099
この人とできるならコンドームをつけなくてもいい	25	(25.3)	484	(23.7)	364	(22.7)	341	(21.2)	1,214	(22.6)	0.258
今まで大丈夫だったから今回もきっと大丈夫	16	(16.2)	353	(17.3)	227	(14.2)	239	(14.8)	835	(15.6)	0.078
つけてって言えないから仕方がない	18	(18.2)	233	(11.4)	132	(8.2)	87	(5.4)	470	(8.8)	0.000
その他	7	(7.1)	161	(7.9)	138	(8.6)	156	(9.7)	462	(8.6)	0.180
毎回コンドームを使っているのであてはまるものはない	31	(31.3)	558	(27.3)	422	(26.3)	393	(24.4)	1,404	(26.2)	0.119
	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		
④WSW	-----										
妊娠を希望するから使わない	1	(7.1)	40	(19.3)	32	(21.1)	14	(12.5)	87	(17.9)	0.141
コンドームをつかわない方が一体感がある	2	(14.3)	37	(17.9)	30	(19.7)	42	(37.5)	111	(22.9)	0.000
この人はあまり遊んでなさそうだから大丈夫	1	(7.1)	12	(5.8)	10	(6.6)	5	(4.5)	28	(5.8)	0.356
この人とできるならコンドームをつけなくてもいい	2	(14.3)	24	(11.6)	15	(9.9)	11	(9.8)	52	(10.7)	0.333
今まで大丈夫だったから今回もきっと大丈夫	3	(21.4)	31	(15.0)	17	(11.2)	8	(7.1)	59	(12.2)	0.067
つけてって言えないから仕方がない	4	(28.6)	28	(13.5)	19	(12.5)	12	(10.7)	63	(13.0)	0.107
その他	1	(7.1)	37	(17.9)	36	(23.7)	33	(29.5)	107	(22.1)	0.031
毎回コンドームを使っているのであてはまるものはない	3	(21.4)	55	(26.6)	29	(19.1)	15	(13.4)	102	(21.0)	0.030
	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		
③+④全体	-----										
妊娠を希望するから使わない	5	(4.4)	185	(8.2)	175	(10.0)	82	(4.8)	447	(7.6)	0.000
コンドームをつかわない方が一体感がある	23	(20.4)	658	(29.2)	559	(31.8)	600	(34.8)	1,840	(31.5)	0.000
この人はあまり遊んでなさそうだから大丈夫	12	(10.6)	383	(17.0)	311	(17.7)	324	(18.8)	1,030	(17.6)	0.063
この人とできるならコンドームをつけなくてもいい	27	(23.9)	508	(22.6)	379	(21.6)	352	(20.4)	1,266	(21.7)	0.229
今まで大丈夫だったから今回もきっと大丈夫	19	(16.8)	384	(17.1)	244	(13.9)	247	(14.3)	894	(15.3)	0.027
つけてって言えないから仕方がない	22	(19.5)	261	(11.6)	151	(8.6)	99	(5.7)	533	(9.1)	0.000
その他	8	(7.1)	198	(8.8)	174	(9.9)	189	(11.0)	569	(9.7)	0.060
毎回コンドームを使っているのであてはまるものはない	34	(30.1)	613	(27.2)	451	(25.7)	408	(23.7)	1,506	(25.8)	0.042
	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		
①~④全体	-----										
妊娠を希望するから使わない	52	(9.0)	1,584	(16.0)	1,439	(20.1)	743	(9.3)	3,818	(14.9)	0.000
コンドームをつかわない方が一体感がある	129	(22.4)	2,417	(24.3)	2,023	(28.2)	2,544	(31.7)	7,113	(27.7)	0.000
この人はあまり遊んでなさそうだから大丈夫	41	(7.1)	976	(9.8)	785	(11.0)	810	(10.1)	2,612	(10.2)	0.000
この人とできるならコンドームをつけなくてもいい	89	(15.5)	1,322	(13.3)	992	(13.8)	1,054	(13.1)	3,457	(13.5)	0.000
今まで大丈夫だったから今回もきっと大丈夫	102	(17.7)	1,569	(15.8)	1,018	(14.2)	1,036	(12.9)	3,725	(14.5)	0.000
つけてって言えないから仕方がない	90	(15.6)	927	(9.3)	479	(6.7)	381	(4.7)	1,877	(7.3)	0.000
その他	60	(10.4)	868	(8.7)	658	(9.2)	804	(10.0)	2,390	(9.3)	0.000
毎回コンドームを使っているのであてはまるものはない	172	(29.9)	2,828	(28.5)	1,684	(23.5)	1,939	(24.1)	6,623	(25.8)	0.000

表5. 自治体検査受検者調査 予防行動

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月間にセックスをした相手とHIV感染症や性感染症の予防について話したこと											
	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283		
ある	42	(25.3)	946	(22.0)	717	(18.7)	1,015	(20.4)	2,720	(20.5)	0.000
ない	108	(65.1)	2,989	(69.4)	2,744	(71.5)	3,441	(69.2)	9,282	(69.9)	
①男性 覚えていない・過去6か月はない											
	11	(6.6)	290	(6.7)	269	(7.0)	349	(7.0)	919	(6.9)	
無回答/無効回答	5	(3.0)	81	(1.9)	106	(2.8)	170	(3.4)	362	(2.7)	

	n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		
ある	113	(38.0)	1,255	(37.2)	543	(34.5)	491	(36.8)	2,402	(36.5)	0.000
ない	159	(53.5)	1,878	(55.7)	867	(55.2)	665	(49.9)	3,569	(54.3)	
②女性 覚えていない・過去6か月はない											
	22	(7.4)	188	(5.6)	112	(7.1)	91	(6.8)	413	(6.3)	
無回答/無効回答	3	(1.0)	50	(1.5)	50	(3.2)	86	(6.5)	189	(2.9)	

	n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856		
ある	155	(33.5)	2,201	(28.7)	1,260	(23.3)	1,506	(23.9)	5,122	(25.8)	0.000
ない	267	(57.7)	4,867	(63.4)	3,611	(66.8)	4,106	(65.1)	12,851	(64.7)	
①+② 全体 覚えていない・過去6か月はない											
	33	(7.1)	478	(6.2)	381	(7.0)	440	(7.0)	1,332	(6.7)	
無回答/無効回答	8	(1.7)	131	(1.7)	156	(2.9)	256	(4.1)	551	(2.8)	

	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		
ある	37	(37.4)	857	(41.9)	680	(42.4)	658	(40.8)	2,232	(41.6)	0.525
ない	47	(47.5)	1,021	(49.9)	795	(49.6)	819	(50.8)	2,682	(50.0)	
③MSM 覚えていない・過去6か月はない											
	13	(13.1)	133	(6.5)	101	(6.3)	108	(6.7)	355	(6.6)	
無回答/無効回答	2	(2.0)	34	(1.7)	28	(1.7)	27	(1.7)	91	(1.7)	

	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		
ある	3	(21.4)	84	(40.6)	65	(42.8)	60	(53.6)	212	(43.7)	0.010
ない	9	(64.3)	101	(48.8)	77	(50.7)	42	(37.5)	229	(47.2)	
④WSW 覚えていない・過去6か月はない											
	1	(7.1)	22	(10.6)	9	(5.9)	7	(6.3)	39	(8.0)	
無回答/無効回答	1	(7.1)	-	(0.0)	1	(0.7)	3	(2.7)	5	(1.0)	

	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		
ある	40	(35.4)	941	(41.8)	745	(42.4)	718	(41.6)	2,444	(41.8)	0.498
ない	56	(49.6)	1,122	(49.8)	872	(49.7)	861	(49.9)	2,911	(49.8)	
③+④ 全体 覚えていない・過去6か月はない											
	14	(12.4)	155	(6.9)	110	(6.3)	115	(6.7)	394	(6.7)	
無回答/無効回答	3	(2.7)	34	(1.5)	29	(1.7)	30	(1.7)	96	(1.6)	

	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		
ある	195	(33.9)	3,142	(31.6)	2,005	(28.0)	2,224	(27.7)	7,566	(29.4)	0.000
ない	323	(56.1)	5,989	(60.3)	4,483	(62.6)	4,967	(61.8)	15,762	(61.3)	
①~④ 全体 覚えていない・過去6か月はない											
	47	(8.2)	633	(6.4)	491	(6.9)	555	(6.9)	1,726	(6.7)	
無回答/無効回答	11	(1.9)	165	(1.7)	185	(2.6)	286	(3.6)	647	(2.5)	

表5. 自治体検査受検者調査 予防行動

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月間にセックスをした相手とコンドームを使うことについて話したこと											
	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283		
ある	65	(39.2)	1,858	(43.1)	1,317	(34.3)	1,557	(31.3)	4,797	(36.1)	0.000
ない	84	(50.6)	2,051	(47.6)	2,070	(54.0)	2,830	(56.9)	7,035	(53.0)	
①男性 覚えていない・過去6か月はない	12	(7.2)	296	(6.9)	321	(8.4)	378	(7.6)	1,007	(7.6)	
無回答/無効回答	5	(3.0)	101	(2.3)	128	(3.3)	210	(4.2)	444	(3.3)	
	n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		
ある	183	(61.6)	2,037	(60.4)	824	(52.4)	634	(47.6)	3,678	(56.0)	0.000
ない	84	(28.3)	1,073	(31.8)	565	(35.9)	502	(37.7)	2,224	(33.8)	
②女性 覚えていない・過去6か月はない	25	(8.4)	193	(5.7)	133	(8.5)	106	(8.0)	457	(7.0)	
無回答/無効回答	5	(1.7)	68	(2.0)	50	(3.2)	91	(6.8)	214	(3.3)	
	n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856		
ある	248	(53.6)	3,895	(50.7)	2,141	(39.6)	2,191	(34.7)	8,475	(42.7)	0.000
ない	168	(36.3)	3,124	(40.7)	2,635	(48.7)	3,332	(52.8)	9,259	(46.6)	
①+② 覚えていない・過去6か月はない	37	(8.0)	489	(6.4)	454	(8.4)	484	(7.7)	1,464	(7.4)	
無回答/無効回答	10	(2.2)	169	(2.2)	178	(3.3)	301	(4.8)	658	(3.3)	
	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		
ある	54	(54.5)	1,161	(56.8)	886	(55.2)	797	(49.4)	2,898	(54.1)	0.000
ない	28	(28.3)	717	(35.1)	580	(36.2)	675	(41.9)	2,000	(37.3)	
③MSM 覚えていない・過去6か月はない	14	(14.1)	135	(6.6)	102	(6.4)	109	(6.8)	360	(6.7)	
無回答/無効回答	3	(3.0)	32	(1.6)	36	(2.2)	31	(1.9)	102	(1.9)	
	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		
ある	8	(57.1)	125	(60.4)	71	(46.7)	67	(59.8)	271	(55.9)	0.096
ない	5	(35.7)	60	(29.0)	62	(40.8)	32	(28.6)	159	(32.8)	
④WSW 覚えていない・過去6か月はない	1	(7.1)	20	(9.7)	14	(9.2)	7	(6.3)	42	(8.7)	
無回答/無効回答	-	(0.0)	2	(1.0)	5	(3.3)	6	(5.4)	13	(2.7)	
	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		
ある	62	(54.9)	1,286	(57.1)	957	(54.5)	864	(50.1)	3,169	(54.2)	0.000
ない	33	(29.2)	777	(34.5)	642	(36.6)	707	(41.0)	2,159	(36.9)	
③+④ 覚えていない・過去6か月はない	15	(13.3)	155	(6.9)	116	(6.6)	116	(6.7)	402	(6.9)	
無回答/無効回答	3	(2.7)	34	(1.5)	41	(2.3)	37	(2.1)	115	(2.0)	
	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		
ある	310	(53.8)	5,181	(52.2)	3,098	(43.2)	3,055	(38.0)	11,644	(45.3)	0.000
ない	201	(34.9)	3,901	(39.3)	3,277	(45.7)	4,039	(50.3)	11,418	(44.4)	
①~④ 覚えていない・過去6か月はない	52	(9.0)	644	(6.5)	570	(8.0)	600	(7.5)	1,866	(7.3)	
無回答/無効回答	13	(2.3)	203	(2.0)	219	(3.1)	338	(4.2)	773	(3.0)	

表5. 自治体検査受検者調査 予防行動

	10代		20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月間にコンドームをすぐ使えるようにいつも身近に持っていましたか											
①男性	n=166		n=4,306		n=3,836		n=4,975		n=13,283		0.000
	いつも持っていた	58 (34.9)	1,618 (37.6)	1,147 (29.9)	1,435 (28.8)	4,258 (32.1)					
	時々持っていた	48 (28.9)	1,371 (31.8)	1,061 (27.7)	1,112 (22.4)	3,592 (27.0)					
	持っていなかった	50 (30.1)	1,156 (26.8)	1,426 (37.2)	2,089 (42.0)	4,721 (35.5)					
	無回答/無効回答	10 (6.0)	161 (3.7)	202 (5.3)	339 (6.8)	712 (5.4)					
②女性	n=297		n=3,371		n=1,572		n=1,333		n=6,573		0.000
	いつも持っていた	74 (24.9)	670 (19.9)	319 (20.3)	382 (28.7)	1,445 (22.0)					
	時々持っていた	68 (22.9)	627 (18.6)	267 (17.0)	245 (18.4)	1,207 (18.4)					
	持っていなかった	147 (49.5)	1,932 (57.3)	898 (57.1)	577 (43.3)	3,554 (54.1)					
	無回答/無効回答	8 (2.7)	142 (4.2)	88 (5.6)	129 (9.7)	367 (5.6)					
①+② 全体	n=463		n=7,677		n=5,408		n=6,308		n=19,856		0.000
	いつも持っていた	132 (28.5)	2,288 (29.8)	1,466 (27.1)	1,817 (28.8)	5,703 (28.7)					
	時々持っていた	116 (25.1)	1,998 (26.0)	1,328 (24.6)	1,357 (21.5)	4,799 (24.2)					
	持っていなかった	197 (42.5)	3,088 (40.2)	2,324 (43.0)	2,666 (42.3)	8,275 (41.7)					
	無回答/無効回答	18 (3.9)	303 (3.9)	290 (5.4)	468 (7.4)	1,079 (5.4)					
③MSM	n=99		n=2,045		n=1,604		n=1,612		n=5,360		0.000
	いつも持っていた	28 (28.3)	863 (42.2)	683 (42.6)	789 (48.9)	2,363 (44.1)					
	時々持っていた	25 (25.3)	653 (31.9)	495 (30.9)	423 (26.2)	1,596 (29.8)					
	持っていなかった	41 (41.4)	461 (22.5)	365 (22.8)	338 (21.0)	1,205 (22.5)					
	無回答/無効回答	5 (5.1)	68 (3.3)	61 (3.8)	62 (3.8)	196 (3.7)					
④WSW	n=14		n=207		n=152		n=112		n=485		0.000
	いつも持っていた	2 (14.3)	48 (23.2)	30 (19.7)	57 (50.9)	137 (28.2)					
	時々持っていた	2 (14.3)	47 (22.7)	33 (21.7)	19 (17.0)	101 (20.8)					
	持っていなかった	10 (71.4)	103 (49.8)	83 (54.6)	29 (25.9)	225 (46.4)					
	無回答/無効回答	- (0.0)	9 (4.3)	6 (3.9)	7 (6.3)	22 (4.5)					
③+④ 全体	n=113		n=2,252		n=1,756		n=1,724		n=5,845		0.000
	いつも持っていた	30 (26.5)	911 (40.5)	713 (40.6)	846 (49.1)	2,500 (42.8)					
	時々持っていた	27 (23.9)	700 (31.1)	528 (30.1)	442 (25.6)	1,697 (29.0)					
	持っていなかった	51 (45.1)	564 (25.0)	448 (25.5)	367 (21.3)	1,430 (24.5)					
	無回答/無効回答	5 (4.4)	77 (3.4)	67 (3.8)	69 (4.0)	218 (3.7)					
①~④ 全体	n=576		n=9,929		n=7,164		n=8,032		n=25,701		0.000
	いつも持っていた	162 (28.1)	3,199 (32.2)	2,179 (30.4)	2,663 (33.2)	8,203 (31.9)					
	時々持っていた	143 (24.8)	2,698 (27.2)	1,856 (25.9)	1,799 (22.4)	6,496 (25.3)					
	持っていなかった	248 (43.1)	3,652 (36.8)	2,772 (38.7)	3,033 (37.8)	9,705 (37.8)					
	無回答/無効回答	23 (4.0)	380 (3.8)	357 (5.0)	537 (6.7)	1,297 (5.0)					

表6. クリニック調査 基本属性

◆平均年齢		有効回答数		141		平均値		38.40		中央値		37.00		標準偏差		10.875		最小値		20		最大値		66	
		20代		30代		40歳以上		全体		p値															
		n (%)		n (%)		n (%)		n (%)																	
◆性別		n=34		n=43		n=64		n=141																	
男性		9 (26.5)		12 (27.9)		18 (28.1)		39 (27.7)		0.234															
女性		18 (52.9)		20 (46.5)		40 (62.5)		78 (55.3)																	
ゲイ・バイセクシュアル男性(以下、G・B男性とする)		7 (20.6)		11 (25.6)		6 (9.4)		24 (17.0)																	
◆職業を教えてください。(複数回答)		n=9		n=12		n=18		n=39																	
①男性		n=18		n=20		n=40		n=78																	
学生		7 (38.9)		-		-		7 (9.0)		0.030															
会社員		3 (16.7)		1 (5.0)		5 (12.5)		9 (11.5)		0.176															
公務員		-		-		1 (2.5)		1 (1.3)		0.618															
自営業		-		-		2 (5.0)		2 (2.6)		0.377															
性風俗店勤務		10 (55.6)		19 (95.0)		28 (70.0)		57 (73.1)		0.019															
主婦		-		3 (15.0)		7 (17.5)		10 (12.8)		0.172															
アルバイト・フリーター		2 (11.1)		-		5 (12.5)		7 (9.0)		0.262															
無職		-		-		-		-		-															
その他		-		1 (8.3)		-		1 (2.6)		0.315															
②女性		n=27		n=32		n=58		n=117																	
学生		9 (33.3)		-		-		9 (7.7)		0.000															
会社員		9 (33.3)		12 (37.5)		16 (27.6)		37 (31.6)		0.611															
公務員		-		-		1 (1.7)		1 (0.9)		0.599															
自営業		1 (3.7)		-		9 (15.5)		10 (8.5)		0.025															
性風俗店勤務		10 (37.0)		19 (59.4)		28 (48.3)		57 (48.7)		0.231															
主婦		-		3 (9.4)		7 (12.1)		10 (8.5)		0.176															
アルバイト・フリーター		2 (7.4)		-		5 (8.6)		7 (6.0)		0.240															
無職		-		-		-		-		-															
その他		-		1 (3.1)		1 (1.7)		2 (1.7)		0.653															
①+② 全体		n=7		n=11		n=6		n=24																	
学生		1 (14.3)		-		-		1 (4.2)		0.282															
会社員		5 (71.4)		6 (54.5)		2 (33.3)		13 (54.2)		0.389															
公務員		-		1 (9.1)		1 (16.7)		2 (8.3)		0.552															
自営業		1 (14.3)		2 (18.2)		2 (33.3)		5 (20.8)		0.671															
性風俗店勤務		-		-		-		-		-															
主婦		-		-		-		-		-															
アルバイト・フリーター		-		1 (9.1)		-		1 (4.2)		0.540															
無職		-		-		1 (16.7)		1 (4.2)		0.209															
その他		-		1 (9.1)		-		1 (4.2)		0.540															
③G・B 男性		n=34		n=43		n=64		n=141																	
学生		10 (29.4)		-		-		10 (7.1)		0.000															
会社員		14 (41.2)		18 (41.9)		18 (28.1)		50 (35.5)		0.252															
公務員		-		1 (2.3)		2 (3.1)		3 (2.1)		0.591															
自営業		2 (5.9)		2 (4.7)		11 (17.2)		15 (10.6)		0.070															
性風俗店勤務		10 (29.4)		19 (44.2)		28 (43.8)		57 (40.4)		0.323															
主婦		-		3 (7.0)		7 (10.9)		10 (7.1)		0.133															
アルバイト・フリーター		2 (5.9)		1 (2.3)		5 (7.8)		8 (5.7)		0.484															
無職		-		-		1 (1.6)		1 (0.7)		0.546															
その他		-		2 (4.7)		1 (1.6)		3 (2.1)		0.341															
①~③ 全体		n=34		n=43		n=64		n=141																	
学生		10 (29.4)		-		-		10 (7.1)		0.000															
会社員		14 (41.2)		18 (41.9)		18 (28.1)		50 (35.5)		0.252															
公務員		-		1 (2.3)		2 (3.1)		3 (2.1)		0.591															
自営業		2 (5.9)		2 (4.7)		11 (17.2)		15 (10.6)		0.070															
性風俗店勤務		10 (29.4)		19 (44.2)		28 (43.8)		57 (40.4)		0.323															
主婦		-		3 (7.0)		7 (10.9)		10 (7.1)		0.133															
アルバイト・フリーター		2 (5.9)		1 (2.3)		5 (7.8)		8 (5.7)		0.484															
無職		-		-		1 (1.6)		1 (0.7)		0.546															
その他		-		2 (4.7)		1 (1.6)		3 (2.1)		0.341															

表7. クリニック調査_HIV/STI感染既往の有無

	20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆これまでに、HIV検査を受けたことがありますか？									
①男性	n=9		n=12		n=18		n=39		0.305
	ある	6 (66.7)	7 (58.3)	15 (83.3)	28 (71.8)				
	ない	3 (33.3)	5 (41.7)	3 (16.7)	11 (28.2)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
②女性	n=18		n=20		n=40		n=78		0.028
	ある	9 (50.0)	18 (90.0)	32 (80.0)	59 (75.6)				
	ない	9 (50.0)	2 (10.0)	7 (17.5)	18 (23.1)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	1 (2.5)	1 (1.3)				
①+② 全体	n=27		n=32		n=58		n=117		0.079
	ある	15 (55.6)	25 (78.1)	47 (81.0)	87 (74.4)				
	ない	12 (44.4)	7 (21.9)	10 (17.2)	29 (24.8)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	1 (1.7)	1 (0.9)				
③G・B 男性	n=7		n=11		n=6		n=24		0.071
	ある	5 (71.4)	11 (100.0)	6 (100.0)	22 (91.7)				
	ない	2 (28.6)	- (0.0)	- (0.0)	2 (8.3)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
①~③ 全体	n=34		n=43		n=64		n=141		0.030
	ある	20 (58.8)	36 (83.7)	53 (82.8)	109 (77.3)				
	ない	14 (41.2)	7 (16.3)	10 (15.6)	31 (22.0)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	1 (1.6)	1 (0.7)				
◆これまでに、HIVに感染したことがありますか？※1									
①男性	n=6		n=7		n=15		n=28		0.557
	ある	1 (16.7)	- (0.0)	2 (13.3)	3 (10.7)				
	ない	5 (83.3)	7 (100.0)	13 (86.7)	25 (89.3)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
②女性	n=9		n=18		n=32		n=59		0.651
	ある	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
	ない	9 (100.0)	18 (100.0)	31 (96.9)	58 (98.3)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	1 (3.1)	1 (1.7)				
①+② 全体	n=15		n=25		n=47		n=87		0.675
	ある	1 (6.7)	- (0.0)	2 (4.3)	3 (3.4)				
	ない	14 (93.3)	25 (100.0)	44 (93.6)	83 (95.4)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	1 (2.1)	1 (1.1)				
③G・B 男性	n=5		n=11		n=6		n=22		0.180
	ある	1 (20.0)	- (0.0)	- (0.0)	1 (4.5)				
	ない	4 (80.0)	11 (100.0)	5 (83.3)	20 (90.9)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	1 (16.7)	1 (4.5)				
①~③ 全体	n=20		n=36		n=53		n=109		0.214
	ある	2 (10.0)	- (0.0)	2 (3.8)	4 (3.7)				
	ない	18 (90.0)	36 (100.0)	49 (92.5)	103 (94.5)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	2 (3.8)	2 (1.8)				

※1 HIV検査(エイズ検査)を受けたことがあるものを分母とする。

表7. クリニック調査_HIV/STI感染既往の有無

	20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆これまでに、HIVを除く性感染症検査を受けたことがありますか？									
①男性	n=9		n=12		n=18		n=39		0.150
	ある	5 (55.6)	11 (91.7)	14 (77.8)	30 (76.9)				
	ない	4 (44.4)	1 (8.3)	4 (22.2)	9 (23.1)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
②女性	n=18		n=20		n=40		n=78		0.491
	ある	15 (83.3)	20 (100.0)	36 (90.0)	71 (91.0)				
	ない	2 (11.1)	- (0.0)	3 (7.5)	5 (6.4)				
	無回答/無効回答	1 (5.6)	- (0.0)	1 (2.5)	2 (2.6)				
①+② 全体	n=27		n=32		n=58		n=117		0.163
	ある	20 (74.1)	31 (96.9)	50 (86.2)	101 (86.3)				
	ない	6 (22.2)	1 (3.1)	7 (12.1)	14 (12.0)				
	無回答/無効回答	1 (3.7)	- (0.0)	1 (1.7)	2 (1.7)				
③G・B 男性	n=7		n=11		n=6		n=24		0.071
	ある	5 (71.4)	11 (100.0)	6 (100.0)	22 (91.7)				
	ない	2 (28.6)	- (0.0)	- (0.0)	2 (8.3)				
	無回答/無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
①~③ 全体	n=34		n=43		n=64		n=141		0.041
	ある	25 (73.5)	42 (97.7)	56 (87.5)	123 (87.2)				
	ない	8 (23.5)	1 (2.3)	7 (10.9)	16 (11.3)				
	無回答/無効回答	1 (2.9)	- (0.0)	1 (1.6)	2 (1.4)				
◆これまでに、次の性感染症にかかったことがありますか？※2									
①男性	n=5		n=11		n=14		n=30		0.149
	梅毒	- (0.0)	- (0.0)	3 (21.4)	3 (10.0)				
	B型肝炎	- (0.0)	- (0.0)	1 (7.1)	1 (3.3)				
	淋菌感染症	- (0.0)	2 (18.2)	2 (14.3)	4 (13.3)				
	クラミジア	1 (20.0)	2 (18.2)	7 (50.0)	10 (33.3)				
	いずれかある	1 (20.0)	4 (36.4)	10 (71.4)	15 (50.0)				
②女性	n=15		n=20		n=36		n=71		0.767
	梅毒	2 (13.3)	4 (20.0)	8 (22.2)	14 (19.7)				
	B型肝炎	- (0.0)	1 (5.0)	1 (2.8)	2 (2.8)				
	淋菌感染症	6 (40.0)	9 (45.0)	18 (50.0)	33 (46.5)				
	クラミジア	9 (60.0)	18 (90.0)	31 (86.1)	58 (81.7)				
	いずれかある	11 (73.3)	20 (100.0)	32 (88.9)	63 (88.7)				
①+② 全体	n=20		n=31		n=50		n=101		0.375
	梅毒	2 (10.0)	4 (12.9)	11 (22.0)	17 (16.8)				
	B型肝炎	- (0.0)	1 (3.2)	2 (4.0)	3 (3.0)				
	淋菌感染症	6 (30.0)	11 (35.5)	20 (40.0)	37 (36.6)				
	クラミジア	10 (50.0)	20 (64.5)	38 (76.0)	68 (67.3)				
	いずれかある	12 (60.0)	24 (77.4)	42 (84.0)	78 (77.2)				
③G・B 男性	n=5		n=11		n=6		n=22		0.548
	梅毒	1 (20.0)	5 (45.5)	3 (50.0)	9 (40.9)				
	B型肝炎	- (0.0)	- (0.0)	1 (16.7)	1 (4.5)				
	淋菌感染症	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
	クラミジア	2 (40.0)	2 (18.2)	1 (16.7)	5 (22.7)				
	いずれかある	3 (60.0)	6 (54.5)	5 (83.3)	14 (63.6)				
①~③ 全体	n=25		n=42		n=56		n=123		0.416
	梅毒	3 (12.0)	9 (21.4)	14 (25.0)	26 (21.1)				
	B型肝炎	- (0.0)	1 (2.4)	3 (5.4)	4 (3.3)				
	淋菌感染症	6 (24.0)	11 (26.2)	20 (35.7)	37 (30.1)				
	クラミジア	12 (48.0)	22 (52.4)	39 (69.6)	73 (59.3)				
	いずれかある	15 (60.0)	30 (71.4)	47 (83.9)	92 (74.8)				

※2 HIVを除く性感染症検査を受けたことがあるものを分母とする。

表7. クリニック調査 性経験

	20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月間に、セックスした相手の人数を教えてください。									
①男性	n=9		n=12		n=18		n=39		0.569
	(過去6か月間では)0人	- (0.0)	- (0.0)	1 (5.6)	1 (2.6)				
	1人	2 (22.2)	3 (25.0)	5 (27.8)	10 (25.6)				
	2人~3人	3 (33.3)	5 (41.7)	6 (33.3)	14 (35.9)				
	4人~9人	4 (44.4)	4 (33.3)	3 (16.7)	11 (28.2)				
	10人以上	- (0.0)	- (0.0)	3 (16.7)	3 (7.7)				
答えたくない	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)					
②女性	n=18		n=20		n=40		n=78		0.883
	(過去6か月間では)0人	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
	1人	3 (16.7)	1 (5.0)	3 (7.5)	7 (9.0)				
	2人~3人	2 (11.1)	2 (10.0)	8 (20.0)	12 (15.4)				
	4人~9人	2 (11.1)	2 (10.0)	5 (12.5)	9 (11.5)				
	10人以上	10 (55.6)	13 (65.0)	20 (50.0)	43 (55.1)				
答えたくない	1 (5.6)	2 (10.0)	4 (10.0)	7 (9.0)					
①+② 全体	n=27		n=32		n=58		n=117		0.984
	(過去6か月間では)0人	- (0.0)	- (0.0)	1 (1.7)	1 (0.9)				
	1人	5 (18.5)	4 (12.5)	8 (13.8)	17 (14.5)				
	2人~3人	5 (18.5)	7 (21.9)	14 (24.1)	26 (22.2)				
	4人~9人	6 (22.2)	6 (18.8)	8 (13.8)	20 (17.1)				
	10人以上	10 (37.0)	13 (40.6)	23 (39.7)	46 (39.3)				
答えたくない	1 (3.7)	2 (6.3)	4 (6.9)	7 (6.0)					
③G・B 男性	n=7		n=11		n=6		n=24		0.174
	(過去6か月間では)0人	- (0.0)	- (0.0)	1 (16.7)	1 (4.2)				
	1人	1 (14.3)	2 (18.2)	- (0.0)	3 (12.5)				
	2人~3人	3 (42.9)	- (0.0)	2 (33.3)	5 (20.8)				
	4人~9人	2 (28.6)	7 (63.6)	1 (16.7)	10 (41.7)				
	10人以上	1 (14.3)	2 (18.2)	2 (33.3)	5 (20.8)				
答えたくない	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)					
①~③ 全体	n=34		n=43		n=64		n=141		0.645
	(過去6か月間では)0人	- (0.0)	- (0.0)	2 (3.1)	2 (1.4)				
	1人	6 (17.6)	6 (14.0)	8 (12.5)	20 (14.2)				
	2人~3人	8 (23.5)	7 (16.3)	16 (25.0)	31 (22.0)				
	4人~9人	8 (23.5)	13 (30.2)	9 (14.1)	30 (21.3)				
	10人以上	11 (32.4)	15 (34.9)	25 (39.1)	51 (36.2)				
答えたくない	1 (2.9)	2 (4.7)	4 (6.3)	7 (5.0)					

表8. クリニック調査 性経験

	20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月間のセックスでは、どのぐらいの割合でコンドームを使用しましたか？ ^{※3}									
	n=9		n=12		n=17		n=38		
①男性	必ず使った	2 (22.2)	2 (16.7)	4 (23.5)	8 (21.1)	0.631			
	使うことが多かった	3 (33.3)	3 (25.0)	3 (17.6)	9 (23.7)				
	五分五分	- (0.0)	4 (33.3)	5 (29.4)	9 (23.7)				
	使わないことが多かった	3 (33.3)	1 (8.3)	2 (11.8)	6 (15.8)				
	全く使わなかった	1 (11.1)	2 (16.7)	3 (17.6)	6 (15.8)				
	n=17		n=18		n=36		n=71		
②女性	必ず使った	2 (11.8)	6 (33.3)	7 (19.4)	15 (21.1)	0.035			
	使うことが多かった	9 (52.9)	4 (22.2)	14 (38.9)	27 (38.0)				
	五分五分	2 (11.8)	1 (5.6)	10 (27.8)	13 (18.3)				
	使わないことが多かった	3 (17.6)	3 (16.7)	5 (13.9)	11 (15.5)				
	全く使わなかった	1 (5.9)	4 (22.2)	- (0.0)	5 (7.0)				
	n=26		n=30		n=53		n=109		
①+② 全体	必ず使った	4 (15.4)	8 (26.7)	11 (20.8)	23 (21.1)	0.138			
	使うことが多かった	12 (46.2)	7 (23.3)	17 (32.1)	36 (33.0)				
	五分五分	2 (7.7)	5 (16.7)	15 (28.3)	22 (20.2)				
	使わないことが多かった	6 (23.1)	4 (13.3)	7 (13.2)	17 (15.6)				
	全く使わなかった	2 (7.7)	6 (20.0)	3 (5.7)	11 (10.1)				
	n=7		n=11		n=5		n=23		
③G・B 男性	必ず使った	3 (42.9)	1 (9.1)	1 (20.0)	5 (21.7)	0.568			
	使うことが多かった	1 (14.3)	3 (27.3)	1 (20.0)	5 (21.7)				
	五分五分	2 (28.6)	4 (36.4)	- (0.0)	6 (26.1)				
	使わないことが多かった	1 (14.3)	2 (18.2)	2 (40.0)	5 (21.7)				
	全く使わなかった	- (0.0)	1 (9.1)	1 (20.0)	2 (8.7)				
	n=33		n=41		n=58		n=132		
①~③ 全体	必ず使った	7 (21.2)	9 (22.0)	12 (20.7)	28 (21.2)	0.542			
	使うことが多かった	13 (39.4)	10 (24.4)	18 (31.0)	41 (31.1)				
	五分五分	4 (12.1)	9 (22.0)	15 (25.9)	28 (21.2)				
	使わないことが多かった	7 (21.2)	6 (14.6)	9 (15.5)	22 (16.7)				
	全く使わなかった	2 (6.1)	7 (17.1)	4 (6.9)	13 (9.8)				

※3 過去6か月間にセックスしたことがあるものを分母とする。

表8. クリニック調査_性経験

	20代		30代		40歳以上		全体		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆過去6か月間のセックスで、コンドームを使った目的を教えてください。※4									
①男性	n=8		n=10		n=14		n=32		0.470
	避妊のため	1 (12.5)	2 (20.0)	2 (14.3)	5 (15.6)				
	性感染症予防のため	4 (50.0)	1 (10.0)	5 (35.7)	10 (31.3)				
	両方(避妊と性感染症予防)のため	3 (37.5)	7 (70.0)	7 (50.0)	17 (53.1)				
	いずれも当てはまらない	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
無回答・無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)					
②女性	n=16		n=14		n=36		n=66		0.037
	避妊のため	5 (31.3)	1 (7.1)	1 (2.8)	7 (10.6)				
	性感染症予防のため	4 (25.0)	6 (42.9)	12 (33.3)	22 (33.3)				
	両方(避妊と性感染症予防)のため	6 (37.5)	7 (50.0)	19 (52.8)	32 (48.5)				
	いずれも当てはまらない	- (0.0)	- (0.0)	4 (11.1)	4 (6.1)				
無回答・無効回答	1 (6.3)	- (0.0)	- (0.0)	1 (1.5)					
①+② 全体	n=24		n=24		n=50		n=98		0.114
	避妊のため	6 (25.0)	3 (12.5)	3 (6.0)	12 (12.2)				
	性感染症予防のため	8 (33.3)	7 (29.2)	17 (34.0)	32 (32.7)				
	両方(避妊と性感染症予防)のため	9 (37.5)	14 (58.3)	26 (52.0)	49 (50.0)				
	いずれも当てはまらない	- (0.0)	- (0.0)	4 (8.0)	4 (4.1)				
無回答・無効回答	1 (4.2)	- (0.0)	- (0.0)	1 (1.0)					
③G・B 男性	n=7		n=10		n=4		n=21		0.266
	避妊のため	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
	性感染症予防のため	5 (71.4)	9 (90.0)	2 (50.0)	16 (76.2)				
	両方(避妊と性感染症予防)のため	2 (28.6)	1 (10.0)	2 (50.0)	5 (23.8)				
	いずれも当てはまらない	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)				
無回答・無効回答	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)	- (0.0)					
①~③ 全体	n=31		n=34		n=54		n=119		0.099
	避妊のため	6 (19.4)	3 (8.8)	3 (5.6)	12 (10.1)				
	性感染症予防のため	13 (41.9)	16 (47.1)	19 (35.2)	48 (40.3)				
	両方(避妊と性感染症予防)のため	11 (35.5)	15 (44.1)	28 (51.9)	54 (45.4)				
	いずれも当てはまらない	- (0.0)	- (0.0)	4 (7.4)	4 (3.4)				
無回答・無効回答	1 (3.2)	- (0.0)	- (0.0)	1 (0.8)					

※4 過去6か月間にセックスでコンドームを使用したことがあるものを分母とする。

表9. クリニック調査_動画について

		20代		30代		40歳以上		全体		p値
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆動画の表画速度はいかがでしたか。										
①男性		n=9		n=12		n=18		n=39		0.452
	速い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	やや速い	-	(0.0)	2	(16.7)	1	(5.6)	3	(7.7)	
	適当	8	(88.9)	9	(75.0)	16	(88.9)	33	(84.6)	
	やや遅い	-	(0.0)	1	(8.3)	-	(0.0)	1	(2.6)	
	遅い	1	(11.1)	-	(0.0)	1	(5.6)	2	(5.1)	

②女性		n=18		n=20		n=40		n=78		0.089
	速い	3	(16.7)	1	(5.0)	1	(2.5)	5	(6.4)	
	やや速い	1	(5.6)	2	(10.0)	2	(5.0)	5	(6.4)	
	適当	14	(77.8)	13	(65.0)	36	(90.0)	63	(80.8)	
	やや遅い	-	(0.0)	3	(15.0)	1	(2.5)	4	(5.1)	
	遅い	-	(0.0)	1	(5.0)	-	(0.0)	1	(1.3)	

①+② 全体		n=27		n=32		n=58		n=117		0.067
	速い	3	(11.1)	1	(3.1)	1	(1.7)	5	(4.3)	
	やや速い	1	(3.7)	4	(12.5)	3	(5.2)	8	(6.8)	
	適当	22	(81.5)	22	(68.8)	52	(89.7)	96	(82.1)	
	やや遅い	-	(0.0)	4	(12.5)	1	(1.7)	5	(4.3)	
	遅い	1	(3.7)	1	(3.1)	1	(1.7)	3	(2.6)	

③G・B 男性		n=7		n=11		n=6		n=24		0.845
	速い	1	(14.3)	1	(9.1)	1	(16.7)	3	(12.5)	
	やや速い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	適当	6	(85.7)	9	(81.8)	5	(83.3)	20	(83.3)	
	やや遅い	-	(0.0)	1	(9.1)	-	(0.0)	1	(4.2)	
	遅い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	

①~③ 全体		n=34		n=43		n=64		n=141		0.089
	速い	4	(11.8)	2	(4.7)	2	(3.1)	8	(5.7)	
	やや速い	1	(2.9)	4	(9.3)	3	(4.7)	8	(5.7)	
	適当	28	(82.4)	31	(72.1)	57	(89.1)	116	(82.3)	
	やや遅い	-	(0.0)	5	(11.6)	1	(1.6)	6	(4.3)	
	遅い	1	(2.9)	1	(2.3)	1	(1.6)	3	(2.1)	
◆動画の長さはいかがでしたか。										
①男性		n=9		n=12		n=18		n=39		0.160
	長い	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(5.6)	1	(2.6)	
	やや長い	2	(22.2)	-	(0.0)	1	(5.6)	3	(7.7)	
	適当	7	(77.8)	10	(83.3)	16	(88.9)	33	(84.6)	
	やや短い	-	(0.0)	2	(16.7)	-	(0.0)	2	(5.1)	
	短い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	

②女性		n=18		n=20		n=40		n=78		0.487
	長い	1	(5.6)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(1.3)	
	やや長い	3	(16.7)	4	(20.0)	7	(17.5)	14	(17.9)	
	適当	14	(77.8)	16	(80.0)	33	(82.5)	63	(80.8)	
	やや短い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	短い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	

①+② 全体		n=27		n=32		n=58		n=117		0.321
	長い	1	(3.7)	-	(0.0)	1	(1.7)	2	(1.7)	
	やや長い	5	(18.5)	4	(12.5)	8	(13.8)	17	(14.5)	
	適当	21	(77.8)	26	(81.3)	49	(84.5)	96	(82.1)	
	やや短い	-	(0.0)	2	(6.3)	-	(0.0)	2	(1.7)	
	短い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	

③G・B 男性		n=7		n=11		n=6		n=24		0.274
	長い	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
	やや長い	-	(0.0)	2	(18.2)	-	(0.0)	2	(8.3)	
	適当	5	(71.4)	9	(81.8)	6	(100.0)	20	(83.3)	
	やや短い	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
	短い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	

①~③ 全体		n=34		n=43		n=64		n=141		0.384
	長い	2	(5.9)	-	(0.0)	1	(1.6)	3	(2.1)	
	やや長い	5	(14.7)	6	(14.0)	8	(12.5)	19	(13.5)	
	適当	26	(76.5)	35	(81.4)	55	(85.9)	116	(82.3)	
	やや短い	1	(2.9)	2	(4.7)	-	(0.0)	3	(2.1)	
	短い	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	

表9. クリニック調査 動画について

		20代		30代		40歳以上		全体		p値
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆動画を視聴してどのような印象をもちましたか。(複数回答)										
①男性		n=9		n=12		n=18		n=39		
	親しみやすい	2	(22.2)	7	(58.3)	5	(27.8)	14	(35.9)	0.144
	安心できる	5	(55.6)	4	(33.3)	3	(16.7)	12	(30.8)	0.116
	信頼できる	2	(22.2)	2	(16.7)	6	(33.3)	10	(25.6)	0.571
	興味深い	-	(0.0)	3	(25.0)	3	(16.7)	6	(15.4)	0.285
	新しい	1	(11.1)	2	(16.7)	-	(0.0)	3	(7.7)	0.222
	子ども向け	1	(11.1)	-	(0.0)	4	(22.2)	5	(12.8)	0.201
	若者向け	5	(55.6)	5	(41.7)	7	(38.9)	17	(43.6)	0.703
	大人向け	1	(11.1)	1	(8.3)	3	(16.7)	5	(12.8)	0.787
	自分向け	-	(0.0)	1	(8.3)	3	(16.7)	4	(10.3)	0.391
あてはまるものがない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	
②女性		n=18		n=20		n=40		n=78		
	親しみやすい	11	(61.1)	12	(60.0)	19	(47.5)	42	(53.8)	0.513
	安心できる	4	(22.2)	9	(45.0)	11	(27.5)	24	(30.8)	0.257
	信頼できる	4	(22.2)	2	(10.0)	12	(30.0)	18	(23.1)	0.222
	興味深い	6	(33.3)	3	(15.0)	6	(15.0)	15	(19.2)	0.224
	新しい	-	(0.0)	2	(10.0)	4	(10.0)	6	(7.7)	0.377
	子ども向け	1	(5.6)	3	(15.0)	4	(10.0)	8	(10.3)	0.630
	若者向け	6	(33.3)	9	(45.0)	11	(27.5)	26	(33.3)	0.399
	大人向け	2	(11.1)	4	(20.0)	6	(15.0)	12	(15.4)	0.747
	自分向け	4	(22.2)	1	(5.0)	2	(5.0)	7	(9.0)	0.081
あてはまるものがない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	
①+② 全体		n=27		n=32		n=58		n=117		
	親しみやすい	13	(48.1)	19	(59.4)	24	(41.4)	56	(47.9)	0.262
	安心できる	9	(33.3)	13	(40.6)	14	(24.1)	36	(30.8)	0.254
	信頼できる	6	(22.2)	4	(12.5)	18	(31.0)	28	(23.9)	0.139
	興味深い	6	(22.2)	6	(18.8)	9	(15.5)	21	(17.9)	0.748
	新しい	1	(3.7)	4	(12.5)	4	(6.9)	9	(7.7)	0.428
	子ども向け	2	(7.4)	3	(9.4)	8	(13.8)	13	(11.1)	0.639
	若者向け	11	(40.7)	14	(43.8)	18	(31.0)	43	(36.8)	0.433
	大人向け	3	(11.1)	5	(15.6)	9	(15.5)	17	(14.5)	0.848
	自分向け	4	(14.8)	2	(6.3)	5	(8.6)	11	(9.4)	0.511
あてはまるものがない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	
③G・B 男性		n=7		n=11		n=6		n=24		
	親しみやすい	4	(57.1)	7	(63.6)	4	(66.7)	15	(62.5)	0.934
	安心できる	3	(42.9)	6	(54.5)	5	(83.3)	14	(58.3)	0.317
	信頼できる	3	(42.9)	6	(54.5)	4	(66.7)	13	(54.2)	0.691
	興味深い	2	(28.6)	2	(18.2)	3	(50.0)	7	(29.2)	0.386
	新しい	-	(0.0)	1	(9.1)	1	(16.7)	2	(8.3)	0.552
	子ども向け	1	(14.3)	2	(18.2)	1	(16.7)	4	(16.7)	0.977
	若者向け	3	(42.9)	6	(54.5)	2	(33.3)	11	(45.8)	0.691
	大人向け	2	(28.6)	3	(27.3)	2	(33.3)	7	(29.2)	0.965
	自分向け	2	(28.6)	1	(9.1)	1	(16.7)	4	(16.7)	0.557
あてはまるものがない	-	(0.0)	1	(9.1)	-	(0.0)	1	(4.2)	0.540	
①~③ 全体		n=34		n=43		n=64		n=141		
	親しみやすい	17	(50.0)	26	(60.5)	28	(43.8)	71	(50.4)	0.237
	安心できる	12	(35.3)	19	(44.2)	19	(29.7)	50	(35.5)	0.307
	信頼できる	9	(26.5)	10	(23.3)	22	(34.4)	41	(29.1)	0.430
	興味深い	8	(23.5)	8	(18.6)	12	(18.8)	28	(19.9)	0.827
	新しい	1	(2.9)	5	(11.6)	5	(7.8)	11	(7.8)	0.369
	子ども向け	3	(8.8)	5	(11.6)	9	(14.1)	17	(12.1)	0.746
	若者向け	14	(41.2)	20	(46.5)	20	(31.3)	54	(38.3)	0.260
	大人向け	5	(14.7)	8	(18.6)	11	(17.2)	24	(17.0)	0.902
	自分向け	6	(17.6)	3	(7.0)	6	(9.4)	15	(10.6)	0.291
あてはまるものがない	-	(0.0)	1	(2.3)	-	(0.0)	1	(0.7)	0.317	

表9. クリニック調査 動画について

		20代		30代		40歳以上		全体		p値
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆動画の内容はあなたにとってどれくらい役に立ちましたか。										
①男性		n=9		n=12		n=18		n=39		0.613
	役に立った	2	(22.2)	6	(50.0)	8	(44.4)	16	(41.0)	
	まあまあ役に立った	5	(55.6)	5	(41.7)	6	(33.3)	16	(41.0)	
	普通	2	(22.2)	1	(8.3)	4	(22.2)	7	(17.9)	
	あまり役に立たなかった	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	役に立たなかった	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
②女性		n=18		n=20		n=40		n=78		0.060
	役に立った	12	(66.7)	12	(60.0)	20	(50.0)	44	(56.4)	
	まあまあ役に立った	3	(16.7)	5	(25.0)	14	(35.0)	22	(28.2)	
	普通	-	(0.0)	3	(15.0)	6	(15.0)	9	(11.5)	
	あまり役に立たなかった	2	(11.1)	-	(0.0)	-	(0.0)	2	(2.6)	
	役に立たなかった	1	(5.6)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(1.3)	
①+② 全体		n=27		n=32		n=58		n=117		0.162
	役に立った	14	(51.9)	18	(56.3)	28	(48.3)	60	(51.3)	
	まあまあ役に立った	8	(29.6)	10	(31.3)	20	(34.5)	38	(32.5)	
	普通	2	(7.4)	4	(12.5)	10	(17.2)	16	(13.7)	
	あまり役に立たなかった	2	(7.4)	-	(0.0)	-	(0.0)	2	(1.7)	
	役に立たなかった	1	(3.7)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.9)	
③G・B 男性		n=7		n=11		n=6		n=24		0.109
	役に立った	5	(71.4)	3	(27.3)	1	(16.7)	9	(37.5)	
	まあまあ役に立った	2	(28.6)	4	(36.4)	5	(83.3)	11	(45.8)	
	普通	-	(0.0)	3	(27.3)	-	(0.0)	3	(12.5)	
	あまり役に立たなかった	-	(0.0)	1	(9.1)	-	(0.0)	1	(4.2)	
	役に立たなかった	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
①~③ 全体		n=34		n=43		n=64		n=141		0.273
	役に立った	19	(55.9)	21	(48.8)	29	(45.3)	69	(48.9)	
	まあまあ役に立った	10	(29.4)	14	(32.6)	25	(39.1)	49	(34.8)	
	普通	2	(5.9)	7	(16.3)	10	(15.6)	19	(13.5)	
	あまり役に立たなかった	2	(5.9)	1	(2.3)	-	(0.0)	3	(2.1)	
	役に立たなかった	1	(2.9)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.7)	
◆この動画をもう一度視聴したいと思いますか。										
①男性		n=9		n=12		n=18		n=39		0.135
	思う	-	(0.0)	1	(8.3)	1	(5.6)	2	(5.1)	
	多少思う	-	(0.0)	5	(41.7)	3	(16.7)	8	(20.5)	
	どちらともいえない	6	(66.7)	1	(8.3)	9	(50.0)	16	(41.0)	
	あまり思わない	3	(33.3)	3	(25.0)	3	(16.7)	9	(23.1)	
	思わない	-	(0.0)	2	(16.7)	2	(11.1)	4	(10.3)	
②女性		n=18		n=20		n=40		n=78		0.380
	思う	4	(22.2)	1	(5.0)	9	(22.5)	14	(17.9)	
	多少思う	5	(27.8)	8	(40.0)	16	(40.0)	29	(37.2)	
	どちらともいえない	5	(27.8)	6	(30.0)	12	(30.0)	23	(29.5)	
	あまり思わない	4	(22.2)	4	(20.0)	3	(7.5)	11	(14.1)	
	思わない	-	(0.0)	1	(5.0)	-	(0.0)	1	(1.3)	
①+② 全体		n=27		n=32		n=58		n=117		0.134
	思う	4	(14.8)	2	(6.3)	10	(17.2)	16	(13.7)	
	多少思う	5	(18.5)	13	(40.6)	19	(32.8)	37	(31.6)	
	どちらともいえない	11	(40.7)	7	(21.9)	21	(36.2)	39	(33.3)	
	あまり思わない	7	(25.9)	7	(21.9)	6	(10.3)	20	(17.1)	
	思わない	-	(0.0)	3	(9.4)	2	(3.4)	5	(4.3)	
③G・B 男性		n=7		n=11		n=6		n=24		0.065
	思う	2	(28.6)	1	(9.1)	1	(16.7)	4	(16.7)	
	多少思う	2	(28.6)	1	(9.1)	3	(50.0)	6	(25.0)	
	どちらともいえない	2	(28.6)	2	(18.2)	2	(33.3)	6	(25.0)	
	あまり思わない	-	(0.0)	7	(63.6)	-	(0.0)	7	(29.2)	
	思わない	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
①~③ 全体		n=34		n=43		n=64		n=141		0.071
	思う	6	(17.6)	3	(7.0)	11	(17.2)	20	(14.2)	
	多少思う	7	(20.6)	14	(32.6)	22	(34.4)	43	(30.5)	
	どちらともいえない	13	(38.2)	9	(20.9)	23	(35.9)	45	(31.9)	
	あまり思わない	7	(20.6)	14	(32.6)	6	(9.4)	27	(19.1)	
	思わない	1	(2.9)	3	(7.0)	2	(3.1)	6	(4.3)	

表10. クリニック調査 考え

		20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
◆HIVを含む性感染症の予防について、あなたの考えを教えてください。(複数回答)										
①男性	早期に発見できれば、治療が可能である	n=9		n=12		n=18		n=39		
	動画視聴前	6	(66.7)	8	(66.7)	9	(50.0)	23	(59.0)	0.125
	動画視聴後	6	(66.7)	6	(50.0)	7	(38.9)	19	(48.7)	
	HIVを含む性感染症の危険性について、常に意識しておく必要がある	n=9		n=12		n=18		n=39		
	動画視聴前	7	(77.8)	9	(75.0)	14	(77.8)	30	(76.9)	0.688
	動画視聴後	6	(66.7)	9	(75.0)	13	(72.2)	28	(71.8)	
	HIVや性感染症について、正しい知識をもっている	n=9		n=12		n=18		n=39		
	動画視聴前	1	(11.1)	2	(16.7)	3	(16.7)	6	(15.4)	0.625
	動画視聴後	1	(11.1)	3	(25.0)	4	(22.2)	8	(20.5)	
	HIVや性感染症について、正しい知識が必要である	n=9		n=12		n=18		n=39		
	動画視聴前	5	(55.6)	6	(50.0)	6	(33.3)	17	(43.6)	0.070
	動画視聴後	5	(55.6)	7	(58.3)	11	(61.1)	23	(59.0)	
予防のために、コンドームの常時所持が必要である	n=9		n=12		n=18		n=39			
動画視聴前	3	(33.3)	1	(8.3)	6	(33.3)	10	(25.6)	0.004	
動画視聴後	4	(44.4)	8	(66.7)	10	(55.6)	22	(56.4)		
予防には、コンドームの使用が有効である	n=9		n=12		n=18		n=39			
動画視聴前	6	(66.7)	9	(75.0)	14	(77.8)	29	(74.4)	1.000	
動画視聴後	7	(77.8)	10	(83.3)	13	(72.2)	30	(76.9)		
②女性	早期に発見できれば、治療が可能である	n=18		n=20		n=40		n=78		
	動画視聴前	11	(61.1)	16	(80.0)	22	(55.0)	49	(62.8)	0.424
	動画視聴後	11	(61.1)	16	(80.0)	26	(65.0)	53	(67.9)	
	HIVを含む性感染症の危険性について、常に意識しておく必要がある	n=18		n=20		n=40		n=78		
	動画視聴前	14	(77.8)	17	(85.0)	28	(70.0)	59	(75.6)	0.607
	動画視聴後	11	(61.1)	16	(80.0)	29	(72.5)	56	(71.8)	
	HIVや性感染症について、正しい知識をもっている	n=18		n=20		n=40		n=78		
	動画視聴前	4	(22.2)	4	(20.0)	11	(27.5)	19	(24.4)	0.344
	動画視聴後	4	(22.2)	6	(30.0)	13	(32.5)	23	(29.5)	
	HIVや性感染症について、正しい知識が必要である	n=18		n=20		n=40		n=78		
	動画視聴前	10	(55.6)	17	(85.0)	23	(57.5)	50	(64.1)	0.118
	動画視聴後	9	(50.0)	18	(90.0)	30	(75.0)	57	(73.1)	
予防のために、コンドームの常時所持が必要である	n=18		n=20		n=40		n=78			
動画視聴前	7	(38.9)	8	(40.0)	19	(47.5)	34	(43.6)	0.003	
動画視聴後	9	(50.0)	16	(80.0)	26	(65.0)	51	(65.4)		
予防には、コンドームの使用が有効である	n=18		n=20		n=40		n=78			
動画視聴前	13	(72.2)	17	(85.0)	31	(77.5)	61	(78.2)	1.000	
動画視聴後	11	(61.1)	17	(85.0)	33	(82.5)	61	(78.2)		
①+② 全体	早期に発見できれば、治療が可能である	n=27		n=32		n=58		n=117		
	動画視聴前	17	(63.0)	24	(75.0)	31	(53.4)	72	(61.5)	1.000
	動画視聴後	17	(63.0)	22	(68.8)	33	(56.9)	72	(61.5)	
	HIVを含む性感染症の危険性について、常に意識しておく必要がある	n=27		n=32		n=58		n=117		
	動画視聴前	21	(77.8)	26	(81.3)	42	(72.4)	89	(76.1)	0.383
	動画視聴後	17	(63.0)	25	(78.1)	42	(72.4)	84	(71.8)	
	HIVや性感染症について、正しい知識をもっている	n=27		n=32		n=58		n=117		
	動画視聴前	5	(18.5)	6	(18.8)	14	(24.1)	25	(21.4)	0.180
	動画視聴後	5	(18.5)	9	(28.1)	17	(29.3)	31	(26.5)	
	HIVや性感染症について、正しい知識が必要である	n=27		n=32		n=58		n=117		
	動画視聴前	15	(55.6)	23	(71.9)	29	(50.0)	67	(57.3)	0.011
	動画視聴後	14	(51.9)	25	(78.1)	41	(70.7)	80	(68.4)	
予防のために、コンドームの常時所持が必要である	n=27		n=32		n=58		n=117			
動画視聴前	10	(37.0)	9	(28.1)	25	(43.1)	44	(37.6)	0.000	
動画視聴後	13	(48.1)	24	(75.0)	36	(62.1)	73	(62.4)		
予防には、コンドームの使用が有効である	n=27		n=32		n=58		n=117			
動画視聴前	19	(70.4)	26	(81.3)	45	(77.6)	90	(76.9)	1.000	
動画視聴後	18	(66.7)	27	(84.4)	46	(79.3)	91	(77.8)		

表10. クリニック調査 考え

	20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
	n=7		n=11		n=6		n=24		
③G・B 男性	早期に発見できれば、治療が可能である								
	2	(28.6)	9	(81.8)	6	(100.0)	17	(70.8)	0.625
	4	(57.1)	9	(81.8)	6	(100.0)	19	(79.2)	
	HIVを含む性感染症の危険性について、常に意識しておく必要がある								
	4	(57.1)	10	(90.9)	4	(66.7)	18	(75.0)	0.250
	5	(71.4)	10	(90.9)	6	(100.0)	21	(87.5)	
	HIVや性感染症について、正しい知識をもっている								
	2	(28.6)	3	(27.3)	2	(33.3)	7	(29.2)	0.063
	4	(57.1)	5	(45.5)	3	(50.0)	12	(50.0)	
	HIVや性感染症について、正しい知識が必要である								
	4	(57.1)	9	(81.8)	5	(83.3)	18	(75.0)	1.000
	4	(57.1)	10	(90.9)	5	(83.3)	19	(79.2)	
	予防のために、コンドームの常時所持が必要である								
	3	(42.9)	7	(63.6)	5	(83.3)	15	(62.5)	0.250
	4	(57.1)	8	(72.7)	6	(100.0)	18	(75.0)	
	予防には、コンドームの使用が有効である								
	4	(57.1)	10	(90.9)	6	(100.0)	20	(83.3)	1.000
	4	(57.1)	11	(100.0)	6	(100.0)	21	(87.5)	
	n=34		n=43		n=64		n=141		
	早期に発見できれば、治療が可能である								
	19	(55.9)	33	(76.7)	37	(57.8)	89	(63.1)	0.832
	21	(61.8)	31	(72.1)	39	(60.9)	91	(64.5)	
	HIVを含む性感染症の危険性について、常に意識しておく必要がある								
	25	(73.5)	36	(83.7)	46	(71.9)	107	(75.9)	0.839
	22	(64.7)	35	(81.4)	48	(75.0)	105	(74.5)	
	HIVや性感染症について、正しい知識をもっている								
	7	(20.6)	9	(20.9)	16	(25.0)	32	(22.7)	0.019
	9	(26.5)	14	(32.6)	20	(31.3)	43	(30.5)	
①～③ 全体	HIVや性感染症について、正しい知識が必要である								
	19	(55.9)	32	(74.4)	34	(53.1)	85	(60.3)	0.007
	18	(52.9)	35	(81.4)	46	(71.9)	99	(70.2)	
	予防のために、コンドームの常時所持が必要である								
	13	(38.2)	16	(37.2)	30	(46.9)	59	(41.8)	0.000
	17	(50.0)	32	(74.4)	42	(65.6)	91	(64.5)	
	予防には、コンドームの使用が有効である								
	23	(67.6)	36	(83.7)	51	(79.7)	110	(78.0)	0.804
	22	(64.7)	38	(88.4)	52	(81.3)	112	(79.4)	

表10. クリニック調査 知識

		20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定	
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆この5年間で、20代の女性の梅毒感染者数が急増した。											
①男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=9		n=12		n=18		n=39		0.000
		そう思わない	4	(44.4)	8	(66.7)	7	(38.9)	19	(48.7)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	5	(55.6)	4	(33.3)	11	(61.1)	20	(51.3)	
		そう思わない	7	(77.8)	11	(91.7)	14	(77.8)	32	(82.1)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
②女性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=18		n=20		n=40		n=78		0.001
		そう思わない	11	(61.1)	13	(65.0)	31	(77.5)	55	(70.5)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	7	(38.9)	7	(35.0)	9	(22.5)	23	(29.5)	
		そう思わない	15	(83.3)	16	(80.0)	37	(92.5)	68	(87.2)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
①+② 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=27		n=32		n=58		n=117		0.000
		そう思わない	15	(55.6)	21	(65.6)	38	(65.5)	74	(63.2)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	12	(44.4)	11	(34.4)	20	(34.5)	43	(36.8)	
		そう思わない	22	(81.5)	27	(84.4)	51	(87.9)	100	(85.5)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
③G・B 男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=7		n=11		n=6		n=24		0.001
		そう思わない	2	(28.6)	5	(45.5)	3	(50.0)	10	(41.7)	
		わからない	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	4	(57.1)	6	(54.5)	3	(50.0)	13	(54.2)	
		そう思わない	5	(71.4)	10	(90.9)	6	(100.0)	21	(87.5)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
①~③ 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=34		n=43		n=64		n=141		0.000
		そう思わない	17	(50.0)	26	(60.5)	41	(64.1)	84	(59.6)	
		わからない	1	(2.9)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.7)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	16	(47.1)	17	(39.5)	23	(35.9)	56	(39.7)	
		そう思わない	27	(79.4)	37	(86.0)	57	(89.1)	121	(85.8)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
		わからない	7	(20.6)	6	(14.0)	7	(10.9)	20	(14.2)	

表10. クリニック調査 知識

		20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定	
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆性感染症に感染しても、症状が出ないことがある。											
①男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=9		n=12		n=18		n=39		0.125
		そう思わない	8	(88.9)	9	(75.0)	12	(66.7)	29	(74.4)	
		わからない	-	(0.0)	1	(8.3)	1	(5.6)	2	(5.1)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	1	(11.1)	2	(16.7)	5	(27.8)	8	(20.5)	
		そう思わない	8	(88.9)	10	(83.3)	16	(88.9)	34	(87.2)	
		わからない	-	(0.0)	1	(8.3)	1	(5.6)	2	(5.1)	
②女性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=18		n=20		n=40		n=78		0.070
		そう思わない	15	(83.3)	18	(90.0)	33	(82.5)	66	(84.6)	
		わからない	-	(0.0)	2	(10.0)	5	(12.5)	7	(9.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	3	(16.7)	-	(0.0)	2	(5.0)	5	(6.4)	
		そう思わない	16	(88.9)	18	(90.0)	38	(95.0)	72	(92.3)	
		わからない	1	(5.6)	1	(5.0)	1	(2.5)	3	(3.8)	
①+② 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=27		n=32		n=58		n=117		0.007
		そう思わない	23	(85.2)	27	(84.4)	45	(77.6)	95	(81.2)	
		わからない	-	(0.0)	3	(9.4)	6	(10.3)	9	(7.7)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	4	(14.8)	2	(6.3)	7	(12.1)	13	(11.1)	
		そう思わない	24	(88.9)	28	(87.5)	54	(93.1)	106	(90.6)	
		わからない	1	(3.7)	2	(6.3)	2	(3.4)	5	(4.3)	
③G・B 男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=7		n=11		n=6		n=24		1.000
		そう思わない	6	(85.7)	11	(100.0)	6	(100.0)	23	(95.8)	
		わからない	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
		そう思わない	6	(85.7)	11	(100.0)	6	(100.0)	23	(95.8)	
		わからない	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
①~③ 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=34		n=43		n=64		n=141		0.007
		そう思わない	29	(85.3)	38	(88.4)	51	(79.7)	118	(83.7)	
		わからない	1	(2.9)	3	(7.0)	6	(9.4)	10	(7.1)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	4	(11.8)	2	(4.7)	7	(10.9)	13	(9.2)	
		そう思わない	30	(88.2)	39	(90.7)	60	(93.8)	129	(91.5)	
		わからない	2	(5.9)	2	(4.7)	2	(3.1)	6	(4.3)	

表10. クリニック調査 知識

		20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定	
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆性感染症にかかっているとHIVに感染しやすい。											
①男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=9		n=12		n=18		n=39		0.453
		そう思わない	6	(66.7)	11	(91.7)	14	(77.8)	31	(79.5)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	3	(33.3)	1	(8.3)	4	(22.2)	8	(20.5)	
		そう思わない	8	(88.9)	11	(91.7)	15	(83.3)	34	(87.2)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
②女性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=18		n=20		n=40		n=78		0.000
		そう思わない	8	(44.4)	13	(65.0)	28	(70.0)	49	(62.8)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(2.5)	1	(1.3)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	10	(55.6)	7	(35.0)	11	(27.5)	28	(35.9)	
		そう思わない	15	(83.3)	19	(95.0)	38	(95.0)	72	(92.3)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(2.5)	1	(1.3)	
①+② 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=27		n=32		n=58		n=117		0.000
		そう思わない	14	(51.9)	24	(75.0)	42	(72.4)	80	(68.4)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(1.7)	1	(0.9)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	13	(48.1)	8	(25.0)	15	(25.9)	36	(30.8)	
		そう思わない	23	(85.2)	30	(93.8)	53	(91.4)	106	(90.6)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(1.7)	1	(0.9)	
③G・B 男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=7		n=11		n=6		n=24		1.000
		そう思わない	4	(57.1)	11	(100.0)	6	(100.0)	21	(87.5)	
		わからない	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	2	(28.6)	-	(0.0)	-	(0.0)	2	(8.3)	
		そう思わない	6	(85.7)	11	(100.0)	5	(83.3)	22	(91.7)	
		わからない	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
①~③ 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=34		n=43		n=64		n=141		0.000
		そう思わない	18	(52.9)	35	(81.4)	48	(75.0)	101	(71.6)	
		わからない	1	(2.9)	-	(0.0)	1	(1.6)	2	(1.4)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	15	(44.1)	8	(18.6)	15	(23.4)	38	(27.0)	
		そう思わない	29	(85.3)	41	(95.3)	58	(90.6)	128	(90.8)	
		わからない	1	(2.9)	-	(0.0)	1	(1.6)	2	(1.4)	
		4	(11.8)	2	(4.7)	5	(7.8)	11	(7.8)		

表10. クリニック調査 知識

		20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定	
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆性感染症には、感染すると不妊症になりやすくなるものがある。											
①男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=9		n=12		n=18		n=39		0.453
		そう思わない	7	(77.8)	11	(91.7)	14	(77.8)	32	(82.1)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	2	(22.2)	1	(8.3)	4	(22.2)	7	(17.9)	
		そう思わない	8	(88.9)	11	(91.7)	16	(88.9)	35	(89.7)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
②女性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=18		n=20		n=40		n=78		0.227
		そう思わない	16	(88.9)	18	(90.0)	34	(85.0)	68	(87.2)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	2	(11.1)	2	(10.0)	6	(15.0)	10	(12.8)	
		そう思わない	16	(88.9)	19	(95.0)	38	(95.0)	73	(93.6)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(2.5)	1	(1.3)	
①+② 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=27		n=32		n=58		n=117		0.096
		そう思わない	23	(85.2)	29	(90.6)	48	(82.8)	100	(85.5)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	4	(14.8)	3	(9.4)	10	(17.2)	17	(14.5)	
		そう思わない	24	(88.9)	30	(93.8)	54	(93.1)	108	(92.3)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(1.7)	1	(0.9)	
③G・B 男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=7		n=11		n=6		n=24		0.031
		そう思わない	6	(85.7)	7	(63.6)	3	(50.0)	16	(66.7)	
		わからない	1	(14.3)	1	(9.1)	-	(0.0)	2	(8.3)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	-	(0.0)	3	(27.3)	3	(50.0)	6	(25.0)	
		そう思わない	6	(85.7)	10	(90.9)	6	(100.0)	22	(91.7)	
		わからない	1	(14.3)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(4.2)	
①~③ 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=34		n=43		n=64		n=141		0.007
		そう思わない	29	(85.3)	36	(83.7)	51	(79.7)	116	(82.3)	
		わからない	1	(2.9)	1	(2.3)	-	(0.0)	2	(1.4)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	4	(11.8)	6	(14.0)	13	(20.3)	23	(16.3)	
		そう思わない	30	(88.2)	40	(93.0)	60	(93.8)	130	(92.2)	
		わからない	1	(2.9)	-	(0.0)	1	(1.6)	2	(1.4)	
		3	(8.8)	3	(7.0)	3	(4.7)	9	(6.4)		

表10. クリニック調査 知識

		20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定	
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆HIVの検査は、採血のみでできる。											
①男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=9 5 (55.6)		n=12 7 (58.3)		n=18 14 (77.8)		n=39 26 (66.7)		0.070
		そう思わない	1 (11.1)		- (0.0)		2 (11.1)		3 (7.7)		
		わからない	3 (33.3)		5 (41.7)		2 (11.1)		10 (25.6)		
	動画 視聴後	そう思う(正)	7 (77.8)		11 (91.7)		14 (77.8)		32 (82.1)		
		そう思わない	1 (11.1)		1 (8.3)		2 (11.1)		4 (10.3)		
		わからない	1 (11.1)		- (0.0)		2 (11.1)		3 (7.7)		
②女性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=18 12 (66.7)		n=20 16 (80.0)		n=40 33 (82.5)		n=78 61 (78.2)		0.022
		そう思わない	- (0.0)		1 (5.0)		4 (10.0)		5 (6.4)		
		わからない	6 (33.3)		3 (15.0)		3 (7.5)		12 (15.4)		
	動画 視聴後	そう思う(正)	15 (83.3)		18 (90.0)		37 (92.5)		70 (89.7)		
		そう思わない	- (0.0)		1 (5.0)		2 (5.0)		3 (3.8)		
		わからない	3 (16.7)		1 (5.0)		1 (2.5)		5 (6.4)		
①+② 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=27 17 (63.0)		n=32 23 (71.9)		n=58 47 (81.0)		n=117 87 (74.4)		0.001
		そう思わない	1 (3.7)		1 (3.1)		6 (10.3)		8 (6.8)		
		わからない	9 (33.3)		8 (25.0)		5 (8.6)		22 (18.8)		
	動画 視聴後	そう思う(正)	22 (81.5)		29 (90.6)		51 (87.9)		102 (87.2)		
		そう思わない	1 (3.7)		2 (6.3)		4 (6.9)		7 (6.0)		
		わからない	4 (14.8)		1 (3.1)		3 (5.2)		8 (6.8)		
③G・B 男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=7 6 (85.7)		n=11 8 (72.7)		n=6 4 (66.7)		n=24 18 (75.0)		0.031
		そう思わない	- (0.0)		1 (9.1)		2 (33.3)		3 (12.5)		
		わからない	1 (14.3)		2 (18.2)		- (0.0)		3 (12.5)		
	動画 視聴後	そう思う(正)	7 (100.0)		11 (100.0)		6 (100.0)		24 (100.0)		
		そう思わない	- (0.0)		- (0.0)		- (0.0)		- (0.0)		
		わからない	- (0.0)		- (0.0)		- (0.0)		- (0.0)		
①~③ 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=34 23 (67.6)		n=43 31 (72.1)		n=64 51 (79.7)		n=141 105 (74.5)		0.000
		そう思わない	1 (2.9)		2 (4.7)		8 (12.5)		11 (7.8)		
		わからない	10 (29.4)		10 (23.3)		5 (7.8)		25 (17.7)		
	動画 視聴後	そう思う(正)	29 (85.3)		40 (93.0)		57 (89.1)		126 (89.4)		
		そう思わない	1 (2.9)		2 (4.7)		4 (6.3)		7 (5.0)		
		わからない	4 (11.8)		1 (2.3)		3 (4.7)		8 (5.7)		

表10. クリニック調査 知識

		20代		30代		40歳以上		全体		p値 対応サンプル McNemar検定	
		n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
◆セックスの時、コンドームを使うように相手に働きかける(断る)セリフがイメージできる											
①男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=9		n=12		n=18		n=39		0.039
		そう思わない	6	(66.7)	8	(66.7)	12	(66.7)	26	(66.7)	
		わからない	-	(0.0)	1	(8.3)	1	(5.6)	2	(5.1)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	3	(33.3)	3	(25.0)	5	(27.8)	11	(28.2)	
		そう思わない	7	(77.8)	12	(100.0)	14	(77.8)	33	(84.6)	
		わからない	1	(11.1)	-	(0.0)	1	(5.6)	2	(5.1)	
②女性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=18		n=20		n=40		n=78		0.021
		そう思わない	12	(66.7)	16	(80.0)	36	(90.0)	64	(82.1)	
		わからない	1	(5.6)	-	(0.0)	2	(5.0)	3	(3.8)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	5	(27.8)	4	(20.0)	2	(5.0)	11	(14.1)	
		そう思わない	16	(88.9)	18	(90.0)	38	(95.0)	72	(92.3)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
①+② 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=27		n=32		n=58		n=117		0.001
		そう思わない	18	(66.7)	24	(75.0)	48	(82.8)	90	(76.9)	
		わからない	1	(3.7)	1	(3.1)	3	(5.2)	5	(4.3)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	8	(29.6)	7	(21.9)	7	(12.1)	22	(18.8)	
		そう思わない	23	(85.2)	30	(93.8)	52	(89.7)	105	(89.7)	
		わからない	1	(3.7)	-	(0.0)	1	(1.7)	2	(1.7)	
③G・B 男性	動画 視聴前	そう思う(正)	n=7		n=11		n=6		n=24		0.002
		そう思わない	5	(71.4)	4	(36.4)	3	(50.0)	12	(50.0)	
		わからない	2	(28.6)	1	(9.1)	-	(0.0)	3	(12.5)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	-	(0.0)	6	(54.5)	3	(50.0)	9	(37.5)	
		そう思わない	7	(100.0)	9	(81.8)	6	(100.0)	22	(91.7)	
		わからない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
①~③ 全体	動画 視聴前	そう思う(正)	n=34		n=43		n=64		n=141		0.000
		そう思わない	23	(67.6)	28	(65.1)	51	(79.7)	102	(72.3)	
		わからない	3	(8.8)	2	(4.7)	3	(4.7)	8	(5.7)	
	動画 視聴後	そう思う(正)	8	(23.5)	13	(30.2)	10	(15.6)	31	(22.0)	
		そう思わない	30	(88.2)	39	(90.7)	58	(90.6)	127	(90.1)	
		わからない	1	(2.9)	-	(0.0)	1	(1.6)	2	(1.4)	
		3	(8.8)	4	(9.3)	5	(7.8)	12	(8.5)		

性的指向と性自認の多様性に関する全国教員調査

研究代表者：日高 庸晴（宝塚大学看護学部 教授）

研究要旨

若者の性的指向と性自認の多様性を理解し HIV/AIDS 対策を推進させるためには、学校教育の場で性の多様性に関する教育を推進させながら男性同性間の HIV 予防教育も同時並行で実施していくことが効果的と思われる。そのためには教員自身が性的指向と性自認といったその多様性に関して適切に理解しておく必要があり、実態を明らかにすることが必要であると考えられる。研究代表者は 2011 年に 6 自治体約 6 千人の教員を対象に、教員の性的指向と性自認などの多様性への理解や知識、対応経験など明らかにする質問票調査を実施した。本研究はその後続研究として位置づけ同様の目的で実施した。

機縁法により北海道から九州までの 36 自治体（義務教育 31, 高等学校 5）が研究参加自治体となり無記名自記式質問票によるインターネット調査を実施した。研究参加を募る A4 版 1 枚の紙媒体による協力依頼文書を学校で配布し、研究参加は任意であり研究目的と方法に同意した者のみパソコンあるいはタブレットやスマートフォンから回答する仕組みとした。

配布数 67,960 件、回答数 22,392 件、有効回答数 21,634 件、有効回収率は 31.8%であった。平均年齢は 43.3 歳、20 代 18.7%、30 代 21.5%、40 代 21.1%、50 代 32.3%、60 歳以上 6.4%であった。回答者の自認する性別は男性 51.2%、女性 48.3%、その他 0.2%、選択しない 0.4%であった。現在の職は教諭が圧倒的に多く 68.2%、校長は 5.2%であった。主な結果は以下の通りである。

- ・LGBT に関連する用語として、LGBT、セクマイ・セクシュアルマイノリティ、ゲイ・レズビアン・ホモセクシュアル・性同一性障害、バイセクシュアル、トランスジェンダーは 8 割が知っていると回答した。
- ・「スカートをはきたがる男子児童生徒/スカートを嫌がる女子児童生徒がいた」32.3%、「同性愛と思われる男子児童生徒がいた」13.5%、「同性愛と思われる女子児童がいた」11.9%であった。
- ・児童生徒との関わり経験は、「不登校」が 86.8%、「いじめ被害」が 74.0%、「自傷行為」が 57.9%と上位を占め、LGBT については低率であった。
- ・教育現場で教える必要性は、「男女の体の違い」「第二次性徴」「妊娠・出産」といったこれまで学校でも取り組まれてきた項目に加えて、「薬物乱用」「性感染症」「HIV/AIDS」は 9 割を超える教員がその認識を示したが、「性別違和や性同一性障害」はそれを少し下回り、「同性愛」は最も低率で地域によっては 6 割後半台の認識であった。
- ・「同性愛」について授業に取り入れた経験は全体で 14.6%、「性同一性障害」は 15.5%であり、地域ブロック別に分析すれば西高東低であった。教える必要性を感じている教員が少なくとも 6 割は存在するにも関わらず、実際の教育現場の取組にはつながっていないことが示された。
- ・性的指向は選べるという認識を持つものは 47%、わからない者は 24.2%であり 7 割以上に誤解あるいは知識の不足があることがわかった。
- ・教員養成課程における学びとして「HIV/AIDS」は 30.2%と比較的低く、「性同一性障害」13.3%、「同性愛」12.4%とさらに低かった。
- ・文部科学省から発出されている性的指向と性自認に関する文書は、教育現場でほとんど読まれておら

ず、周知方法に工夫が求められることが示唆された。

A. 研究目的

HIV/STI 感染の流行がある男性同性間の若者の HIV/AIDS 対策を推進させるためには若者の多様性の理解が必要である。若者と一言で表してもその存在は多様であることを認識して、個別性に配慮した様々な取組が求められる。そのひとつに性的指向と性自認の多様性—セクシュアルマイノリティの存在に対する理解があるだろう。男性同性間における HIV 感染が集中するわが国において、流行状況に即した HIV 予防教育を教育現場でより推進させることが長年求められてきているが、MSM における HIV 感染拡大の現状を授業で十分に扱うことが出来ずにきたとも言えるだろう。筆者らによる MSM を対象にした行動疫学研究では、小中高の学齢期に男性同性間の HIV 予防に関する予防情報を得た者は一定割合に留まっていることが明らかになっている。

HIV 感染が男性同性間で起こっているという事実を学校教育で扱うことによって、MSM の当事者である彼らに性交開始年齢になる前に伝えていくことができるだろう。同時に、予防行動や検査受検行動を促進させるような教育が求められる。異性愛男女だけを対象にした予防教育を行うのではなく、教室の中には性的指向や性自認の多様性が実際にあり、多様な児童生徒の存在を教員自身が自覚したうえでの情報発信が必要である。

HIV 予防や健康教育という視点においても人権教育という視点においても、性的指向のみならず性自認や性別表現など性の多様性に関することを全般的に扱うことは、当事者児童生徒にとっては自己肯定感を育み自尊感情を養う機会になるであろうし、当事者ではない児童生徒にとっては多様性の理解と他者理解と尊重を学ぶ貴重な機会になるであろう。これらは HIV 予防教育を行う上での基盤になっていくと思われる。

筆者はこれらの視点から 2011 年～2013 年にかけて 6 自治体の教員（有効回答数 5,979 人）を対象に HIV/AIDS や他の課題に関する健康教育、性的指向や性自認、LGBTs など当事者児童生徒との関わり経験などについて無記名自記式質問票調

査を実施した。調査実施当時から現在までに同じような人数規模と同様の調査研究は実施されていない。本研究は 2011 年調査の後続研究として位置付けられるが、この間に文部科学省からの通知や文書が複数発出される等施策の変化もあり、性的指向と性自認の多様性に関する教員研修の実施や、授業での取組もはじまりつつある。よって本研究の目的は、よりよい HIV 予防教育の実現に資するために教員の性的指向と性自認などの多様性への理解や知識、対応経験などについて明らかにすることである。

B. 研究方法

研究参加自治体は、機縁法により以下の通り全国 36 自治体の教育委員会・校長会・校長協会・研究団体などを通じて研究参加を呼びかけ、研究参加の決定をした自治体の小学校・中学校・高等学校に勤務している教員（教諭・講師等）を対象とした。

義務教育（31 自治体）：

北海道・東北地域 3 市、関東信越地域 3 市、近畿地域 3 市、九州地域 22 市町村

高等学校（5 自治体）：

関東信越地域 1 県、近畿地域 2 県、四国 1 県、九州 1 県

調査実施手順

研究参加の内諾の得られた自治体の教員全員（67,960 人）に「性的指向と性自認の多様性に関する教員アンケート 2019 ご協力のお願（A4 版 1 枚）」を各学校の管理職や人権推進委員等を通じて配布、各自の校務パソコンあるいはスマートフォンやタブレット端末から回答する無記名自記式の質問票によるインターネット調査を実施した。調査実施にあたっては、学校ごとに回収率が算出できるように、学校固有の URL を付すと共に、スマートフォンやタブレット端末から回答する場合の利便性を高めるために QR コードも研究参加を募る文書に掲載した。回答は任意であり、回答者個人の回答内容が特定されることはないこ

と、個人情報を侵害することはなく調査結果は統計的処理のもとにまとめられることを事前に伝え、承諾のうえ回答する仕組みとした。

質問票は、基本属性として回答者自身の自認する性別、年齢、経験年数、勤務経験のある学校種別、現在の職名、LGBT 関連の用語に関する知識、LGBT 当事者であると思われる児童生徒の存在とその関わり経験、教育現場で教える必要があると思う内容と実際に授業で取り入れた内容・時間、取り入れなかった場合のその理由、性的指向や性自認の多様性に関する教員自身の態度、文部科学省からの通知の認識度、学校の取組として必要な内容、研修のニーズ等によって構成した。

調査実施機関は 2019 年 10 月 15 日～2020 年 3 月 31 日であり、研究計画は宝塚大学看護学部研究倫理委員会の審査・指針に基づき実施した。

C. 研究結果

基本属性 (表 1) :

研究参加を募る「ご協力のお願ひ」配布総数 67,960 件、回答数 22,392 件、有効回答数 21,634 件、有効回収率 31.8%であった。回収率は参加自治体によって幅があり、16%～74.5%であった。平均年齢は 43.3 歳 (SD=12.1)、20 代 18.7%、30 代 21.5%、40 代 21.1%、50 代 32.3%、60 歳以上 6.4%であった。回答者の自認する性別は男性 51.2%、女性 48.3%、その他 0.2%、選択しない 0.4%であった。現在の職は教諭が圧倒的に多く 68.2%、校長・副校長・教頭の管理職が 12.2%であった。

LGBT 関連の用語に関する知識 (表 2) :

全体の 8 割以上が「知っている」と答えた用語は LGBT、セクマイ・セクシュアルマイノリティ、ゲイ・レズビアン・ホモセクシュアル・性同一性障害、バイセクシュアル、トランスジェンダーであった。性的指向は 7 割弱、ジェンダーアイデンティティは 4 割とあまり知られていなかった。

当事者児童生徒の存在認識 (表 3～4) :

性別の違和を感じているであろう児童生徒の存在の認識について尋ねたところ、「スカートを

はきたがる男子児童生徒/スカートを嫌がる女子児童生徒がいた」32.3%、「自分の性別に違和感をもつ児童生徒がいた」31.3%、「男子(女子)だけでも男子(女子)の制服を着ることに抵抗を示す児童生徒がいた」25.5%であり、他の項目に比していずれの自治体においてもその割合が高かった。一方、「同性愛と思われる男子児童生徒がいた」13.5%、「同性愛と思われる女子児童がいた」11.9%であった。また、「同性愛について冗談や笑いのネタ等をする児童生徒がいた」36.4%、「同性愛について冗談や笑いのネタ等をされる児童生徒がいた」17.5%、「異性装について冗談や笑いのネタ等にしている児童生徒がいた」26.6%であった。

児童生徒と関わった内容 (表 5～6) :

児童生徒との関わりにおいて「不登校」が圧倒的にその比率が高く、全体で 86.8%の教員にその経験があり、次いで「いじめ被害」が 74.0%、「自傷行為」が 57.9%、「家庭内や恋人からの暴力(DV)」が 53.8%、「性別違和や性同一性障害」は 20.3%、「同性愛」は 9.0%であった。

校長だけに管理職として校内で報告を受けた経験を尋ねたが、「いじめ被害」91.9%、「不登校」93.3%、「DV」72.1%であり、「性別違和や性同一性障害」については 26.6%、「同性愛」は 4.9%であった。

教育現場で教える必要性 (表 7) :

「男女の体の違い」「第二次性徴」や「妊娠・出産」、「薬物乱用」「性感染症」「HIV/AIDS」はいずれも全体で 90%を超える教員が教える必要性があると考えており、項目によっては地域差も認められるが概ね同様の傾向であった。「性別違和や性同一性障害」は 85.7%、最も低率であったのは「同性愛」であり 74.7%であった。「同性愛」を教育現場で教える必要性の認識で 60%台であったのは北海道・東北地域であり、68.7%と最も低かった。

授業で取り入れた経験 (表 8～9) :

これまでに「同性愛」について授業に取り入れ

た経験は全体で 14.6%、北海道・東北で 8.7%、関東・甲信越で 11.7%、近畿 19.9%、四国・九州で 12.7%と明らかに西高東低であり北海道・東北地域に比して近畿圏は 2.2 倍であった。また、過去 3 年以内に取り入れた経験は全体で 10.7%、前述同様に近畿圏が最も高かった。いずれの地域においても 45 分～50 分の 1 時限を要したものは 2～3 割程度であり、5～10 分程度の時間で話題にしたことが取り入れたことがある者のうち 62.6%と大半を占めた。取り入れた授業は教科教育が全体の 38.8%であり次いでホームルームが 23.0%であった。一方、取り入れたことがない教員が大半であったが、その理由は「教える必要性を感じる機会がなかったから」が最多で 32.4%、「教えたいと思うが、教えにくい内容だから」31.5%であり「学習指導要領にかかれていないから」「教科書に書かれていないから」「教え方を習っていないから」「同性愛や性同一性障害についてよく知らないから」「保護者の意向がわからないから」を理由とする者は全体で 2 割程度であった（表 8）。

これまでに「性同一性障害」について授業に取り入れた経験は全体で 15.5%、前述の「同性愛」同様にその経験値は西高東低であった。また、「過去 3 年より前」より「過去 3 年以内」に取り入れた者が多かった。45 分～50 分の 1 時限を要した者は 35.3%であり、5～10 分程度の時間で話題にした者は 58.8%であった。取り入れた授業は教科教育が 34.3%、ホームルームが 25.4%と集中していた。取り入れなかった教員のその理由は「教える必要性を感じる機会がなかったから」が 31.8%、「教えたいと思うが、教えにくい内容だから」32.3%、その他の理由についても「同性愛」と同様の回答傾向であった。

性的指向や性自認の多様性に関する知識や態度（表 10～11）：

「同性愛は精神的な病気のひとつだと思う」は全体の 2.2%であったが、14.4%はわからないと回答しており、全体の 16.6%がこれに関する知識を有していないことがわかった。「同性愛者になるか異性愛者になるか、本人の希望によって選択

できると思う」と答えた者は全体の 46.9%であり、わからないは 24.2%、これらを合算すると 71.1%が性的指向を選択できると誤解あるいはその知識が不確かであると示された。また、「性同一性障害と同性愛の区別がつかない」ではそう思うとわからないで 34.3%、「性的指向と性自認の区別がよくわからない」という項目に対してそう思う、わからないと回答した者を合算した 56.3%に知識が浸透していないことがわかった。当事者児童生徒の各クラスにおける存在認識については、全体の 34.8%が「少なくともクラスに 1 人はいると思う」と回答しており、近畿では 4 割弱でありその認識が高かった。

指導法や対応策の学びの方法（表 12）：

教員養成課程（大学などの教育機関）のカリキュラム等での学びの機会がその後の教育実践において重要であると考えられるが、出身養成機関での学びが最も多かった内容は「HIV/AIDS」30.2%、「性感染症」28.8%であり、「性同一性障害」13.3%、「性暴力」12.6%、「同性愛」12.4%と、学生時代に「同性愛」に関する学びの機会が最も少ないことが示唆された。教員になってからの研修経験では、「同性愛」が 39.6%と最も低率であったが、他の内容については 4 割台であった。一方、本やインターネットなどによる独学は「HIV/AIDS」や「性感染症」で 5 割以上であったが、「性暴力」「同性愛」「性同一性障害」においても 4 割後半であり興味関心や必要に迫られての学びの機会を独自に確保したと推測できる。

文部科学省からの通知等の周知文書の認識（表 13、16）：

当該領域において 2015 年 4 月 30 日に文部科学省初等中等教育局児童生徒課から通知（性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について）が出され、マスコミ報道もされた画期的な行政通知であった。「読んだことがある」割合は全体で 17.5%、地域ブロック別では北海道・東北地域がもっとも高率であった。2016 年に発行されたリーフレット（性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細か

な対応等の実施について(教職員向け))は前年の通知の浸透状況とほぼ同様であり、全体で18.1%であった。さらに2017年にいじめ防止対策推進法に基づく方針の改定(いじめの防止等のための基本的な方針)に伴い文書を読んだことがある割合は57.7%と前述の文書より格段にその割合が高かった。

また、現在の職ごとのクロス集計によれば、文部科学省の2015年の「通知」を読んだことがある割合は校長が最も高く52.0%、教頭40.3%、副校長32.9%と比較的高く、教諭においては11.6%であった。2016年のリーフレットを読んだ割合もほぼ同様の傾向であり、校長53.6%、教頭42.3%、副校長34.5%、教諭は12.3%であった。2017年のいじめに関する基本方針を読んだ割合は、校長95.2%、副校長90.5%、教頭89.1%、教諭51.6%であり、いじめに関する文書は極めて高率に読まれていたことが明らかになった。

D. 考察

2011~13年実施の先行研究に比して現在では学校現場がどのような変化があるのであろうかという疑問から研究の着想とその実施の必要性を感じた本研究であるが、全国36自治体からの回答を得ることが出来た。2015年4月に文部科学省通知が発出され、11月には東京都渋谷区と世田谷区で同性パートナー登録制度が開始と、わが国においてもLGBTを取り囲む環境にこの間変化があった。LGBTブームともいえるほどに新聞・雑誌・テレビ等のマスメディアにおける報道も激増した。また、2016年に文部科学省から教員向けリーフレットが発行され周知されたことや、2017年にいじめ防止等のための基本的な方針が改定され性的指向と性自認の多様性に言及されたり教員研修の実施回数が各地で増加したりした。これらを反映した結果、36自治体の研究参加につながったものと思われる。2011年調査の際はわずか6自治体であったことから、この間の世相の変化の影響とも考えられるだろう。一方、有効回収率が自治体によってかなり幅がある結果となった。最も高率で74.5%、低率で16%と開きがあった。都市部と地方など人口規模の違いに起因する様々な

要因や、調査実施前後に「Webではなく紙媒体の質問票で回答したい」という多くの声が寄せられた。URL入力 of 煩雑さやパソコン操作に慣れていない等の理由であると考えられるが、調査実施自治体の数と対象人数を考慮するとWeb意外の方法での実施は難しかったと考えられる。回収率が低率の場合「意識の高い人に偏って回答したのではないか」といった指摘がされる場合があるが、回答結果を見れば必ずしもそうとは言えない結果になっている。集計結果の解釈には慎重に期しながら本研究で得られた結果を教育現場の変化に資するよう、最大限活用していくことが求められる。

LGBT関連用語の浸透度合いは一般的に流通するようになった用語は比較的知られていることが明らかになったが、性的指向の英語表記であるセクシュアルオリエンテーションや、自らの性自認を男性でも女性でもないあるいはその両方である等といったXジェンダー(エックスジェンダー)は18.7%、恋愛感情や性愛の感情がどの性別に対しても向かないというアセクシュアルは9.0%とLGBTsの当事者においては使われることが多い用語であっても教員にはほとんど知られていないことがわかった。

児童生徒の存在については、圧倒的に性別違和や性同一性障害かもしれない場合に教員が気付いていることが示された。人口規模から言えばトランスジェンダーの存在は0.5%、レズビア・ゲイ・バイセクシュアルはその10~11倍である5%強と国内研究によって示されているが、学校現場で教員の目につくセクシュアルマイノリティの存在は圧倒的に「性同一性障害かもしれない」児童生徒であると言えるだろう。一方、同性愛と思われる男子児童や女子児童の存在は10%前半台であり、性自認やそれに関連する性別表現のありように対して教員は目につきやすいが、性的指向についてはなかなか気付きづらい現状があることがわかった。人口規模が少数である者に圧倒的に注視しているとも言えるわが国の教育現場のありようも大変興味深い。

教員が直接関わったことがある児童生徒の案件について尋ねたところ、「不登校」が圧倒的に高

く8割を超え、「自傷行為」は57.9%であり「性別違和や性同一性障害」や「同性愛」は4.9%と低率であった。多くの自治体の不登校率は3%前後であると推定されているがLGBTsを対象にした全国インターネット調査の10代の当事者の不登校率はレズビアン30.4%、ゲイ男性28.8%、バイセクシュアル男性24.6%、バイセクシュアル女性31.6%、トランス女性57.1%、トランス男性58.3%という結果を見れば全国の教員が既に関わっている「不登校」の児童生徒の中にも必ずやLGBTの存在があるだろうが、そのことに自覚的である教員はどのくらいであろうか。自傷行為においても首都圏の男子中高生のその経験率は7.5%と示す研究がある一方、前述の当事者を対象にした全国インターネット調査では10代ゲイ男性で16.9%、バイセクシュアル男性で15.3%と首都圏男子中高生の2倍であることが再現性のある結果として複数の調査で示されている。さらに10代のレズビアンでは47.8%、バイセクシュアル女性では42.1%、トランス女性で42.9%、トランス男性で50.0%であり「不登校」同様に「自傷行為」の経験がある児童生徒の中に一定数のLGBTsの存在がいることと思われる。

授業で教える必要性について「男女の体の違い」「二次性徴」「薬物乱用」「性感染症「HIV/AIDS」など伝統的とも言える健康教育課題については圧倒的多数である9割がその必要性を認識していたが、「性別違和や性同一性障害」はそれらをやや下回り85.7%、「同性愛」はさらに低く74.7%であった。2011年調査では同性愛62.8%、性同一性障害73.0%でありこれと比較するとそれぞれ10%程度その必要性の認識は上昇しているが、他の項目に比して低く、同性愛が最も低率であることは何ら変化がなかった。

授業で取り入れた経験は2011年調査では13.7%であったが本研究では14.6%とほぼ同程度であり、教える必要性の認識割合は微増であることがわかったが、実際に授業で取り入れた割合はほぼ変化がなかったと言える。また、授業で取り入れなかった理由の最上位であった「教える必要性を感じる機会がなかったから」は2011年調査でも同じ結果であった。

性的指向や性自認に関する知識や態度についてだが、今なお同性愛を精神疾患であると認識している割合は2011年調査の5.7%と比較すれば3.5%減少となりわからないの回答割合も半減していた。一方、性的指向は選択できるという捉えは以前とほとんど変化がなかった。また、教員の3人に1人は、少なくともクラスに1人は性的マイノリティの児童生徒が存在していると認識していることがわかった。これらの結果が示すことは、当事者の児童生徒が教室にいることを想定していながら、授業などの取組がほとんどされていないということであろう。

研修機会の確保を

教員養成機関での学びの割合も低く、性的指向や性自認に係る学びは12-13%と低迷しており2015年に発出された文科省通知を読んでいた者は全体で17.5%に留まり、2016年のリーフレットも18%にしか読まれておらず周知文書の浸透度合いは極めて低率と言わざるを得ない。文書の発出はとても意義深い教育委員会から管理職を通じて、教員に対してその周知にあたりより一層の積極的な働き掛けが急務である。また取組の中であれば良いと思う最上位に教職員研修が位置しており8割近くがそう答え、実際に現職研修の一環として性的指向と性自認に関する研修があれば67%が参加の意向を示し、教員免許を取得する学生時代にこれらに関する授業があれば6割が受講したかったと回答している。

調査手法について

調査実施中に寄せられた問合せの多くが、URLの入力の方法であったりパソコンの操作方法であったり多数であった。また、実施協力自治体とは事前に打ち合わせと調整をしていたがそれぞれの保有するサーバのセキュリティの厳しさによって、アンケートサイトへのアクセスが一時的に阻害される事態も発生した。「紙のアンケートであれば回答しやすかった」といったご意見も多数あり、学校現場のICT環境には自治体によって差があり、パソコンやスマートフォンの端末の使用勝手も個人差があることから、調査手法とし

て課題を残した。質問票に容易にアクセス出来なければそれが、回答しづらさといった研究参加の阻害要因になってしまったものと思われる。しかしながら北から南まで全国にまたがる 36 の自治体による研究参加となり、コスト面を考慮すると Web 調査が最も妥当であったとも言える。

E. 結論

国内最大規模の性的指向と性自認の多様性に関する教員調査を実施した。2011 年調査の後続研究として実施したことにより、その経年変化と現状を把握することが出来た。HIV 予防啓発をはじめとして健康教育の実施にあたっては、性的指向と性自認の多様性に配慮した教育が求められその基礎資料の整備につながった。

F. 研究発表

1. 論文発表

(和文)

1. 日高庸晴：ゲイ・バイセクシュアル男性の生きづらさと健康リスク行動，モダンフィジシャン，新興医学出版社，2019 年 5 月号：475-477，2019.
2. 日高庸晴：性指向と性自認の多様性を知る－LGBTs の生徒の存在に配慮するために，英語教育，大修館書店，68(1)：76-77，2019.
3. 日高庸晴：社会調査が示す LGBTs における DV と性暴力被害の現状，地域保健，東京法規出版，2019 年 9 月号：28-31，2019.
4. 日高庸晴監著：LGBTQ をはじめとするセクシュアルマイノリティ授業，少年写真新聞社，2019.
5. 日高庸晴：多様性が尊重される社会を，手話通訳問題研究，全国手話通訳問題研究所，151：6-7，2020.
6. 日高庸晴：LGBTs の学齢期におけるライフイベントとメンタルヘルス，ストレス科学，日本ストレス学会，印刷中，2020.

2. 学会発表

(国内)

1. 日高庸晴：性的指向と性自認を視野に入れた教育が必要になる根拠：第 38 回日本思春期学会総会・学術集会 シンポジウム (2)「LGBT を人権の視点からどう教えるか」，2019，東京.

2. 合田友美，日高庸晴：クリニックで性感染症検査を受検した男女の性感染症に関する認識－CSW と非 CSW の違いに着目して－：第 38 回日本思春期学会学術集会，2019，東京.

(海外)

1. Tomomi Goda, Yasuharu Hikada: Reasons for condom use or nonuse among individuals undergoing sexually transmitted infection examination in Japan: The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2020, Osaka.

G. 引用

なし

表1. 基本属性

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■年齢の平均											
有効数	2,639		4,773		7,725		6,497		21,634		
欠損値	-		-		-		-		-		
平均値	43.41		42.19		42.40		45.03		43.27		
中央値	45.00		42.00		42.00		48.00		45.00		
標準偏差	11.816		12.053		12.301		11.634		12.050		
最小値	21		21		21		20		20		
最大値	65		69		73		87		87		
■年代											
20代	475	(18.0)	982	(20.6)	1,569	(20.3)	1,028	(15.8)	4,054	(18.7)	0.000
30代	545	(20.7)	1,133	(23.7)	1,931	(25.0)	1,042	(16.0)	4,651	(21.5)	
40代	611	(23.2)	1,007	(21.1)	1,409	(18.2)	1,541	(23.7)	4,568	(21.1)	
50代	869	(32.9)	1,336	(28.0)	2,297	(29.7)	2,483	(38.2)	6,985	(32.3)	
60歳以上	139	(5.3)	315	(6.6)	519	(6.7)	403	(6.2)	1,376	(6.4)	
■Q1. あなたの自認する性別をお聞かせください。											
男	1,403	(53.2)	2,325	(48.7)	4,298	(55.6)	3,040	(46.8)	11,066	(51.2)	0.000
女	1,211	(45.9)	2,420	(50.7)	3,383	(43.8)	3,437	(52.9)	10,451	(48.3)	
その他	8	(0.3)	6	(0.1)	16	(0.2)	5	(0.1)	35	(0.2)	
選択しない	17	(0.6)	22	(0.5)	28	(0.4)	15	(0.2)	82	(0.4)	
■Q3. あなたの2019年9月末現在での、教員としての経験年数をお聞かせください。*講師歴も含む。											
5年未満	362	(13.7)	728	(15.3)	1,169	(15.1)	866	(13.3)	3,125	(14.4)	0.000
5年以上9年未満	357	(13.5)	824	(17.3)	1,544	(20.0)	790	(12.2)	3,515	(16.2)	
10年以上14年未満	294	(11.1)	695	(14.6)	1,041	(13.5)	614	(9.5)	2,644	(12.2)	
15年以上19年未満	262	(9.9)	535	(11.2)	597	(7.7)	521	(8.0)	1,915	(8.9)	
20年以上24年未満	273	(10.3)	417	(8.7)	549	(7.1)	669	(10.3)	1,908	(8.8)	
25年以上29年未満	348	(13.2)	431	(9.0)	801	(10.4)	958	(14.7)	2,538	(11.7)	
30年以上34年未満	423	(16.0)	624	(13.1)	1,072	(13.9)	1,227	(18.9)	3,346	(15.5)	
35年以上39年未満	273	(10.3)	430	(9.0)	802	(10.4)	758	(11.7)	2,263	(10.5)	
40年以上	42	(1.6)	81	(1.7)	142	(1.8)	82	(1.3)	347	(1.6)	
無回答・無効回答	5	(0.2)	8	(0.2)	8	(0.1)	12	(0.2)	33	(0.2)	
■Q3. あなたの2019年9月末現在での、教員としての経験年数をお聞かせください。*講師歴も含む。											
3年未満	202	(7.7)	368	(7.7)	595	(7.7)	431	(6.6)	1,596	(7.4)	0.000
3年以上10年未満	517	(19.6)	1,184	(24.8)	2,118	(27.4)	1,225	(18.9)	5,044	(23.3)	
10年以上20年未満	556	(21.1)	1,230	(25.8)	1,638	(21.2)	1,135	(17.5)	4,559	(21.1)	
20年以上30年未満	621	(23.5)	848	(17.8)	1,350	(17.5)	1,627	(25.0)	4,446	(20.6)	
30年以上	738	(28.0)	1,135	(23.8)	2,016	(26.1)	2,067	(31.8)	5,956	(27.5)	
無回答・無効回答	5	(0.2)	8	(0.2)	8	(0.1)	12	(0.2)	33	(0.2)	
■Q4. 現在の勤務校を含め、あなたがこれまでに勤務した経験のある学校はどれに当てはまりますか？(複数回答)											
小学校	1,702	(64.5)	2,667	(55.9)	2,359	(30.5)	3,220	(49.6)	9,948	(46.0)	0.000
中学校	998	(37.8)	1,676	(35.1)	1,960	(25.4)	2,321	(35.7)	6,955	(32.1)	0.000
義務教育学校(小中)	9	(0.3)	84	(1.8)	89	(1.2)	245	(3.8)	427	(2.0)	0.000
中等教育学校(中高一貫)	25	(0.9)	30	(0.6)	227	(2.9)	190	(2.9)	472	(2.2)	0.000
全日制高等学校	175	(6.6)	688	(14.4)	3,068	(39.7)	1,487	(22.9)	5,418	(25.0)	0.000
定時制高等学校	49	(1.9)	220	(4.6)	806	(10.4)	307	(4.7)	1,382	(6.4)	0.000
通信制高等学校	5	(0.2)	32	(0.7)	107	(1.4)	61	(0.9)	205	(0.9)	0.000
特別支援学校	158	(6.0)	726	(15.2)	1,513	(19.6)	1,042	(16.0)	3,439	(15.9)	0.000
私立小・中学校	1	(0.0)	22	(0.5)	66	(0.9)	16	(0.2)	105	(0.5)	0.000
私立中学・高等学校	46	(1.7)	126	(2.6)	684	(8.9)	147	(2.3)	1,003	(4.6)	0.000
その他	53	(2.0)	49	(1.0)	174	(2.3)	77	(1.2)	353	(1.6)	0.000
■Q5. 現在のあなたの職を教えてください。											
校長	189	(7.2)	301	(6.3)	330	(4.3)	304	(4.7)	1,124	(5.2)	0.000
副校長	4	(0.2)	226	(4.7)	2	(0.0)	20	(0.3)	252	(1.2)	
教頭	232	(8.8)	157	(3.3)	448	(5.8)	426	(6.6)	1,263	(5.8)	
主幹教諭・総括教諭	30	(1.1)	393	(8.2)	277	(3.6)	59	(0.9)	759	(3.5)	
指導教諭	4	(0.2)	27	(0.6)	25	(0.3)	153	(2.4)	209	(1.0)	
教諭	1,928	(73.1)	3,277	(68.7)	5,148	(66.6)	4,403	(67.8)	14,756	(68.2)	
養護教諭	164	(6.2)	174	(3.6)	306	(4.0)	263	(4.0)	907	(4.2)	
養護助教	8	(0.3)	12	(0.3)	11	(0.1)	63	(1.0)	94	(0.4)	
栄養教諭	33	(1.3)	27	(0.6)	38	(0.5)	36	(0.6)	134	(0.6)	
講師(常勤)	45	(1.7)	177	(3.7)	1,088	(14.1)	758	(11.7)	2,068	(9.6)	
講師(養護)	2	(0.1)	2	(0.0)	52	(0.7)	12	(0.2)	68	(0.3)	

表2. 用語の知識

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q6_ 次の用語を知っていますか？											
LGBT											
知っている	2,332	(88.4)	4,256	(89.2)	7,041	(91.1)	5,950	(91.6)	19,579	(90.5)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	229	(8.7)	384	(8.0)	536	(6.9)	426	(6.6)	1,575	(7.3)	
知らない	72	(2.7)	127	(2.7)	131	(1.7)	97	(1.5)	427	(2.0)	
無回答・無効回答	6	(0.2)	6	(0.1)	17	(0.2)	24	(0.4)	53	(0.2)	

セクマイ・セクシュアルマイノリティ											
知っている	1,998	(75.7)	3,785	(79.3)	6,411	(83.0)	5,231	(80.5)	17,425	(80.5)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	518	(19.6)	858	(18.0)	1,156	(15.0)	1,144	(17.6)	3,676	(17.0)	
知らない	111	(4.2)	119	(2.5)	142	(1.8)	109	(1.7)	481	(2.2)	
無回答・無効回答	12	(0.5)	11	(0.2)	16	(0.2)	13	(0.2)	52	(0.2)	

ゲイ											
知っている	2,512	(95.2)	4,533	(95.0)	7,387	(95.6)	6,190	(95.3)	20,622	(95.3)	0.024
聞いたことがあるが詳しく知らない	112	(4.2)	224	(4.7)	298	(3.9)	287	(4.4)	921	(4.3)	
知らない	1	(0.0)	2	(0.0)	-	(0.0)	4	(0.1)	7	(0.0)	
無回答・無効回答	14	(0.5)	14	(0.3)	40	(0.5)	16	(0.2)	84	(0.4)	

レズビアン											
知っている	2,516	(95.3)	4,556	(95.5)	7,382	(95.6)	6,207	(95.5)	20,661	(95.5)	0.155
聞いたことがあるが詳しく知らない	93	(3.5)	182	(3.8)	262	(3.4)	245	(3.8)	782	(3.6)	
知らない	-	(0.0)	3	(0.1)	5	(0.1)	3	(0.0)	11	(0.1)	
無回答・無効回答	30	(1.1)	32	(0.7)	76	(1.0)	42	(0.6)	180	(0.8)	

ホモセクシュアル											
知っている	2,269	(86.0)	4,061	(85.1)	6,559	(84.9)	5,542	(85.3)	18,431	(85.2)	0.002
聞いたことがあるが詳しく知らない	313	(11.9)	647	(13.6)	1,028	(13.3)	875	(13.5)	2,863	(13.2)	
知らない	19	(0.7)	32	(0.7)	45	(0.6)	37	(0.6)	133	(0.6)	
無回答・無効回答	38	(1.4)	33	(0.7)	93	(1.2)	43	(0.7)	207	(1.0)	

性的指向											
知っている	1,813	(68.7)	3,186	(66.8)	5,474	(70.9)	4,547	(70.0)	15,020	(69.4)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	645	(24.4)	1,260	(26.4)	1,772	(22.9)	1,618	(24.9)	5,295	(24.5)	
知らない	151	(5.7)	299	(6.3)	393	(5.1)	274	(4.2)	1,117	(5.2)	
無回答・無効回答	30	(1.1)	28	(0.6)	86	(1.1)	58	(0.9)	202	(0.9)	

ホモフォビア											
知っている	365	(13.8)	691	(14.5)	1,192	(15.4)	850	(13.1)	3,098	(14.3)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	639	(24.2)	1,242	(26.0)	2,031	(26.3)	1,679	(25.8)	5,591	(25.8)	
知らない	1,602	(60.7)	2,820	(59.1)	4,431	(57.4)	3,933	(60.5)	12,786	(59.1)	
無回答・無効回答	33	(1.3)	20	(0.4)	71	(0.9)	35	(0.5)	159	(0.7)	

バイセクシュアル											
知っている	2,248	(85.2)	3,974	(83.3)	6,565	(85.0)	5,310	(81.7)	18,097	(83.7)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	310	(11.7)	671	(14.1)	961	(12.4)	1,029	(15.8)	2,971	(13.7)	
知らない	53	(2.0)	98	(2.1)	120	(1.6)	122	(1.9)	393	(1.8)	
無回答・無効回答	28	(1.1)	30	(0.6)	79	(1.0)	36	(0.6)	173	(0.8)	

トランスジェンダー											
知っている	2,093	(79.3)	3,803	(79.7)	6,371	(82.5)	5,227	(80.5)	17,494	(80.9)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	450	(17.1)	854	(17.9)	1,161	(15.0)	1,141	(17.6)	3,606	(16.7)	
知らない	62	(2.3)	86	(1.8)	99	(1.3)	83	(1.3)	330	(1.5)	
無回答・無効回答	34	(1.3)	30	(0.6)	94	(1.2)	46	(0.7)	204	(0.9)	

ジェンダーアイデンティティ											
知っている	1,064	(40.3)	2,021	(42.3)	3,575	(46.3)	2,722	(41.9)	9,382	(43.4)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	909	(34.4)	1,699	(35.6)	2,644	(34.2)	2,453	(37.8)	7,705	(35.6)	
知らない	629	(23.8)	1,019	(21.3)	1,397	(18.1)	1,275	(19.6)	4,320	(20.0)	
無回答・無効回答	37	(1.4)	34	(0.7)	109	(1.4)	47	(0.7)	227	(1.0)	

セクシュアルオリエンテーション											
知っている	186	(7.0)	402	(8.4)	668	(8.6)	526	(8.1)	1,782	(8.2)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	521	(19.7)	1,094	(22.9)	1,767	(22.9)	1,579	(24.3)	4,961	(22.9)	
知らない	1,910	(72.4)	3,258	(68.3)	5,246	(67.9)	4,367	(67.2)	14,781	(68.3)	
無回答・無効回答	22	(0.8)	19	(0.4)	44	(0.6)	25	(0.4)	110	(0.5)	

表2. 用語の知識

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
性同一性障害											
知っている	2,430	(92.1)	4,421	(92.6)	7,191	(93.1)	6,049	(93.1)	20,091	(92.9)	0.020
聞いたことがあるが詳しく知らない	176	(6.7)	322	(6.7)	459	(5.9)	405	(6.2)	1,362	(6.3)	
知らない	7	(0.3)	5	(0.1)	9	(0.1)	11	(0.2)	32	(0.1)	
無回答・無効回答	26	(1.0)	25	(0.5)	66	(0.9)	32	(0.5)	149	(0.7)	
X(エックス)ジェンダー											
知っている	489	(18.5)	888	(18.6)	1,518	(19.7)	1,157	(17.8)	4,052	(18.7)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	665	(25.2)	1,320	(27.7)	2,182	(28.2)	1,829	(28.2)	5,996	(27.7)	
知らない	1,463	(55.4)	2,545	(53.3)	3,958	(51.2)	3,477	(53.5)	11,443	(52.9)	
無回答・無効回答	22	(0.8)	20	(0.4)	67	(0.9)	34	(0.5)	143	(0.7)	
アセクシュアル											
知っている	219	(8.3)	452	(9.5)	748	(9.7)	521	(8.0)	1,940	(9.0)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	414	(15.7)	874	(18.3)	1,436	(18.6)	1,208	(18.6)	3,932	(18.2)	
知らない	1,988	(75.3)	3,430	(71.9)	5,485	(71.0)	4,731	(72.8)	15,634	(72.3)	
無回答・無効回答	18	(0.7)	17	(0.4)	56	(0.7)	37	(0.6)	128	(0.6)	
クイア											
知っている	138	(5.2)	244	(5.1)	450	(5.8)	259	(4.0)	1,091	(5.0)	0.000
聞いたことがあるが詳しく知らない	226	(8.6)	510	(10.7)	834	(10.8)	687	(10.6)	2,257	(10.4)	
知らない	2,265	(85.8)	4,006	(83.9)	6,412	(83.0)	5,535	(85.2)	18,218	(84.2)	
無回答・無効回答	10	(0.4)	13	(0.3)	29	(0.4)	16	(0.2)	68	(0.3)	

表3. 児童生徒の存在意識

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q7_これまでのあなたの教員生活のなかで、以下のような児童生徒がいましたか？											
男子(女子)だけれども男子(女子)トイレを使いたがらない児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	136	(5.2)	254	(5.3)	556	(7.2)	210	(3.2)	1,156	(5.3)	0.000
過去3年より前にいた	96	(3.6)	249	(5.2)	478	(6.2)	269	(4.1)	1,092	(5.0)	
いなかった	2,154	(81.6)	3,739	(78.3)	5,641	(73.0)	5,139	(79.1)	16,673	(77.1)	
わからない	251	(9.5)	530	(11.1)	1,045	(13.5)	874	(13.5)	2,700	(12.5)	
無回答・無効回答	2	(0.1)	1	(0.0)	5	(0.1)	5	(0.1)	13	(0.1)	
健康診断の受診に抵抗感や不安を示す児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	209	(7.9)	366	(7.7)	687	(8.9)	417	(6.4)	1,679	(7.8)	0.000
過去3年より前にいた	149	(5.6)	361	(7.6)	560	(7.2)	508	(7.8)	1,578	(7.3)	
いなかった	1,966	(74.5)	3,370	(70.6)	5,069	(65.6)	4,525	(69.6)	14,930	(69.0)	
わからない	310	(11.7)	671	(14.1)	1,394	(18.0)	1,037	(16.0)	3,412	(15.8)	
無回答・無効回答	5	(0.2)	5	(0.1)	15	(0.2)	10	(0.2)	35	(0.2)	
自分の性別に違和感をもつ児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	404	(15.3)	687	(14.4)	1,606	(20.8)	750	(11.5)	3,447	(15.9)	0.000
過去3年より前にいた	315	(11.9)	787	(16.5)	1,247	(16.1)	991	(15.3)	3,340	(15.4)	
いなかった	1,479	(56.0)	2,407	(50.4)	3,437	(44.5)	3,365	(51.8)	10,688	(49.4)	
わからない	429	(16.3)	873	(18.3)	1,407	(18.2)	1,382	(21.3)	4,091	(18.9)	
無回答・無効回答	12	(0.5)	19	(0.4)	28	(0.4)	9	(0.1)	68	(0.3)	
男子(女子)だけれども男子(女子)の制服を着ることに抵抗を示す児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	321	(12.2)	632	(13.2)	1,110	(14.4)	579	(8.9)	2,642	(12.2)	0.000
過去3年より前にいた	303	(11.5)	668	(14.0)	1,040	(13.5)	872	(13.4)	2,883	(13.3)	
いなかった	1,683	(63.8)	2,803	(58.7)	4,393	(56.9)	4,118	(63.4)	12,997	(60.1)	
わからない	311	(11.8)	651	(13.6)	1,133	(14.7)	907	(14.0)	3,002	(13.9)	
無回答・無効回答	21	(0.8)	19	(0.4)	49	(0.6)	21	(0.3)	110	(0.5)	
スカートをはきたがる男子児童生徒/スカートを嫌がる女子児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	445	(16.9)	857	(18.0)	1,318	(17.1)	725	(11.2)	3,345	(15.5)	0.000
過去3年より前にいた	440	(16.7)	907	(19.0)	1,188	(15.4)	1,110	(17.1)	3,645	(16.8)	
いなかった	1,487	(56.3)	2,468	(51.7)	4,183	(54.1)	3,841	(59.1)	11,979	(55.4)	
わからない	260	(9.9)	536	(11.2)	1,012	(13.1)	804	(12.4)	2,612	(12.1)	
無回答・無効回答	7	(0.3)	5	(0.1)	24	(0.3)	17	(0.3)	53	(0.2)	

表4. 児童生徒の存在意識

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
同性愛と思われる男子児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	128	(4.9)	291	(6.1)	676	(8.8)	256	(3.9)	1,351	(6.2)	0.000
過去3年より前にいた	164	(6.2)	329	(6.9)	676	(8.8)	411	(6.3)	1,580	(7.3)	
いなかった	1,556	(59.0)	2,567	(53.8)	3,718	(48.1)	3,638	(56.0)	11,479	(53.1)	
わからない	787	(29.8)	1,564	(32.8)	2,605	(33.7)	2,175	(33.5)	7,131	(33.0)	
無回答・無効回答	4	(0.2)	22	(0.5)	50	(0.6)	17	(0.3)	93	(0.4)	
同性愛と思われる女子児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	151	(5.7)	254	(5.3)	669	(8.7)	285	(4.4)	1,359	(6.3)	0.000
過去3年より前にいた	97	(3.7)	245	(5.1)	580	(7.5)	291	(4.5)	1,213	(5.6)	
いなかった	1,567	(59.4)	2,619	(54.9)	3,728	(48.3)	3,660	(56.3)	11,574	(53.5)	
わからない	807	(30.6)	1,641	(34.4)	2,719	(35.2)	2,247	(34.6)	7,414	(34.3)	
無回答・無効回答	17	(0.6)	14	(0.3)	29	(0.4)	14	(0.2)	74	(0.3)	
性自認について悩んでいる男子児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	148	(5.6)	177	(3.7)	555	(7.2)	217	(3.3)	1,097	(5.1)	0.000
過去3年より前にいた	130	(4.9)	264	(5.5)	475	(6.1)	299	(4.6)	1,168	(5.4)	
いなかった	1,592	(60.3)	2,695	(56.5)	4,057	(52.5)	3,732	(57.4)	12,076	(55.8)	
わからない	744	(28.2)	1,621	(34.0)	2,577	(33.4)	2,222	(34.2)	7,164	(33.1)	
無回答・無効回答	25	(0.9)	16	(0.3)	61	(0.8)	27	(0.4)	129	(0.6)	
性自認について悩んでいる女子児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	226	(8.6)	353	(7.4)	857	(11.1)	400	(6.2)	1,836	(8.5)	0.000
過去3年より前にいた	120	(4.5)	282	(5.9)	589	(7.6)	378	(5.8)	1,369	(6.3)	
いなかった	1,540	(58.4)	2,543	(53.3)	3,785	(49.0)	3,555	(54.7)	11,423	(52.8)	
わからない	732	(27.7)	1,586	(33.2)	2,453	(31.8)	2,140	(32.9)	6,911	(31.9)	
無回答・無効回答	21	(0.8)	9	(0.2)	41	(0.5)	24	(0.4)	95	(0.4)	
同性愛について冗談や笑いのネタ等をする児童生徒がいた(する側)											
過去3年以内にいた	604	(22.9)	1,164	(24.4)	1,750	(22.7)	1,168	(18.0)	4,686	(21.7)	0.000
過去3年より前にいた	435	(16.5)	753	(15.8)	1,068	(13.8)	919	(14.1)	3,175	(14.7)	
いなかった	1,270	(48.1)	2,184	(45.8)	3,574	(46.3)	3,401	(52.3)	10,429	(48.2)	
わからない	313	(11.9)	653	(13.7)	1,274	(16.5)	980	(15.1)	3,220	(14.9)	
無回答・無効回答	17	(0.6)	19	(0.4)	59	(0.8)	29	(0.4)	124	(0.6)	
同性愛について冗談や笑いのネタ等をされる児童生徒がいた(される側)											
過去3年以内にいた	236	(8.9)	508	(10.6)	721	(9.3)	465	(7.2)	1,930	(8.9)	0.000
過去3年より前にいた	225	(8.5)	467	(9.8)	651	(8.4)	521	(8.0)	1,864	(8.6)	
いなかった	1,735	(65.7)	2,973	(62.3)	4,597	(59.5)	4,229	(65.1)	13,534	(62.6)	
わからない	431	(16.3)	814	(17.1)	1,712	(22.2)	1,262	(19.4)	4,219	(19.5)	
無回答・無効回答	12	(0.5)	11	(0.2)	44	(0.6)	20	(0.3)	87	(0.4)	
異性装(男性が女装、女性が男装)について冗談や笑いのネタ等にしている児童生徒がいた											
過去3年以内にいた	425	(16.1)	804	(16.8)	1,264	(16.4)	826	(12.7)	3,319	(15.3)	0.000
過去3年より前にいた	283	(10.7)	574	(12.0)	858	(11.1)	679	(10.5)	2,394	(11.1)	
いなかった	1,519	(57.6)	2,559	(53.6)	4,067	(52.6)	3,774	(58.1)	11,919	(55.1)	
わからない	402	(15.2)	826	(17.3)	1,513	(19.6)	1,206	(18.6)	3,947	(18.2)	
無回答・無効回答	10	(0.4)	10	(0.2)	23	(0.3)	12	(0.2)	55	(0.3)	

表5. 児童生徒との関わり

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q8 あなたはこれまでに以下のようなことで、児童生徒と直接関わったことがありますか？											
いじめ被害											
過去3年以内にある	1,339	(50.7)	2,389	(50.1)	3,470	(44.9)	2,902	(44.7)	10,100	(46.7)	0.000
過去3年より前にある	630	(23.9)	1,264	(26.5)	2,114	(27.4)	1,894	(29.2)	5,902	(27.3)	
一度もない	562	(21.3)	888	(18.6)	1,750	(22.7)	1,371	(21.1)	4,571	(21.1)	
わからない	104	(3.9)	229	(4.8)	378	(4.9)	323	(5.0)	1,034	(4.8)	
無回答・無効回答	4	(0.2)	3	(0.1)	13	(0.2)	7	(0.1)	27	(0.1)	
不登校											
過去3年以内にある	1,754	(66.5)	3,055	(64.0)	4,714	(61.0)	3,917	(60.3)	13,440	(62.1)	0.000
過去3年より前にある	543	(20.6)	1,091	(22.9)	1,968	(25.5)	1,739	(26.8)	5,341	(24.7)	
一度もない	300	(11.4)	542	(11.4)	904	(11.7)	733	(11.3)	2,479	(11.5)	
わからない	37	(1.4)	74	(1.6)	124	(1.6)	96	(1.5)	331	(1.5)	
無回答・無効回答	5	(0.2)	11	(0.2)	15	(0.2)	12	(0.2)	43	(0.2)	
妊娠											
過去3年以内にある	79	(3.0)	184	(3.9)	530	(6.9)	225	(3.5)	1,018	(4.7)	0.000
過去3年より前にある	254	(9.6)	542	(11.4)	1,417	(18.3)	896	(13.8)	3,109	(14.4)	
一度もない	2,270	(86.0)	3,956	(82.9)	5,569	(72.1)	5,227	(80.5)	17,022	(78.7)	
わからない	33	(1.3)	84	(1.8)	186	(2.4)	139	(2.1)	442	(2.0)	
無回答・無効回答	3	(0.1)	7	(0.1)	23	(0.3)	10	(0.2)	43	(0.2)	
自傷行為											
過去3年以内にある	787	(29.8)	1,520	(31.8)	2,770	(35.9)	1,822	(28.0)	6,899	(31.9)	0.000
過去3年より前にある	579	(21.9)	1,193	(25.0)	2,154	(27.9)	1,696	(26.1)	5,622	(26.0)	
一度もない	1,185	(44.9)	1,898	(39.8)	2,512	(32.5)	2,702	(41.6)	8,297	(38.4)	
わからない	79	(3.0)	153	(3.2)	265	(3.4)	267	(4.1)	764	(3.5)	
無回答・無効回答	9	(0.3)	9	(0.2)	24	(0.3)	10	(0.2)	52	(0.2)	
家庭内や恋人からの暴力(DV)											
過去3年以内にある	831	(31.5)	1,698	(35.6)	2,648	(34.3)	1,602	(24.7)	6,779	(31.3)	0.000
過去3年より前にある	577	(21.9)	1,059	(22.2)	1,769	(22.9)	1,469	(22.6)	4,874	(22.5)	
一度もない	1,034	(39.2)	1,645	(34.5)	2,603	(33.7)	2,758	(42.5)	8,040	(37.2)	
わからない	190	(7.2)	363	(7.6)	680	(8.8)	651	(10.0)	1,884	(8.7)	
無回答・無効回答	7	(0.3)	8	(0.2)	25	(0.3)	17	(0.3)	57	(0.3)	
薬物乱用											
過去3年以内にある	54	(2.0)	88	(1.8)	181	(2.3)	80	(1.2)	403	(1.9)	0.000
過去3年より前にある	193	(7.3)	472	(9.9)	936	(12.1)	602	(9.3)	2,203	(10.2)	
一度もない	2,316	(87.8)	4,011	(84.0)	6,188	(80.1)	5,500	(84.7)	18,015	(83.3)	
わからない	68	(2.6)	187	(3.9)	390	(5.0)	296	(4.6)	941	(4.3)	
無回答・無効回答	8	(0.3)	15	(0.3)	30	(0.4)	19	(0.3)	72	(0.3)	
性暴力被害											
過去3年以内にある	148	(5.6)	391	(8.2)	632	(8.2)	349	(5.4)	1,520	(7.0)	0.000
過去3年より前にある	270	(10.2)	595	(12.5)	1,018	(13.2)	767	(11.8)	2,650	(12.2)	
一度もない	2,058	(78.0)	3,411	(71.5)	5,343	(69.2)	4,833	(74.4)	15,645	(72.3)	
わからない	150	(5.7)	365	(7.6)	680	(8.8)	529	(8.1)	1,724	(8.0)	
無回答・無効回答	13	(0.5)	11	(0.2)	52	(0.7)	19	(0.3)	95	(0.4)	
性感染症											
過去3年以内にある	16	(0.6)	55	(1.2)	146	(1.9)	79	(1.2)	296	(1.4)	0.000
過去3年より前にある	145	(5.5)	180	(3.8)	386	(5.0)	304	(4.7)	1,015	(4.7)	
一度もない	2,347	(88.9)	4,245	(88.9)	6,619	(85.7)	5,645	(86.9)	18,856	(87.2)	
わからない	118	(4.5)	273	(5.7)	541	(7.0)	434	(6.7)	1,366	(6.3)	
無回答・無効回答	13	(0.5)	20	(0.4)	33	(0.4)	35	(0.5)	101	(0.5)	
HIV/AIDS											
過去3年以内にある	9	(0.3)	19	(0.4)	37	(0.5)	24	(0.4)	89	(0.4)	0.000
過去3年より前にある	13	(0.5)	55	(1.2)	68	(0.9)	51	(0.8)	187	(0.9)	
一度もない	2,506	(95.0)	4,459	(93.4)	7,134	(92.3)	6,071	(93.4)	20,170	(93.2)	
わからない	98	(3.7)	228	(4.8)	433	(5.6)	323	(5.0)	1,082	(5.0)	
無回答・無効回答	13	(0.5)	12	(0.3)	53	(0.7)	28	(0.4)	106	(0.5)	

表5. 児童生徒との関わり

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q8. あなたはこれまでに以下のようなことで、児童生徒と直接関わったことがありますか？											
同性愛											
過去3年以内にある	95	(3.6)	156	(3.3)	502	(6.5)	187	(2.9)	940	(4.3)	0.000
過去3年より前にある	75	(2.8)	191	(4.0)	524	(6.8)	222	(3.4)	1,012	(4.7)	
一度もない	2,152	(81.5)	3,767	(78.9)	5,577	(72.2)	5,173	(79.6)	16,669	(77.1)	
わからない	306	(11.6)	645	(13.5)	1,080	(14.0)	897	(13.8)	2,928	(13.5)	
無回答・無効回答	11	(0.4)	14	(0.3)	42	(0.5)	18	(0.3)	85	(0.4)	
性別違和や性同一性障害											
過去3年以内にある	262	(9.9)	397	(8.3)	974	(12.6)	455	(7.0)	2,088	(9.7)	0.000
過去3年より前にある	211	(8.0)	515	(10.8)	931	(12.1)	627	(9.7)	2,284	(10.6)	
一度もない	1,830	(69.3)	3,188	(66.8)	4,734	(61.3)	4,420	(68.0)	14,172	(65.5)	
わからない	330	(12.5)	668	(14.0)	1,067	(13.8)	985	(15.2)	3,050	(14.1)	
無回答・無効回答	6	(0.2)	5	(0.1)	19	(0.2)	10	(0.2)	40	(0.2)	

■ Q8-10 「同性愛」について、児童生徒と直接関わった時に、他に相談したり情報を集めたりしたことがありますか？（複数回答）※1

	n=170		n=347		n=1,026		n=409		n=1,952		
養護教員に相談した	78	(45.9)	176	(50.7)	405	(39.5)	175	(42.8)	834	(42.7)	0.022
スクールカウンセラーに相談した	61	(35.9)	109	(31.4)	263	(25.6)	110	(26.9)	543	(27.8)	0.073
他の教員に相談した	114	(67.1)	236	(68.0)	674	(65.7)	275	(67.2)	1,299	(66.5)	0.925
同性愛や性を扱う団体、NPO(非営利活動団体)などに相談した	11	(6.5)	18	(5.2)	38	(3.7)	22	(5.4)	89	(4.6)	0.489
医師や保健師など保健医療職に相談した	10	(5.9)	16	(4.6)	55	(5.4)	22	(5.4)	103	(5.3)	0.930
インターネットや本で、自分で情報収集した	63	(37.1)	125	(36.0)	318	(31.0)	128	(31.3)	634	(32.5)	0.426
友人や知人に相談した	13	(7.6)	17	(4.9)	58	(5.7)	26	(6.4)	114	(5.8)	0.769
その他	11	(6.5)	11	(3.2)	40	(3.9)	12	(2.9)	74	(3.8)	0.422
相談していない、特に情報収集はしていない	17	(10.0)	45	(13.0)	138	(13.5)	46	(11.2)	246	(12.6)	0.713

※1. 同性愛の児童生徒と直接関わったことがある者を母数とする。

■ Q8-11 「性別違和や性同一性障害」について、児童生徒と直接関わった時に、他に相談したり情報を集めたりしたことがありますか？（複数回答）※2

	n=473		n=912		n=1,905		n=1,082		n=4,372		
養護教員に相談した	233	(49.3)	536	(58.8)	900	(47.2)	555	(51.3)	2,224	(50.9)	0.000
スクールカウンセラーに相談した	180	(38.1)	301	(33.0)	574	(30.1)	284	(26.2)	1,339	(30.6)	0.000
他の教員に相談した	324	(68.5)	637	(69.8)	1,310	(68.8)	760	(70.2)	3,031	(69.3)	0.057
同性愛や性を扱う団体、NPO(非営利活動団体)などに相談した	23	(4.9)	46	(5.0)	82	(4.3)	56	(5.2)	207	(4.7)	0.084
医師や保健師など保健医療職に相談した	26	(5.5)	47	(5.2)	113	(5.9)	81	(7.5)	267	(6.1)	0.015
インターネットや本で、自分で情報収集した	155	(32.8)	277	(30.4)	610	(32.0)	309	(28.6)	1,351	(30.9)	0.032
友人や知人に相談した	22	(4.7)	33	(3.6)	98	(5.1)	44	(4.1)	197	(4.5)	0.032
その他	28	(5.9)	33	(3.6)	71	(3.7)	39	(3.6)	171	(3.9)	0.020
相談していない、特に情報収集はしていない	54	(11.4)	91	(10.0)	179	(9.4)	80	(7.4)	404	(9.2)	0.011

※2. 性別違和や性同一性障害の児童生徒と直接関わったことがある者を母数とする。

表6. 児童生徒との関わり

	北海道・東北 n=189		関東・北信越 n=301		近畿 n=330		四国・九州 n=304		全体 n=1,124		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q8-12_校長先生のみにお尋ねします。以下の内容について管理職としてこれまでに、児童生徒のこととして校内で報告を受けたことがありますか？ ^{※3}											
いじめ被害											
ある	163	(86.2)	287	(95.3)	307	(93.0)	276	(90.8)	1,033	(91.9)	0.008
ない	26	(13.8)	14	(4.7)	22	(6.7)	26	(8.6)	88	(7.8)	
覚えていない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	
無回答・無効回答	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.3)	2	(0.7)	3	(0.3)	
不登校											
ある	172	(91.0)	289	(96.0)	314	(95.2)	274	(90.1)	1,049	(93.3)	0.031
ない	16	(8.5)	11	(3.7)	16	(4.8)	24	(7.9)	67	(6.0)	
覚えていない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	
無回答・無効回答	1	(0.5)	1	(0.3)	-	(0.0)	5	(1.6)	7	(0.6)	
妊娠											
ある	15	(7.9)	21	(7.0)	68	(20.6)	22	(7.2)	126	(11.2)	0.000
ない	173	(91.5)	279	(92.7)	262	(79.4)	276	(90.8)	990	(88.1)	
覚えていない	-	(0.0)	1	(0.3)	-	(0.0)	1	(0.3)	2	(0.2)	
無回答・無効回答	1	(0.5)	-	(0.0)	-	(0.0)	5	(1.6)	6	(0.5)	
自傷行為											
ある	111	(58.7)	220	(73.1)	238	(72.1)	173	(56.9)	742	(66.0)	0.000
ない	75	(39.7)	79	(26.2)	90	(27.3)	126	(41.4)	370	(32.9)	
覚えていない	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.3)	2	(0.7)	3	(0.3)	
無回答・無効回答	3	(1.6)	2	(0.7)	1	(0.3)	3	(1.0)	9	(0.8)	
家庭内や恋人からの暴力(DV)											
ある	123	(65.1)	237	(78.7)	260	(78.8)	190	(62.5)	810	(72.1)	0.000
ない	65	(34.4)	63	(20.9)	66	(20.0)	109	(35.9)	303	(27.0)	
覚えていない	-	(0.0)	1	(0.3)	4	(1.2)	-	(0.0)	5	(0.4)	
無回答・無効回答	1	(0.5)	-	(0.0)	-	(0.0)	5	(1.6)	6	(0.5)	
薬物乱用											
ある	22	(11.6)	22	(7.3)	45	(13.6)	14	(4.6)	103	(9.2)	0.011
ない	166	(87.8)	275	(91.4)	282	(85.5)	285	(93.8)	1,008	(89.7)	
覚えていない	-	(0.0)	3	(1.0)	2	(0.6)	2	(0.7)	7	(0.6)	
無回答・無効回答	1	(0.5)	1	(0.3)	1	(0.3)	3	(1.0)	6	(0.5)	
性暴力被害											
ある	29	(15.3)	76	(25.2)	86	(26.1)	49	(16.1)	240	(21.4)	0.001
ない	158	(83.6)	222	(73.8)	237	(71.8)	245	(80.6)	862	(76.7)	
覚えていない	1	(0.5)	3	(1.0)	5	(1.5)	3	(1.0)	12	(1.1)	
無回答・無効回答	1	(0.5)	-	(0.0)	2	(0.6)	7	(2.3)	10	(0.9)	
性感染症											
ある	8	(4.2)	7	(2.3)	14	(4.2)	7	(2.3)	36	(3.2)	0.476
ない	179	(94.7)	289	(96.0)	310	(93.9)	290	(95.4)	1,068	(95.0)	
覚えていない	-	(0.0)	3	(1.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	5	(0.4)	
無回答・無効回答	2	(1.1)	2	(0.7)	5	(1.5)	6	(2.0)	15	(1.3)	
HIV/AIDS											
ある	1	(0.5)	-	(0.0)	5	(1.5)	-	(0.0)	6	(0.5)	0.018
ない	188	(99.5)	300	(99.7)	319	(96.7)	296	(97.4)	1,103	(98.1)	
覚えていない	-	(0.0)	-	(0.0)	-	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	
無回答・無効回答	-	(0.0)	1	(0.3)	6	(1.8)	7	(2.3)	14	(1.2)	
同性愛											
ある	7	(3.7)	9	(3.0)	30	(9.1)	9	(3.0)	55	(4.9)	0.001
ない	182	(96.3)	291	(96.7)	293	(88.8)	288	(94.7)	1,054	(93.8)	
覚えていない	-	(0.0)	1	(0.3)	4	(1.2)	2	(0.7)	7	(0.6)	
無回答・無効回答	-	(0.0)	-	(0.0)	3	(0.9)	5	(1.6)	8	(0.7)	
性別違和や性同一性障害											
ある	56	(29.6)	65	(21.6)	110	(33.3)	68	(22.4)	299	(26.6)	0.007
ない	133	(70.4)	231	(76.7)	218	(66.1)	231	(76.0)	813	(72.3)	
覚えていない	-	(0.0)	4	(1.3)	2	(0.6)	2	(0.7)	8	(0.7)	
無回答・無効回答	-	(0.0)	1	(0.3)	-	(0.0)	3	(1.0)	4	(0.4)	

※3. 校長先生を母数とする。

表7. 性教育や健康教育

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q9_以下のような項目を、教育現場で教える必要があるとお考えになりますか？											
男女の体の違い											
必要がある	2,552	(96.7)	4,574	(95.8)	7,329	(94.9)	6,206	(95.5)	20,661	(95.5)	0.027
必要はない	21	(0.8)	41	(0.9)	81	(1.0)	59	(0.9)	202	(0.9)	
わからない	64	(2.4)	153	(3.2)	302	(3.9)	220	(3.4)	739	(3.4)	
無回答・無効回答	2	(0.1)	5	(0.1)	13	(0.2)	12	(0.2)	32	(0.1)	
第二次性徴											
必要がある	2,555	(96.8)	4,535	(95.0)	7,279	(94.2)	6,219	(95.7)	20,588	(95.2)	0.000
必要はない	17	(0.6)	33	(0.7)	59	(0.8)	37	(0.6)	146	(0.7)	
わからない	54	(2.0)	194	(4.1)	365	(4.7)	223	(3.4)	836	(3.9)	
無回答・無効回答	13	(0.5)	11	(0.2)	22	(0.3)	18	(0.3)	64	(0.3)	
妊娠・出産											
必要がある	2,530	(95.9)	4,572	(95.8)	7,463	(96.6)	6,278	(96.6)	20,843	(96.3)	0.009
必要はない	24	(0.9)	38	(0.8)	46	(0.6)	40	(0.6)	148	(0.7)	
わからない	74	(2.8)	155	(3.2)	183	(2.4)	153	(2.4)	565	(2.6)	
無回答・無効回答	11	(0.4)	8	(0.2)	33	(0.4)	26	(0.4)	78	(0.4)	
性情報の選択の仕方											
必要がある	2,158	(81.8)	4,071	(85.3)	6,662	(86.2)	5,718	(88.0)	18,609	(86.0)	0.000
必要はない	61	(2.3)	78	(1.6)	114	(1.5)	81	(1.2)	334	(1.5)	
わからない	407	(15.4)	603	(12.6)	901	(11.7)	674	(10.4)	2,585	(11.9)	
無回答・無効回答	13	(0.5)	21	(0.4)	48	(0.6)	24	(0.4)	106	(0.5)	
家庭内や恋人からの暴力(DV)											
必要がある	2,178	(82.5)	3,896	(81.6)	6,724	(87.0)	5,537	(85.2)	18,335	(84.8)	0.000
必要はない	89	(3.4)	135	(2.8)	151	(2.0)	123	(1.9)	498	(2.3)	
わからない	369	(14.0)	727	(15.2)	817	(10.6)	813	(12.5)	2,726	(12.6)	
無回答・無効回答	3	(0.1)	15	(0.3)	33	(0.4)	24	(0.4)	75	(0.3)	
薬物乱用											
必要がある	2,577	(97.7)	4,652	(97.5)	7,520	(97.3)	6,402	(98.5)	21,151	(97.8)	0.000
必要はない	12	(0.5)	31	(0.6)	36	(0.5)	15	(0.2)	94	(0.4)	
わからない	39	(1.5)	69	(1.4)	129	(1.7)	53	(0.8)	290	(1.3)	
無回答・無効回答	11	(0.4)	21	(0.4)	40	(0.5)	27	(0.4)	99	(0.5)	
性暴力被害											
必要がある	2,117	(80.2)	3,860	(80.9)	6,637	(85.9)	5,552	(85.5)	18,166	(84.0)	0.000
必要はない	85	(3.2)	130	(2.7)	166	(2.1)	102	(1.6)	483	(2.2)	
わからない	414	(15.7)	760	(15.9)	862	(11.2)	814	(12.5)	2,850	(13.2)	
無回答・無効回答	23	(0.9)	23	(0.5)	60	(0.8)	29	(0.4)	135	(0.6)	
性感染症											
必要がある	2,335	(88.5)	4,305	(90.2)	7,113	(92.1)	5,980	(92.0)	19,733	(91.2)	0.000
必要はない	61	(2.3)	85	(1.8)	97	(1.3)	73	(1.1)	316	(1.5)	
わからない	224	(8.5)	356	(7.5)	442	(5.7)	405	(6.2)	1,427	(6.6)	
無回答・無効回答	19	(0.7)	27	(0.6)	73	(0.9)	39	(0.6)	158	(0.7)	
HIV/AIDS											
必要がある	2,402	(91.0)	4,365	(91.5)	7,163	(92.7)	6,109	(94.0)	20,039	(92.6)	0.000
必要はない	41	(1.6)	57	(1.2)	78	(1.0)	36	(0.6)	212	(1.0)	
わからない	171	(6.5)	330	(6.9)	419	(5.4)	312	(4.8)	1,232	(5.7)	
無回答・無効回答	25	(0.9)	21	(0.4)	65	(0.8)	40	(0.6)	151	(0.7)	
同性愛											
必要がある	1,814	(68.7)	3,507	(73.5)	5,938	(76.9)	4,899	(75.4)	16,158	(74.7)	0.000
必要はない	155	(5.9)	164	(3.4)	243	(3.1)	172	(2.6)	734	(3.4)	
わからない	653	(24.7)	1,081	(22.6)	1,502	(19.4)	1,409	(21.7)	4,645	(21.5)	
無回答・無効回答	17	(0.6)	21	(0.4)	42	(0.5)	17	(0.3)	97	(0.4)	
性別違和や性同一性障害											
必要がある	2,175	(82.4)	3,996	(83.7)	6,696	(86.7)	5,665	(87.2)	18,532	(85.7)	0.000
必要はない	72	(2.7)	94	(2.0)	116	(1.5)	61	(0.9)	343	(1.6)	
わからない	388	(14.7)	672	(14.1)	884	(11.4)	760	(11.7)	2,704	(12.5)	
無回答・無効回答	4	(0.2)	11	(0.2)	29	(0.4)	11	(0.2)	55	(0.3)	

表8. 授業経験

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q10-1_これまでに「同性愛」について、授業に取り入れたことがありますか？											
過去3年以内にある	171	(6.5)	395	(8.3)	1,150	(14.9)	590	(9.1)	2,306	(10.7)	0.000
過去3年より前にある	58	(2.2)	162	(3.4)	385	(5.0)	236	(3.6)	841	(3.9)	0.000
取り入れたことがない	2,400	(90.9)	4,212	(88.2)	6,186	(80.1)	5,633	(86.7)	18,431	(85.2)	0.000
■ Q10-2_「同性愛について授業に取り入れたことがある」を選択した人にお尋ねします。取り入れた時間はどれくらいですか？ ^{※4}											
5分～10分程度の時間で話題にした。	174	(77.3)	388	(71.3)	821	(55.2)	532	(66.0)	1,915	(62.6)	0.000
45分～50分の1時限かけて授業をした。	44	(19.6)	130	(23.9)	625	(42.1)	239	(29.7)	1,038	(33.9)	0.000
■ Q10-3_どの教科で取り入れましたか？取り入れた時間が一番長かった教科を教えてください。 ^{※4}											
教科	103	(45.8)	266	(48.9)	542	(36.5)	277	(34.4)	1,188	(38.8)	0.000
特別活動	14	(6.2)	42	(7.7)	100	(6.7)	111	(13.8)	267	(8.7)	
総合的な学習の時間	12	(5.3)	31	(5.7)	148	(10.0)	28	(3.5)	219	(7.2)	
学年集会	6	(2.7)	20	(3.7)	39	(2.6)	19	(2.4)	84	(2.7)	
全体集会	1	(0.4)	16	(2.9)	48	(3.2)	36	(4.5)	101	(3.3)	
ホームルーム	16	(7.1)	59	(10.8)	472	(31.8)	158	(19.6)	705	(23.0)	
学活	44	(19.6)	54	(9.9)	49	(3.3)	110	(13.6)	257	(8.4)	
その他	24	(10.7)	43	(7.9)	70	(4.7)	56	(6.9)	193	(6.3)	
無回答・無効回答	5	(2.2)	13	(2.4)	18	(1.2)	11	(1.4)	47	(1.5)	

※4. 同性愛を授業に取り入れたことがある者を母数とする。

	n=2,400		n=4,212		n=6,186		n=5,633		n=18,431		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q10-4_「同性愛について授業に取り入れたことがない」を選択した人にお尋ねします。その理由を教えてください。(複数回答) ^{※5}											
学習指導要領に書かれていないから	830	(34.6)	1,292	(30.7)	1,039	(16.8)	1,269	(22.5)	4,430	(24.0)	0.000
教科書に書かれていないから	826	(34.4)	1,180	(28.0)	1,388	(22.4)	1,382	(24.5)	4,776	(25.9)	0.000
教え方を、習っていないから	544	(22.7)	1,059	(25.1)	1,142	(18.5)	1,360	(24.1)	4,105	(22.3)	0.000
同性愛や性同一性障害についてよく知らないから	548	(22.8)	925	(22.0)	1,143	(18.5)	1,300	(23.1)	3,916	(21.2)	0.000
自分の担当教科の範囲ではないと思うから	463	(19.3)	849	(20.2)	1,487	(24.0)	876	(15.6)	3,675	(19.9)	0.000
教える必要性を感じる機会がなかったから	856	(35.7)	1,408	(33.4)	1,768	(28.6)	1,936	(34.4)	5,968	(32.4)	0.000
教えたいと思うが、教えるにくい内容だから	589	(24.5)	1,339	(31.8)	1,956	(31.6)	1,921	(34.1)	5,805	(31.5)	0.000
保護者の意向がわからないから	593	(24.7)	1,068	(25.4)	1,229	(19.9)	1,256	(22.3)	4,146	(22.5)	0.000
その他	209	(8.7)	381	(9.0)	645	(10.4)	555	(9.9)	1,790	(9.7)	0.002

※5. 同性愛を授業に取り入れたことがない者を母数とする。

表9. 授業経験

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q10-5_これまでに「性同一性障害」について、授業に取り入れたことがありますか？											
性別違和や性同一性障害											
過去3年以内にある	179	(6.8)	380	(8.0)	1,119	(14.5)	629	(9.7)	2,307	(10.7)	0.000
過去3年より前にある	67	(2.5)	205	(4.3)	455	(5.9)	303	(4.7)	1,030	(4.8)	0.000
取り入れたことがない	2,386	(90.4)	4,154	(87.0)	6,134	(79.4)	5,540	(85.3)	18,214	(84.2)	0.000
■ Q10-6_「性同一性障害について授業に取り入れたことがある」を選択した人にお尋ねします。取り入れた時間はどれくらいですか？ ^{※6}											
5分～10分程度の時間で話題にした。											
	190	(79.5)	388	(67.5)	761	(49.8)	575	(63.1)	1,914	(58.8)	0.000
45分～50分の1時限かけて授業をした。											
	37	(15.5)	147	(25.6)	685	(44.8)	281	(30.8)	1,150	(35.3)	0.000
■ Q10-7_どの教科で取り入れましたか？取り入れた時間が一番長かった教科を教えてください。 ^{※6}											
教科	113	(47.3)	247	(43.0)	456	(29.8)	301	(33.0)	1,117	(34.3)	0.000
特別活動	20	(8.4)	58	(10.1)	96	(6.3)	113	(12.4)	287	(8.8)	
総合的な学習の時間	11	(4.6)	36	(6.3)	168	(11.0)	38	(4.2)	253	(7.8)	
学年集会	7	(2.9)	23	(4.0)	48	(3.1)	36	(4.0)	114	(3.5)	
全体集会	4	(1.7)	23	(4.0)	69	(4.5)	41	(4.5)	137	(4.2)	
ホームルーム	18	(7.5)	72	(12.5)	545	(35.6)	193	(21.2)	828	(25.4)	
学活	40	(16.7)	66	(11.5)	61	(4.0)	120	(13.2)	287	(8.8)	
その他	21	(8.8)	34	(5.9)	59	(3.9)	51	(5.6)	165	(5.1)	
無回答・無効回答	5	(2.1)	16	(2.8)	27	(1.8)	18	(2.0)	66	(2.0)	

※6. 性同一性障害を授業に取り入れたことがある者を母数とする。

	n=2,386		n=4,154		n=6,134		n=5,540		n=18,214		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q10-8_「性同一性障害について授業に取り入れたことがない」を選択した人にお尋ねします。その理由を教えてください。(複数回答) ^{※7}											
学習指導要領に書かれていないから											
	808	(33.9)	1,254	(30.2)	991	(16.2)	1,157	(20.9)	4,210	(23.1)	0.000
教科書に書かれていないから											
	813	(34.1)	1,137	(27.4)	1,333	(21.7)	1,296	(23.4)	4,579	(25.1)	0.000
教え方を、習っていないから											
	533	(22.3)	1,011	(24.3)	1,144	(18.7)	1,326	(23.9)	4,014	(22.0)	0.000
同性愛や性同一性障害についてよく知らないから											
	465	(19.5)	809	(19.5)	1,021	(16.6)	1,159	(20.9)	3,454	(19.0)	0.000
自分の担当教科の範囲ではないと思うから											
	469	(19.7)	867	(20.9)	1,495	(24.4)	921	(16.6)	3,752	(20.6)	0.000
教える必要性を感じる機会がなかったから											
	826	(34.6)	1,407	(33.9)	1,698	(27.7)	1,870	(33.8)	5,801	(31.8)	0.000
教えたいと思うが、教えるににくい内容だから											
	619	(25.9)	1,351	(32.5)	1,972	(32.1)	1,937	(35.0)	5,879	(32.3)	0.000
保護者の意向がわからないから											
	551	(23.1)	1,024	(24.7)	1,137	(18.5)	1,198	(21.6)	3,910	(21.5)	0.000
その他	194	(8.1)	318	(7.7)	626	(10.2)	532	(9.6)	1,670	(9.2)	0.000

※7. 性同一性障害を授業に取り入れたことがない者を母数とする。

表10. 認識

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q11_次の項目についてどのようにお考えになりますか？											
同性愛は精神的な病気のひとつだと思う											
そう思う	65	(2.5)	127	(2.7)	166	(2.1)	115	(1.8)	473	(2.2)	0.002
そう思わない	2,173	(82.3)	3,902	(81.8)	6,501	(84.2)	5,431	(83.6)	18,007	(83.2)	
わからない	393	(14.9)	736	(15.4)	1,047	(13.6)	944	(14.5)	3,120	(14.4)	
無回答・無効回答	8	(0.3)	8	(0.2)	11	(0.1)	7	(0.1)	34	(0.2)	

男性同性愛者(ゲイ)の多くは女性的な言葉やしぐさであるように思う											
そう思う	204	(7.7)	393	(8.2)	637	(8.2)	501	(7.7)	1,735	(8.0)	0.021
そう思わない	1,798	(68.1)	3,184	(66.7)	5,139	(66.5)	4,222	(65.0)	14,343	(66.3)	
わからない	630	(23.9)	1,191	(25.0)	1,928	(25.0)	1,757	(27.0)	5,506	(25.5)	
無回答・無効回答	7	(0.3)	5	(0.1)	21	(0.3)	17	(0.3)	50	(0.2)	

女性同性愛者(レズビアン)の多くは男性的な言葉やしぐさであるように思う											
そう思う	73	(2.8)	150	(3.1)	264	(3.4)	208	(3.2)	695	(3.2)	0.008
そう思わない	1,939	(73.5)	3,414	(71.5)	5,528	(71.6)	4,570	(70.3)	15,451	(71.4)	
わからない	613	(23.2)	1,201	(25.2)	1,899	(24.6)	1,700	(26.2)	5,413	(25.0)	
無回答・無効回答	14	(0.5)	8	(0.2)	34	(0.4)	19	(0.3)	75	(0.3)	

同性愛者になるか異性愛者になるか、本人の希望によって選択できると思う											
そう思う	1,197	(45.4)	2,121	(44.4)	3,650	(47.2)	3,181	(49.0)	10,149	(46.9)	0.000
そう思わない	761	(28.8)	1,452	(30.4)	2,237	(29.0)	1,699	(26.2)	6,149	(28.4)	
わからない	671	(25.4)	1,184	(24.8)	1,789	(23.2)	1,596	(24.6)	5,240	(24.2)	
無回答・無効回答	10	(0.4)	16	(0.3)	49	(0.6)	21	(0.3)	96	(0.4)	

同性愛者は治療や努力で異性愛に変えることができると思う											
そう思う	42	(1.6)	118	(2.5)	209	(2.7)	145	(2.2)	514	(2.4)	0.058
そう思わない	1,810	(68.6)	3,250	(68.1)	5,229	(67.7)	4,364	(67.2)	14,653	(67.7)	
わからない	778	(29.5)	1,393	(29.2)	2,253	(29.2)	1,965	(30.2)	6,389	(29.5)	
無回答・無効回答	9	(0.3)	12	(0.3)	34	(0.4)	23	(0.4)	78	(0.4)	

性同一性障害と同性愛の区別がよくわからない											
そう思う	389	(14.7)	744	(15.6)	1,103	(14.3)	976	(15.0)	3,212	(14.8)	0.000
そう思わない	1,769	(67.0)	3,115	(65.3)	5,169	(66.9)	4,124	(63.5)	14,177	(65.5)	
わからない	466	(17.7)	908	(19.0)	1,406	(18.2)	1,372	(21.1)	4,152	(19.2)	
無回答・無効回答	15	(0.6)	6	(0.1)	47	(0.6)	25	(0.4)	93	(0.4)	

性的指向と性自認の区別がよくわからない											
そう思う	731	(27.7)	1,434	(30.0)	1,994	(25.8)	1,785	(27.5)	5,944	(27.5)	0.000
そう思わない	1,157	(43.8)	1,949	(40.8)	3,524	(45.6)	2,751	(42.3)	9,381	(43.4)	
わからない	742	(28.1)	1,379	(28.9)	2,171	(28.1)	1,936	(29.8)	6,228	(28.8)	
無回答・無効回答	9	(0.3)	11	(0.2)	36	(0.5)	25	(0.4)	81	(0.4)	

同性愛や性同一性障害など性的マイノリティの児童・生徒は、少なくともクラスに1人はいると思う											
そう思う	762	(28.9)	1,660	(34.8)	2,996	(38.8)	2,101	(32.3)	7,519	(34.8)	0.000
そう思わない	434	(16.4)	572	(12.0)	979	(12.7)	798	(12.3)	2,783	(12.9)	
わからない	1,436	(54.4)	2,534	(53.1)	3,731	(48.3)	3,584	(55.2)	11,285	(52.2)	
無回答・無効回答	7	(0.3)	7	(0.1)	19	(0.2)	14	(0.2)	47	(0.2)	

表11. 認識

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q12. 次の項目についてどのようにお考えになりますか？											
世の中の多くの人は、同性愛に対して偏見を持っていると思う											
そう思う	1,900	(72.0)	3,530	(74.0)	5,808	(75.2)	4,589	(70.6)	15,827	(73.2)	0.000
そう思わない	241	(9.1)	328	(6.9)	552	(7.1)	531	(8.2)	1,652	(7.6)	
わからない	493	(18.7)	907	(19.0)	1,355	(17.5)	1,366	(21.0)	4,121	(19.0)	
無回答・無効回答	5	(0.2)	8	(0.2)	10	(0.1)	11	(0.2)	34	(0.2)	
世の中の多くの人は、性同一性障害に対して偏見を持っていると思う											
そう思う	1,676	(63.5)	3,154	(66.1)	5,264	(68.1)	4,100	(63.1)	14,194	(65.6)	0.000
そう思わない	395	(15.0)	570	(11.9)	920	(11.9)	825	(12.7)	2,710	(12.5)	
わからない	557	(21.1)	1,036	(21.7)	1,517	(19.6)	1,554	(23.9)	4,664	(21.6)	
無回答・無効回答	11	(0.4)	13	(0.3)	24	(0.3)	18	(0.3)	66	(0.3)	
自分の上司が同性愛者だとわかったら、抵抗を感じると思う											
そう思う	454	(17.2)	768	(16.1)	1,147	(14.8)	896	(13.8)	3,265	(15.1)	0.000
そう思わない	1,492	(56.5)	2,624	(55.0)	4,523	(58.6)	3,569	(54.9)	12,208	(56.4)	
わからない	688	(26.1)	1,374	(28.8)	2,024	(26.2)	2,019	(31.1)	6,105	(28.2)	
無回答・無効回答	5	(0.2)	7	(0.1)	31	(0.4)	13	(0.2)	56	(0.3)	
自分の児童・生徒が同性愛者だとわかったら、抵抗を感じると思う											
そう思う	162	(6.1)	252	(5.3)	404	(5.2)	350	(5.4)	1,168	(5.4)	0.000
そう思わない	2,044	(77.5)	3,617	(75.8)	6,102	(79.0)	4,841	(74.5)	16,604	(76.7)	
わからない	426	(16.1)	896	(18.8)	1,190	(15.4)	1,286	(19.8)	3,798	(17.6)	
無回答・無効回答	7	(0.3)	8	(0.2)	29	(0.4)	20	(0.3)	64	(0.3)	
自分の同性の友人が同性愛だとわかったら、抵抗を感じると思う											
そう思う	389	(14.7)	637	(13.3)	943	(12.2)	720	(11.1)	2,689	(12.4)	0.000
そう思わない	1,719	(65.1)	3,014	(63.1)	5,207	(67.4)	4,164	(64.1)	14,104	(65.2)	
わからない	526	(19.9)	1,110	(23.3)	1,553	(20.1)	1,599	(24.6)	4,788	(22.1)	
無回答・無効回答	5	(0.2)	12	(0.3)	22	(0.3)	14	(0.2)	53	(0.2)	
自分の異性の友人が同性愛だとわかったら、抵抗を感じると思う											
そう思う	230	(8.7)	375	(7.9)	551	(7.1)	472	(7.3)	1,628	(7.5)	0.000
そう思わない	1,956	(74.1)	3,457	(72.4)	5,792	(75.0)	4,555	(70.1)	15,760	(72.8)	
わからない	446	(16.9)	933	(19.5)	1,367	(17.7)	1,453	(22.4)	4,199	(19.4)	
無回答・無効回答	7	(0.3)	8	(0.2)	15	(0.2)	17	(0.3)	47	(0.2)	

表12. 指導方法や学びの経験

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q13.あなたはこれまでに以下の項目について、指導法や対応策についてどこで学びましたか？(複数回答)											
性暴力被害											
出身養成機関で	319	(12.1)	583	(12.2)	1,128	(14.6)	694	(10.7)	2,724	(12.6)	0.000
本やインターネットなど独学で	1,197	(45.4)	2,081	(43.6)	3,512	(45.5)	2,679	(41.2)	9,469	(43.8)	0.000
教員になってから研修で(民間・公的機関両方を含む)	841	(31.9)	1,903	(39.9)	3,604	(46.7)	3,395	(52.3)	9,743	(45.0)	0.000
学んだことはない	850	(32.2)	1,344	(28.2)	1,652	(21.4)	1,444	(22.2)	5,290	(24.5)	0.000
性感染症											
出身養成機関で	773	(29.3)	1,318	(27.6)	2,414	(31.2)	1,725	(26.6)	6,230	(28.8)	0.000
本やインターネットなど独学で	1,466	(55.6)	2,506	(52.5)	4,151	(53.7)	3,200	(49.3)	11,323	(52.3)	0.000
教員になってから研修で(民間・公的機関両方を含む)	776	(29.4)	1,639	(34.3)	3,039	(39.3)	3,603	(55.5)	9,057	(41.9)	0.000
学んだことはない	478	(18.1)	787	(16.5)	911	(11.8)	591	(9.1)	2,767	(12.8)	0.000
HIV/AIDS											
出身養成機関で	787	(29.8)	1,405	(29.4)	2,544	(32.9)	1,795	(27.6)	6,531	(30.2)	0.000
本やインターネットなど独学で	1,537	(58.2)	2,657	(55.7)	4,357	(56.4)	3,314	(51.0)	11,865	(54.8)	0.000
教員になってから研修で(民間・公的機関両方を含む)	737	(27.9)	1,714	(35.9)	3,137	(40.6)	3,965	(61.0)	9,553	(44.2)	0.000
学んだことはない	412	(15.6)	618	(12.9)	675	(8.7)	369	(5.7)	2,074	(9.6)	0.000
同性愛											
出身養成機関で	257	(9.7)	584	(12.2)	1,104	(14.3)	742	(11.4)	2,687	(12.4)	0.000
本やインターネットなど独学で	1,243	(47.1)	2,283	(47.8)	3,735	(48.3)	2,834	(43.6)	10,095	(46.7)	0.000
教員になってから研修で(民間・公的機関両方を含む)	560	(21.2)	1,537	(32.2)	3,361	(43.5)	3,116	(48.0)	8,574	(39.6)	0.000
学んだことはない	1,004	(38.0)	1,456	(30.5)	1,688	(21.9)	1,551	(23.9)	5,699	(26.3)	0.000
性同一性障害											
出身養成機関で	278	(10.5)	640	(13.4)	1,204	(15.6)	764	(11.8)	2,886	(13.3)	0.000
本やインターネットなど独学で	1,342	(50.9)	2,361	(49.5)	3,870	(50.1)	2,970	(45.7)	10,543	(48.7)	0.000
教員になってから研修で(民間・公的機関両方を含む)	679	(25.7)	1,834	(38.4)	3,851	(49.9)	3,585	(55.2)	9,949	(46.0)	0.000
学んだことはない	856	(32.4)	1,172	(24.6)	1,264	(16.4)	1,154	(17.8)	4,446	(20.6)	0.000

表12-1. 指導方法や学びの経験

	北海道・東北 n=560		関東・北信越 n=1,537		近畿 n=3,361		四国・九州 n=3,116		全体 n=8,574		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q13-4-1 「同性愛」について「教員になってから研修」を受けたことがある研修の受講回数を教えてください。※8											
1回	208	(37.1)	451	(29.3)	876	(26.1)	672	(21.6)	2,207	(25.7)	0.000
2～4回	194	(34.6)	637	(41.4)	1,607	(47.8)	1,516	(48.7)	3,954	(46.1)	
5回以上	24	(4.3)	105	(6.8)	222	(6.6)	279	(9.0)	630	(7.3)	
受講回数を覚えていない	120	(21.4)	330	(21.5)	612	(18.2)	610	(19.6)	1,672	(19.5)	
無回答・無効回答	14	(2.5)	14	(0.9)	44	(1.3)	39	(1.3)	111	(1.3)	
■ Q13-4-2 「同性愛」について受講した研修会の講師はどんな方でしたか？(複数回答)※8											
研究者や大学教員	193	(34.5)	390	(25.4)	1,304	(38.8)	925	(29.7)	2,812	(32.8)	0.000
医師	92	(16.4)	172	(11.2)	293	(8.7)	303	(9.7)	860	(10.0)	0.000
臨床心理士	82	(14.6)	199	(12.9)	474	(14.1)	442	(14.2)	1,197	(14.0)	0.280
医師以外の医療職員	30	(5.4)	65	(4.2)	114	(3.4)	144	(4.6)	353	(4.1)	0.023
文科省職員	4	(0.7)	10	(0.7)	7	(0.2)	12	(0.4)	33	(0.4)	0.042
教育委員会職員・指導主事	96	(17.1)	429	(27.9)	719	(21.4)	666	(21.4)	1,910	(22.3)	0.000
LGBT当事者	257	(45.9)	699	(45.5)	1,537	(45.7)	1,741	(55.9)	4,234	(49.4)	0.000
NPO等の団体の人	165	(29.5)	461	(30.0)	694	(20.6)	725	(23.3)	2,045	(23.9)	0.000
その他	20	(3.6)	72	(4.7)	149	(4.4)	146	(4.7)	387	(4.5)	0.307

※8. 同性愛について教員になってから研修を受けたことがある者を母数とする。

表12-2. 指導方法や学びの経験

	北海道・東北 n=679		関東・北信越 n=1,834		近畿 n=3,851		四国・九州 n=3,585		全体 n=9,949		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q13-5-1 「性同一性障害」について「教員になってから研修」を受けたことがある研修の受講回数を教えてください。※9											
1回	261	(38.4)	613	(33.4)	1,130	(29.3)	893	(24.9)	2,897	(29.1)	0.000
2～4回	237	(34.9)	734	(40.0)	1,738	(45.1)	1,714	(47.8)	4,423	(44.5)	
5回以上	27	(4.0)	95	(5.2)	209	(5.4)	252	(7.0)	583	(5.9)	
受講回数を覚えていない	140	(20.6)	374	(20.4)	722	(18.7)	677	(18.9)	1,913	(19.2)	
無回答・無効回答	14	(2.1)	18	(1.0)	52	(1.4)	49	(1.4)	133	(1.3)	
■ Q13-5-2 「性同一性障害」について受講した研修会の講師はどんな方でしたか？(複数回答)※9											
研究者や大学教員	244	(35.9)	447	(24.4)	1,400	(36.4)	1,035	(28.9)	3,126	(31.4)	0.000
医師	124	(18.3)	203	(11.1)	349	(9.1)	343	(9.6)	1,019	(10.2)	0.000
臨床心理士	99	(14.6)	250	(13.6)	519	(13.5)	487	(13.6)	1,355	(13.6)	0.542
医師以外の医療職員	40	(5.9)	80	(4.4)	149	(3.9)	190	(5.3)	459	(4.6)	0.016
文科省職員	6	(0.9)	18	(1.0)	7	(0.2)	19	(0.5)	50	(0.5)	0.001
教育委員会職員・指導主事	129	(19.0)	556	(30.3)	864	(22.4)	863	(24.1)	2,412	(24.2)	0.000
LGBT当事者	283	(41.7)	795	(43.3)	1,656	(43.0)	1,872	(52.2)	4,606	(46.3)	0.000
NPO等の団体の人	178	(26.2)	502	(27.4)	744	(19.3)	771	(21.5)	2,195	(22.1)	0.000
その他	23	(3.4)	101	(5.5)	196	(5.1)	178	(5.0)	498	(5.0)	0.184

※9. 性同一性障害について教員になってから研修を受けたことがある者を母数とする。

表13. 文部科学省発出の関連文書

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q14. 2015年4月30日に文科省が発出した通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」を知っていますか？											
読んだことがある	561	(21.3)	744	(15.6)	1,253	(16.2)	1,235	(19.0)	3,793	(17.5)	0.000
知っているが、読んだことはない	866	(32.8)	1,465	(30.7)	2,451	(31.7)	2,248	(34.6)	7,030	(32.5)	
知らない	1,199	(45.4)	2,536	(53.1)	3,966	(51.3)	2,976	(45.8)	10,677	(49.4)	
無回答・無効回答	13	(0.5)	28	(0.6)	55	(0.7)	38	(0.6)	134	(0.6)	
■Q15. 2016年4月に文科省が発行した「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)」を知っていますか？											
読んだことがある	575	(21.8)	768	(16.1)	1,304	(16.9)	1,279	(19.7)	3,926	(18.1)	0.000
知っているが、読んだことはない	846	(32.1)	1,393	(29.2)	2,330	(30.2)	2,179	(33.5)	6,748	(31.2)	
知らない	1,204	(45.6)	2,592	(54.3)	4,037	(52.3)	3,013	(46.4)	10,846	(50.1)	
無回答・無効回答	14	(0.5)	20	(0.4)	54	(0.7)	26	(0.4)	114	(0.5)	
■Q16. 2017年にいじめ防止対策推進法に基づく「いじめの防止等のための基本的な方針」が改定されたことを知っていますか？											
読んだことがある	1,696	(64.3)	2,791	(58.5)	4,522	(58.5)	3,483	(53.6)	12,492	(57.7)	0.000
知っているが、読んだことはない	675	(25.6)	1,341	(28.1)	2,254	(29.2)	2,225	(34.2)	6,495	(30.0)	
知らない	257	(9.7)	628	(13.2)	928	(12.0)	775	(11.9)	2,588	(12.0)	
無回答・無効回答	11	(0.4)	13	(0.3)	21	(0.3)	14	(0.2)	59	(0.3)	

表14. 研修希望

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q17. 「性的指向と性自認の多様性」に関する学校の取組みとして、あれば良いと思うもの(複数回答)											
教職員研修	1,969	(74.6)	3,654	(76.6)	6,002	(77.7)	5,189	(79.9)	16,814	(77.7)	0.000
研修教材	1,088	(41.2)	1,995	(41.8)	3,527	(45.7)	2,849	(43.9)	9,459	(43.7)	0.000
指導案(授業案)	1,099	(41.6)	1,886	(39.5)	3,323	(43.0)	3,064	(47.2)	9,372	(43.3)	0.000
授業用教材	1,238	(46.9)	2,239	(46.9)	3,882	(50.3)	3,626	(55.8)	10,985	(50.8)	0.000
生徒自身が上下の組み合わせを選択できる制服	1,016	(38.5)	1,937	(40.6)	3,274	(42.4)	2,496	(38.4)	8,723	(40.3)	0.000
制服の廃止	492	(18.6)	929	(19.5)	1,543	(20.0)	962	(14.8)	3,926	(18.1)	0.000
相談窓口	1,157	(43.8)	2,203	(46.2)	3,400	(44.0)	2,852	(43.9)	9,612	(44.4)	0.092
教員間で知れた児童・生徒の情報を共有する手段	1,084	(41.1)	1,919	(40.2)	3,310	(42.8)	2,643	(40.7)	8,956	(41.4)	0.025
学習指導要領に盛り込まれること	585	(22.2)	844	(17.7)	1,115	(14.4)	1,023	(15.7)	3,567	(16.5)	0.000
その他	24	(0.9)	61	(1.3)	74	(1.0)	55	(0.8)	214	(1.0)	0.185
■Q18. あなたが教員免許を取る学生時代に、「性的指向と性自認の多様性」に関する授業があれば履修したかったですか？											
はい	1,410	(53.4)	2,885	(60.4)	4,824	(62.4)	4,044	(62.2)	13,163	(60.8)	0.000
いいえ	223	(8.5)	341	(7.1)	514	(6.7)	355	(5.5)	1,433	(6.6)	
どちらとも言えない	1,003	(38.0)	1,533	(32.1)	2,346	(30.4)	2,073	(31.9)	6,955	(32.1)	
無回答・無効回答	3	(0.1)	14	(0.3)	41	(0.5)	25	(0.4)	83	(0.4)	
■Q19. あなたが現職研修の一環で、「性的指向と性自認の多様性」に関する研修があれば参加したいですか？											
はい	1,528	(57.9)	3,082	(64.6)	5,328	(69.0)	4,566	(70.3)	14,504	(67.0)	0.000
いいえ	195	(7.4)	266	(5.6)	383	(5.0)	230	(3.5)	1,074	(5.0)	
どちらとも言えない	908	(34.4)	1,407	(29.5)	1,970	(25.5)	1,683	(25.9)	5,968	(27.6)	
無回答・無効回答	8	(0.3)	18	(0.4)	44	(0.6)	18	(0.3)	88	(0.4)	

表15. 当事者の存在

	北海道・東北 n=2,639		関東・北信越 n=4,773		近畿 n=7,725		四国・九州 n=6,497		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■Q20. あなたの周囲に、生まれた時の性別とは異なる性別で生きたいと思う人や同性愛の家族・知人・友人はおられますか？(複数回答)											
生まれた時の性別とは異なる性別で生きたいと思っている家族がいる	19	(0.7)	40	(0.8)	50	(0.6)	31	(0.5)	140	(0.6)	0.049
同性愛の家族がいる	15	(0.6)	33	(0.7)	45	(0.6)	24	(0.4)	117	(0.5)	0.048
生まれた時の性別とは異なる性別で生きたいと思っている知人・友人がいる	324	(12.3)	740	(15.5)	1,366	(17.7)	724	(11.1)	3,154	(14.6)	0.000
同性愛の知人・友人がいる	397	(15.0)	791	(16.6)	1,397	(18.1)	767	(11.8)	3,352	(15.5)	0.000
周囲にはいない	1,691	(64.1)	2,782	(58.3)	4,237	(54.8)	4,023	(61.9)	12,733	(58.9)	0.000
わからない	401	(15.2)	847	(17.7)	1,400	(18.1)	1,334	(20.5)	3,982	(18.4)	0.000

表16. 文部科学省発出の関連文書(職種別)

	校長 n=1,124		副校長 n=252		教頭 n=1,263		主幹教諭・総括教諭 n=759		指導教諭 n=209		教諭 n=14,756	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
■ Q14_2015年4月30日に文科省が発出した通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」を知っていますか？												
読んだことがある	584	(52.0)	83	(32.9)	509	(40.3)	144	(19.0)	45	(21.5)	1,719	(11.6)
知っているが、読んだことはない	405	(36.0)	123	(48.8)	493	(39.0)	299	(39.4)	77	(36.8)	4,643	(31.5)
知らない	131	(11.7)	45	(17.9)	251	(19.9)	311	(41.0)	86	(41.1)	8,299	(56.2)
無回答・無効回答	4	(0.4)	1	(0.4)	10	(0.8)	5	(0.7)	1	(0.5)	95	(0.6)
■ Q15_2016年4月に文科省が発行した「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)」を知っていますか？												
読んだことがある	603	(53.6)	87	(34.5)	534	(42.3)	148	(19.5)	46	(22.0)	1,811	(12.3)
知っているが、読んだことはない	391	(34.8)	107	(42.5)	469	(37.1)	281	(37.0)	76	(36.4)	4,464	(30.3)
知らない	124	(11.0)	58	(23.0)	245	(19.4)	326	(43.0)	87	(41.6)	8,405	(57.0)
無回答・無効回答	6	(0.5)	-	(0.0)	15	(1.2)	4	(0.5)	-	(0.0)	76	(0.5)
■ Q16_2017年にいじめ防止対策推進法に基づく「いじめの防止等のための基本的な方針」が改定されたことを知っていますか？												
読んだことがある	1,070	(95.2)	228	(90.5)	1,125	(89.1)	551	(72.6)	145	(69.4)	7,611	(51.6)
知っているが、読んだことはない	44	(3.9)	18	(7.1)	111	(8.8)	169	(22.3)	54	(25.8)	5,063	(34.3)
知らない	7	(0.6)	6	(2.4)	22	(1.7)	39	(5.1)	10	(4.8)	2,040	(13.8)
無回答・無効回答	3	(0.3)	-	(0.0)	5	(0.4)	-	(0.0)	-	(0.0)	42	(0.3)

表16. 文部科学省発出の関連文書(職種別)(つづき)

	養護教諭 n=907		養護助教 n=94		栄養教諭 n=134		講師(常勤) n=2,068		講師(養護) n=68		全体 n=21,634		p値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
■ Q14_2015年4月30日に文科省が発出した通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」を知っていますか？													
読んだことがある	409	(45.1)	38	(40.4)	12	(9.0)	224	(10.8)	26	(38.2)	3,793	(17.5)	0.000
知っているが、読んだことはない	262	(28.9)	24	(25.5)	33	(24.6)	657	(31.8)	14	(20.6)	7,030	(32.5)	
知らない	229	(25.2)	32	(34.0)	89	(66.4)	1,176	(56.9)	28	(41.2)	10,677	(49.4)	
無回答・無効回答	7	(0.8)	-	(0.0)	-	(0.0)	11	(0.5)	-	(0.0)	134	(0.6)	
■ Q15_2016年4月に文科省が発行した「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)」を知っていますか？													
読んだことがある	417	(46.0)	36	(38.3)	13	(9.7)	205	(9.9)	26	(38.2)	3,926	(18.1)	0.000
知っているが、読んだことはない	260	(28.7)	29	(30.9)	35	(26.1)	620	(30.0)	16	(23.5)	6,748	(31.2)	
知らない	227	(25.0)	29	(30.9)	85	(63.4)	1,234	(59.7)	26	(38.2)	10,846	(50.1)	
無回答・無効回答	3	(0.3)	-	(0.0)	1	(0.7)	9	(0.4)	-	(0.0)	114	(0.5)	
■ Q16_2017年にいじめ防止対策推進法に基づく「いじめの防止等のための基本的な方針」が改定されたことを知っていますか？													
読んだことがある	614	(67.7)	53	(56.4)	58	(43.3)	991	(47.9)	46	(67.6)	12,492	(57.7)	0.000
知っているが、読んだことはない	235	(25.9)	35	(37.2)	51	(38.1)	700	(33.8)	15	(22.1)	6,495	(30.0)	
知らない	56	(6.2)	6	(6.4)	25	(18.7)	370	(17.9)	7	(10.3)	2,588	(12.0)	
無回答・無効回答	2	(0.2)	-	(0.0)	-	(0.0)	7	(0.3)	-	(0.0)	59	(0.3)	

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
日高庸晴監著	LGBTQをはじめとするセクシュアルマイノリティ授業	少年写真新聞社	東京	2019	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
日高庸晴	LGTBs の学齢期におけるライフイベントとメンタルヘルス	ストレス科学		印刷中	2020

2020年 4月 8日

厚生労働大臣 殿

機関名 宝塚大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 米川 英樹

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
2. 研究課題名 都市部の若者男女における HIV 感染リスク行動に関する研究
3. 研究者名 (所属部局・職名) 看護学部・教授
(氏名・フリガナ) 日高 庸晴・ヒダカ ヤスハル

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	宝塚大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2020年 4月15日

厚生労働大臣 殿

機関名 比治山大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 石井 眞治



次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
- 2. 研究課題名 都市部の若者男女における HIV 感染リスク行動に関する研究
- 3. 研究者名 (所属部局・職名) 現代文化学部社会臨床心理学科・准教授
(氏名・フリガナ) 松高 由佳

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	比治山大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2020年 4月 8日

厚生労働大臣 殿

機関名 宝塚大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 米川 英樹



次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業
- 2. 研究課題名 都市部の若者男女における HIV 感染リスク行動に関する研究
- 3. 研究者名 (所属部局・職名) 看護学部・准教授
(氏名・フリガナ) 合田 友美・ゴウダ トモミ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	宝塚大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。